

介護保険サービス利用者調査 編

2 介護保険サービス利用者調査結果

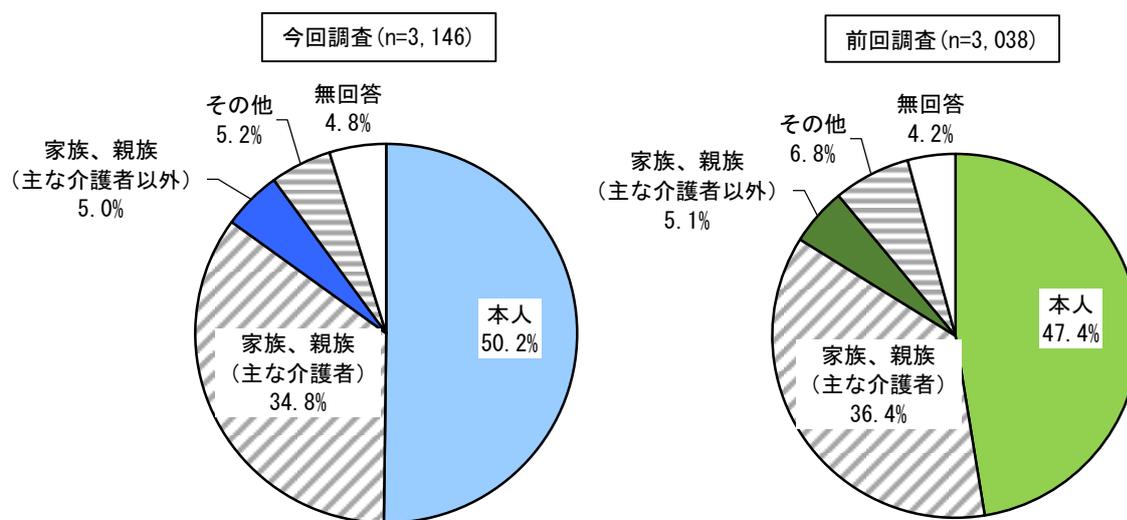
(1) 調査回答者の基本属性

問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(○はひとつ)

記入者は、「本人」が50.2%、「家族、親族（主な介護者）」が34.8%となっている。
前回調査の結果に比べ、「本人」の割合が2.8ポイント増加している。(問1)

【問1 記入者（経年比較）】



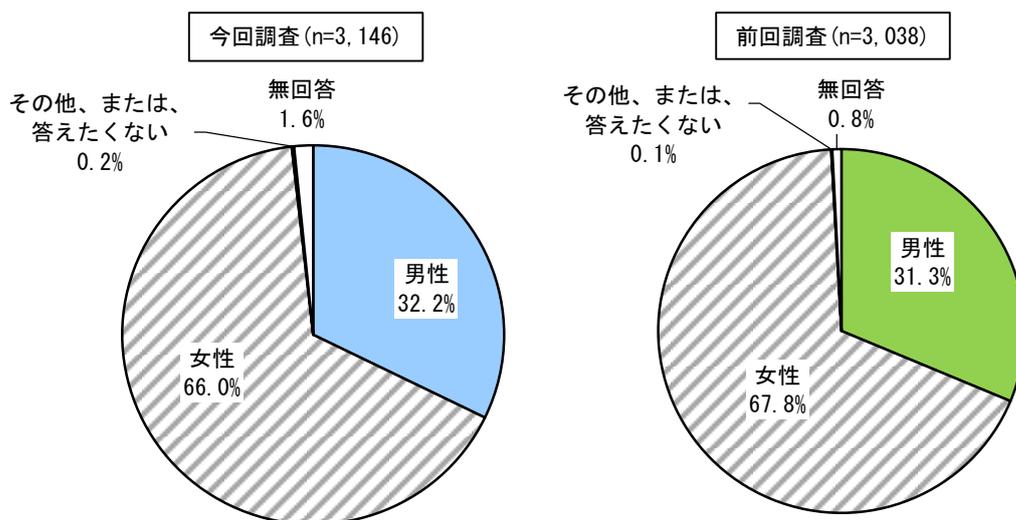
問2(1) 本人の性別

あなた（あて名ご本人：以降の質問も同じ）の性別、年齢、居住区についておうかがいします。（それぞれ○はひとつ）

本人の性別は、「男性」が32.2%、「女性」が66.0%となっている。

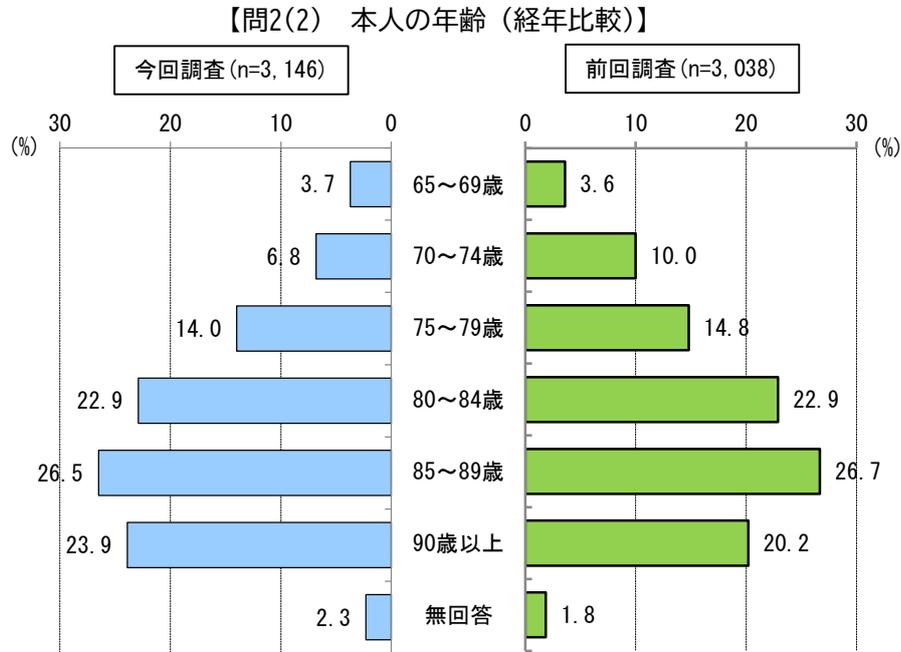
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問2(1)）

【問2(1) 本人の性別（経年比較）】

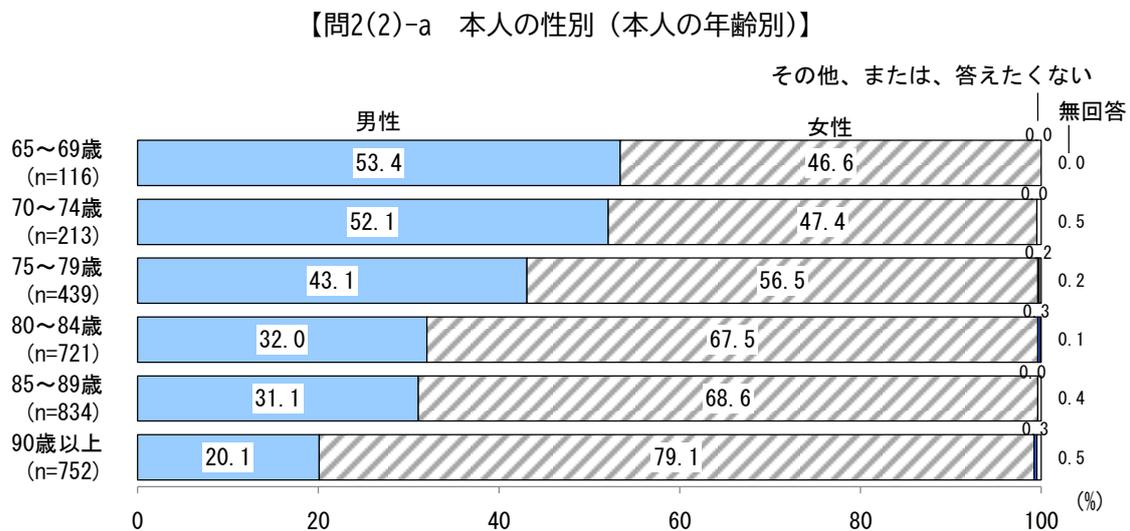


問2(2) 本人の年齢

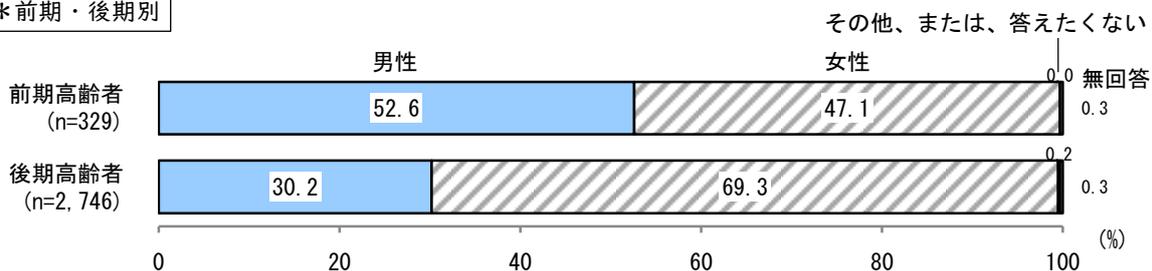
本人の年齢は、「85～89歳」の割合が26.5%で最も高く、次いで「90歳以上」が23.9%、「80～84歳」が22.9%となっている。
 前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問2(2))



本人の性別と年齢との関係では、65～69歳と70～74歳の回答者は「男性」の割合の方が高く、それ以外の各年代の回答者は「女性」の方が高くなっている。(問2(2)-a)

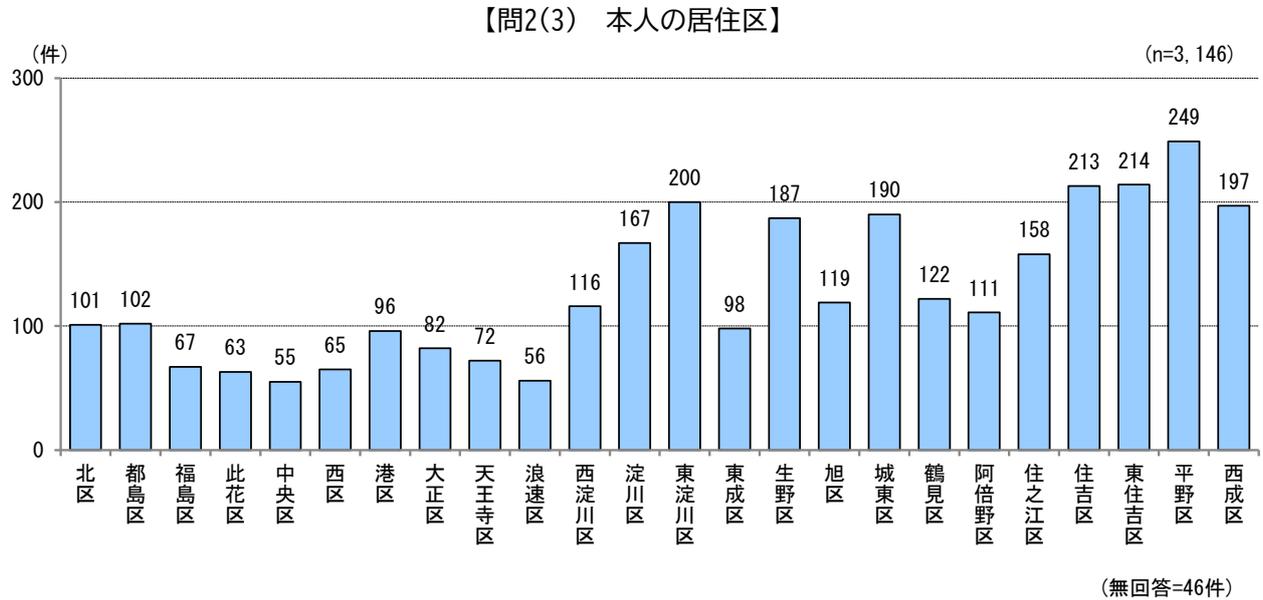


* 前期・後期別



問2(3) 本人の居住区

本人の居住区は、「平野区」が249件で最も多く、次いで「東住吉区」が214件、「住吉区」が213件となっている。(問2(3))



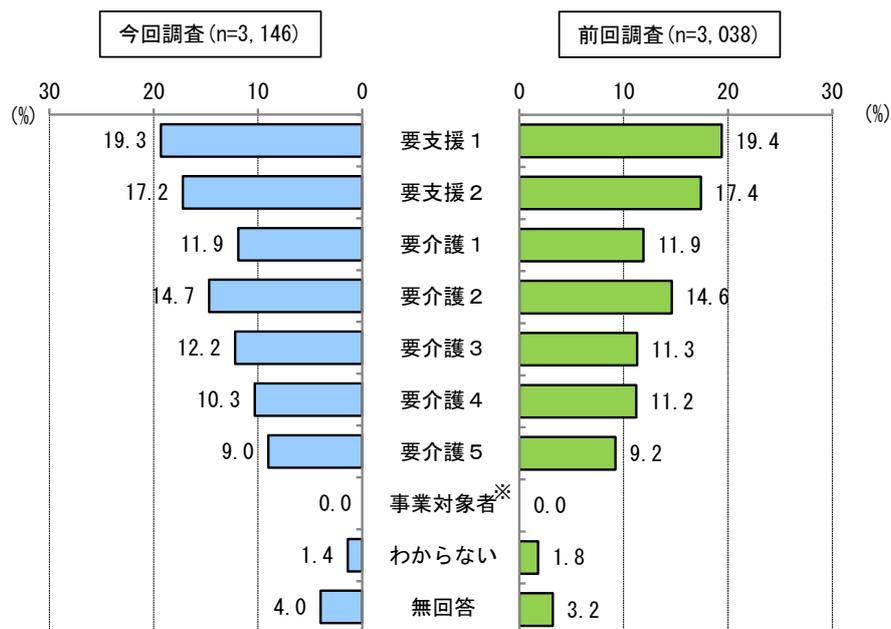
問3 要介護度

あなたの要介護度についておうかがいします。(〇はひとつ)

要介護度は、「要支援1」の割合が19.3%で最も高く、次いで「要支援2」が17.2%、「要介護2」が14.7%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問3)

【問3 要介護度（経年比較）】



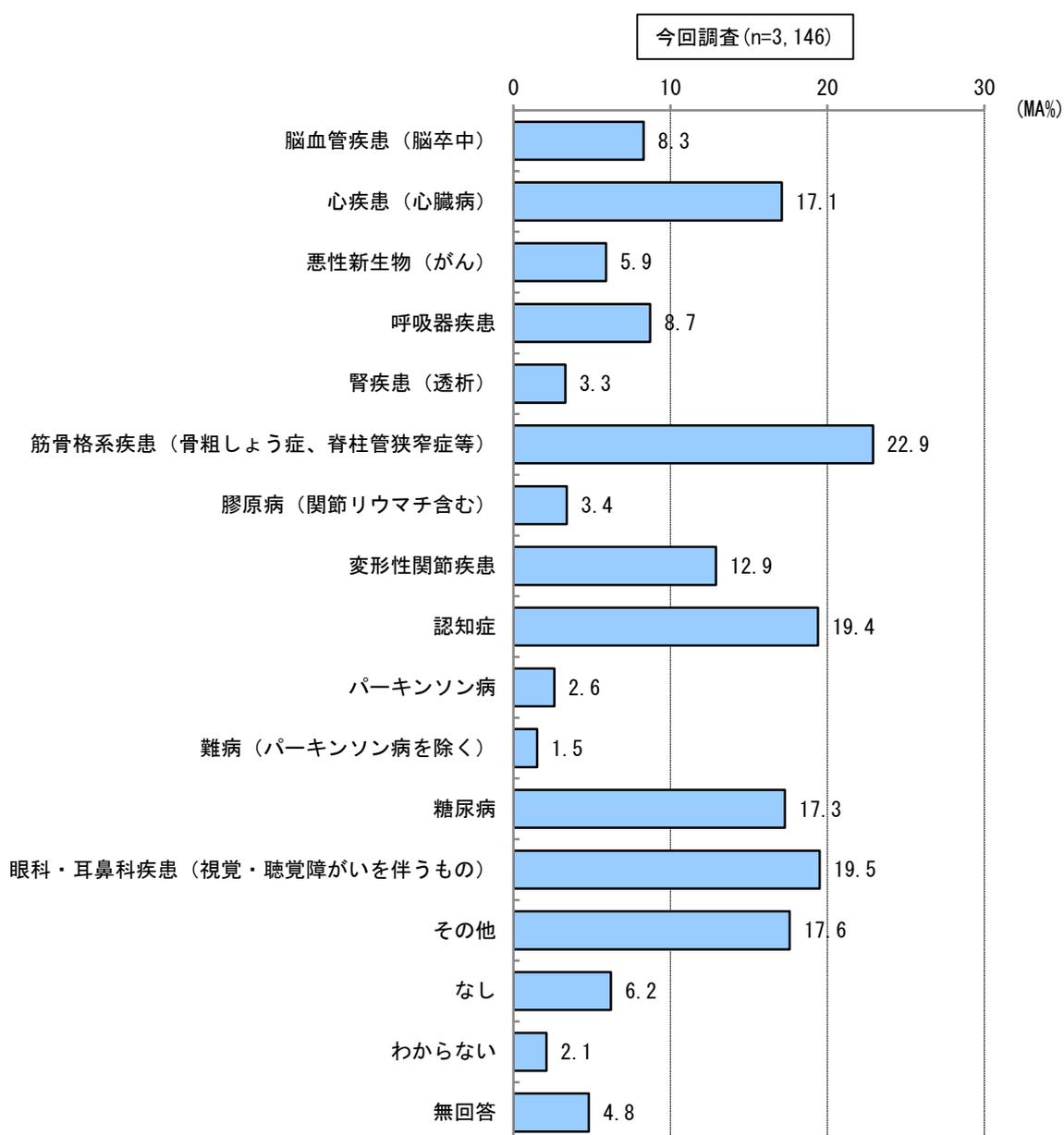
※「事業対象者」とは、地域包括支援センターまたは各区役所保健福祉課で基本チェックリストを実施し、市が実施している「介護予防・日常生活支援総合事業」の対象となった方をいう。

問4 傷病状況

あなたが現在抱えている傷病等（完治したものは除き、経過観察中のものを含む。）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

現在抱えている傷病等は、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が22.9%で最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が19.5%、「認知症」が19.4%となっている。（問4）

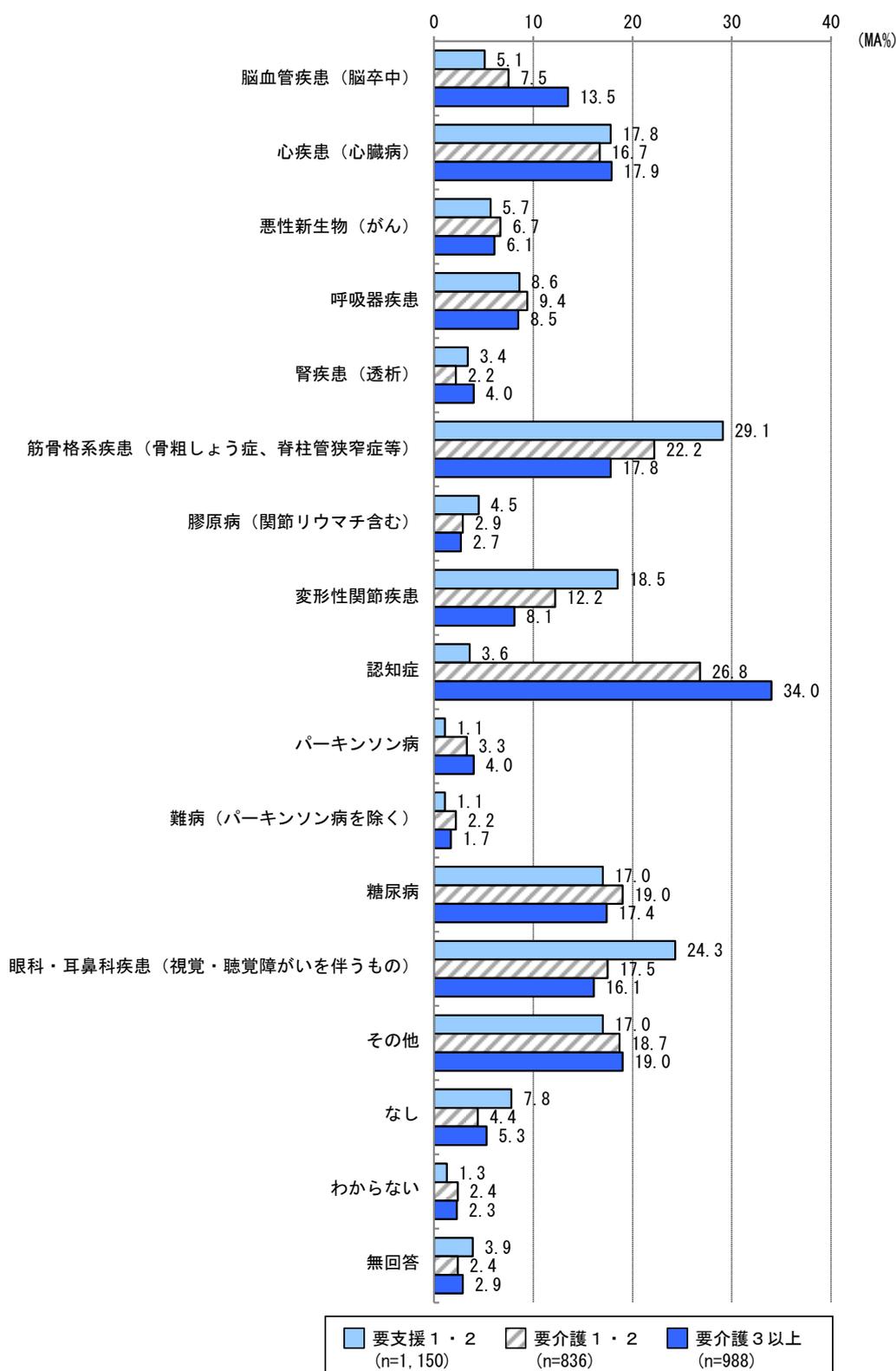
【問4 傷病状況】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」となっている。要介護1・2、要介護3以上では「認知症」の割合が最も高く、「認知症」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問4-a）

【問4-a 傷病状況（要介護度別）】



(2) 世帯の状況、介護の状況

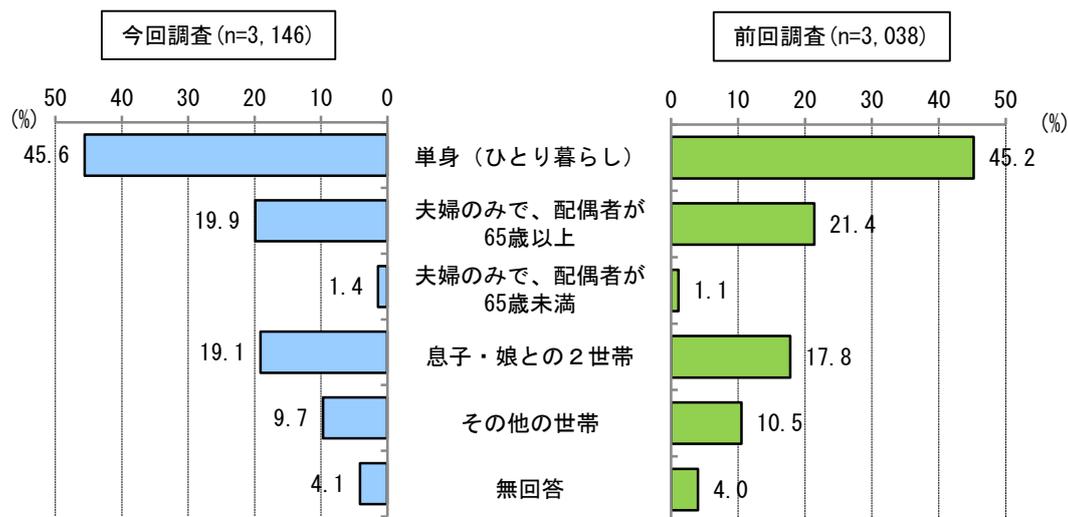
問5 世帯状況

あなたと同居されている家族の状況についておうかがいします。(〇はひとつ)

世帯状況は、「単身（ひとり暮らし）」の割合が45.6%で最も高く、次いで「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が19.9%、「息子・娘との2世帯」が19.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問5)

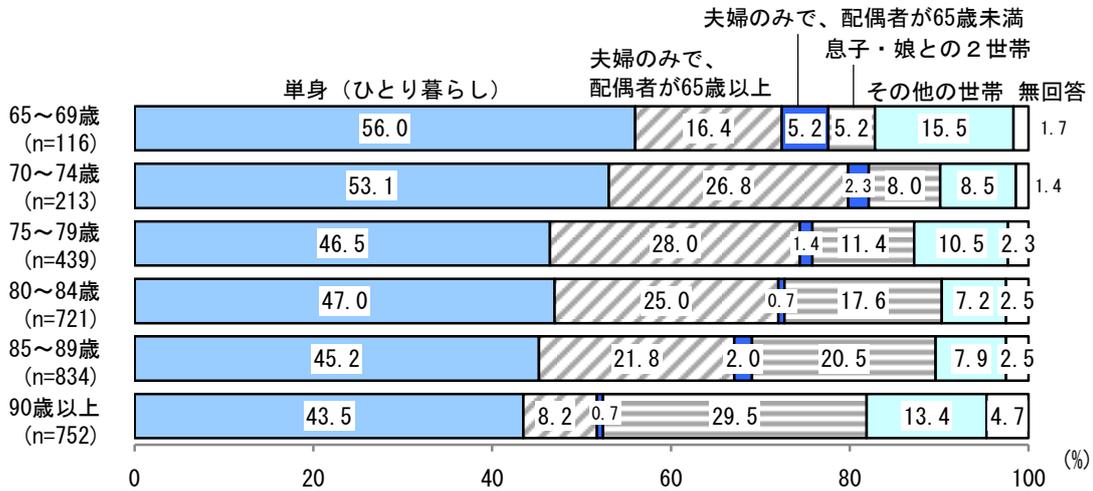
【問5 世帯状況（経年比較）】



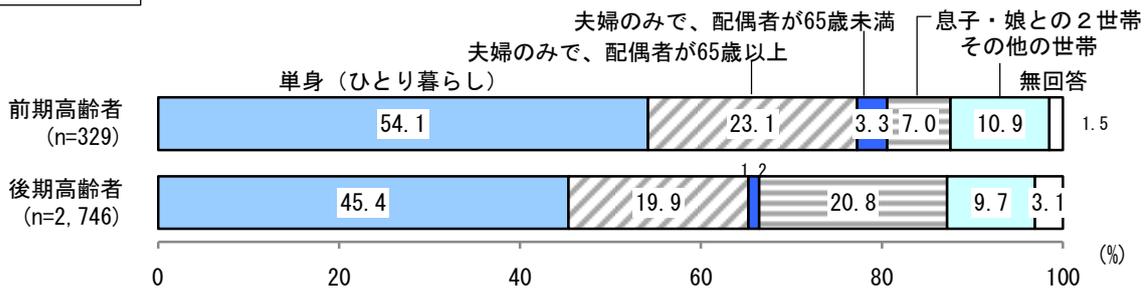
【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別では、いずれの年代も「単身（ひとり暮らし）」の割合が最も高くなっている。70～89歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」の割合が2割台となっている。（問5-a）

【問5-a 世帯状況（本人の年齢別）】

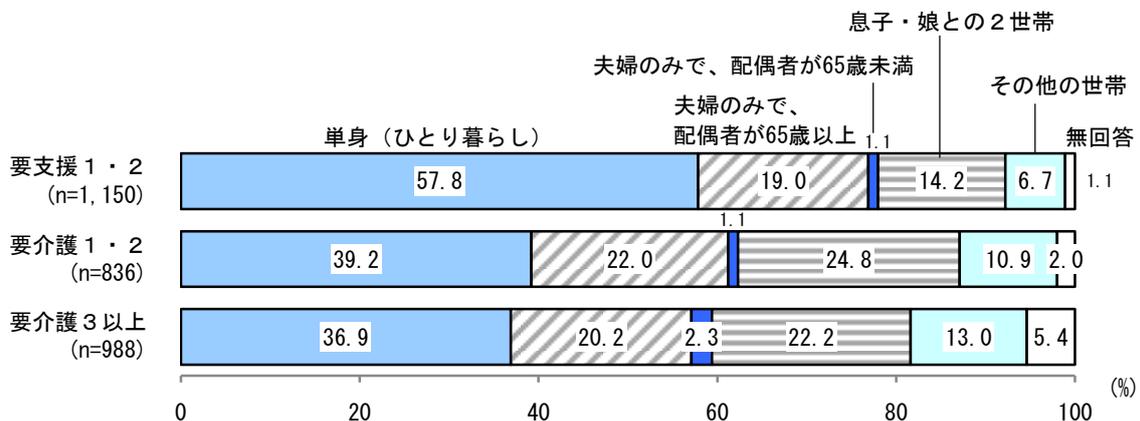


* 前期・後期別



要介護度別では、要支援1・2は「単身（ひとり暮らし）」が57.8%となっている。要介護1以上も「単身（ひとり暮らし）」の割合が最も高い一方、同居者のいる世帯が5割以上を占めている。また、「息子・娘との2世帯」は要介護1以上で2割台となっている。（問5-b）

【問5-b 世帯状況（要介護度別）】



問6 介護者の有無

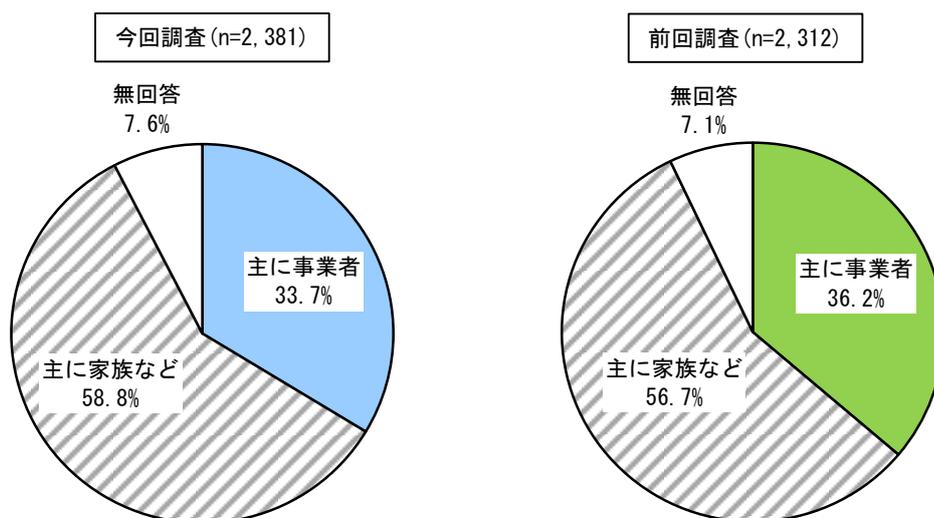
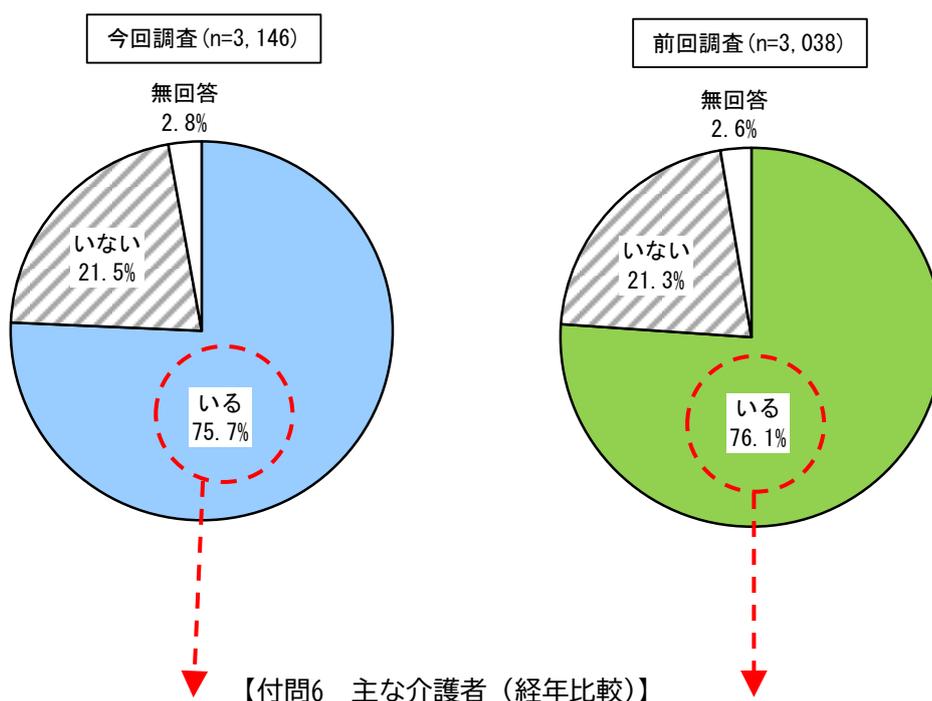
あなたの介護をする方はいますか。(○はひとつ)

介護者が「いる」は75.7%に対し、「いない」が21.5%となっている。(問6)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が33.7%、「主に家族など」が58.8%となっている。(付問6)

介護者の有無及び主な介護者とも、前回調査の結果から大きな変化はみられない。

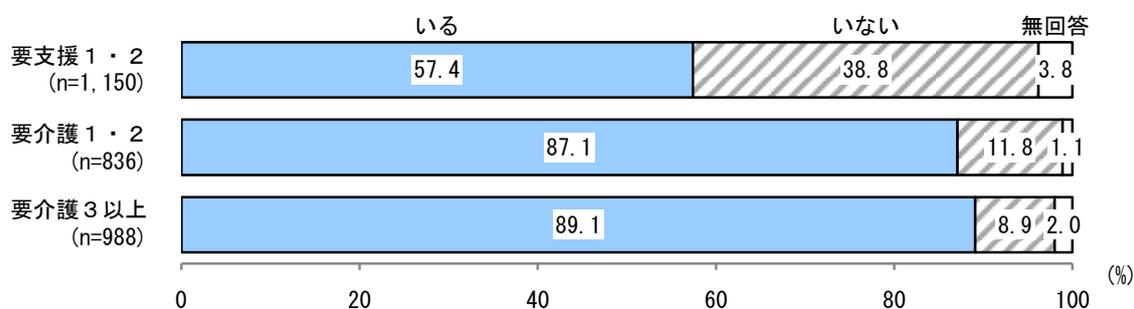
【問6 介護者の有無（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

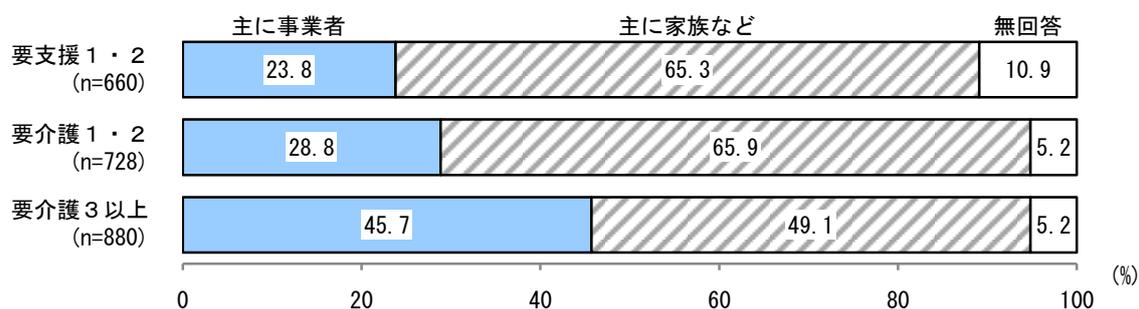
要介護度別では、介護者が「いる」の割合は重度になるほど高くなり、要介護1以上では約9割を占めている。(問6-a)

【問6-a 介護者の有無（要介護度別）】



要介護度別の主な介護者は、「主に事業者」の割合が重度になるほど高くなっている。(付問6-a)

【付問6-a 主な介護者（要介護度別）】



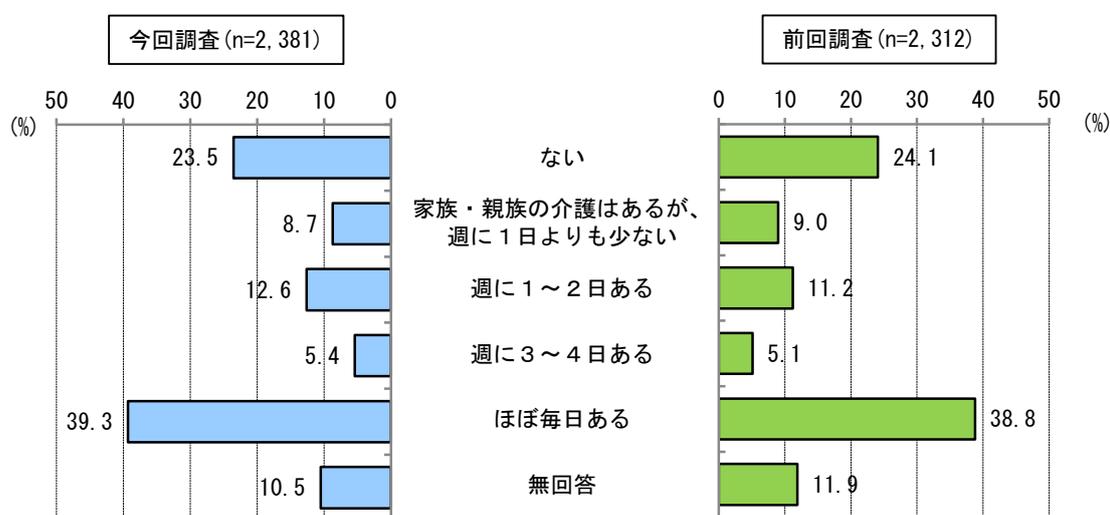
問6-1 家族や親族からの介護日数

問6で「1 いる」（介護をする方がいる）と回答された方におうかがいします。
 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○はひとつ）

介護者がいると回答した人に、家族や親族からの介護の日数をたずねると、「ほぼ毎日ある」の割合が39.3%で最も高く、次いで「ない」が23.5%、「週に1～2日ある」が12.6%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問6-1）

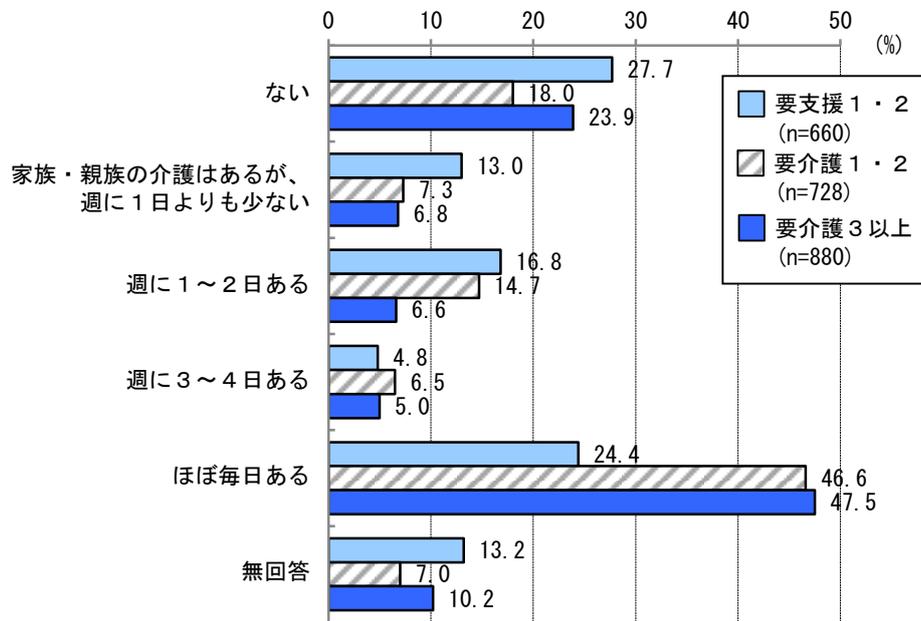
【問6-1 家族や親族からの介護日数（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「ほぼ毎日ある」の割合は重度になるほど高くなり、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」「週に1～2日ある」の割合は軽度ほど高くなっている。
 (問6-1-a)

【問6-1-a 家族や親族からの介護日数（要介護度別）】

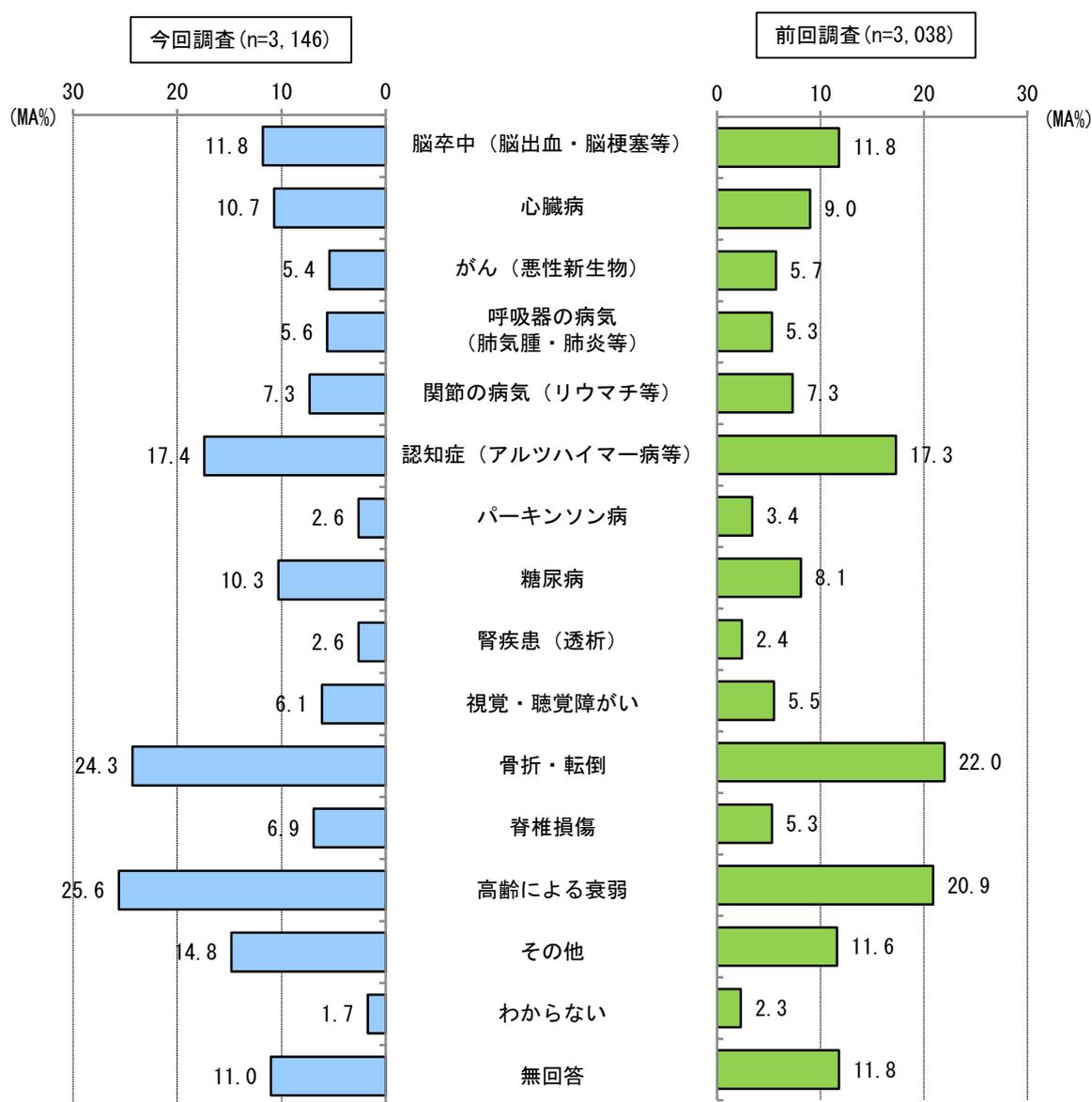


問7 介護・介助が必要になった原因

あなたが介護・介助が必要になった原因は何ですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」の割合が25.6%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が24.3%、「認知症（アルツハイマー病等）」が17.4%となっている。前回調査の結果に比べ、「高齢による衰弱」は4.7ポイント増加している。(問7)

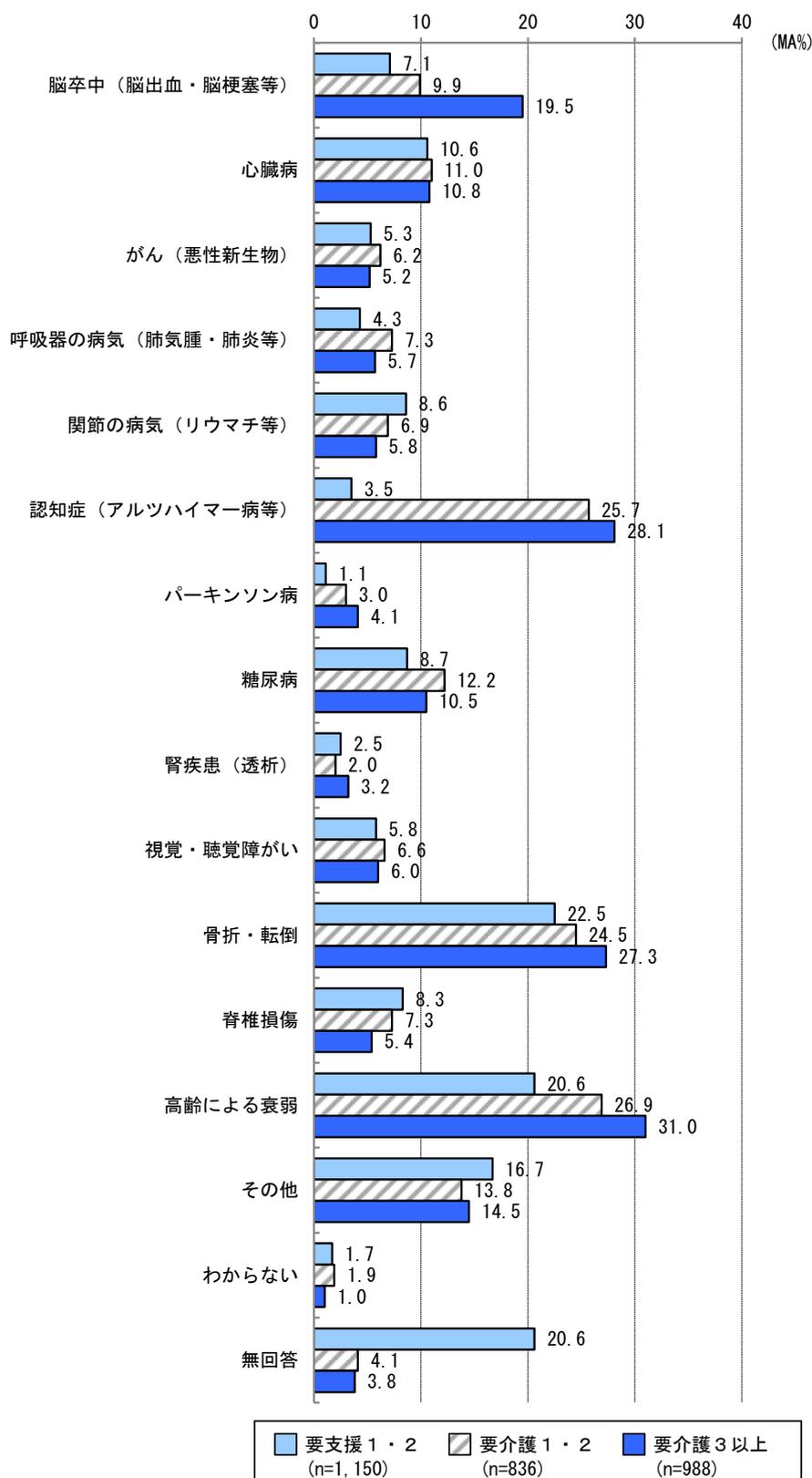
【問7 介護・介助が必要になった原因（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「骨折・転倒」、要介護1以上は「高齢による衰弱」の割合がそれぞれ最も高くなっている。「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「認知症（アルツハイマー病等）」「パーキンソン病」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合は重度になるほど高くなっている。（問7-a）

【問7-a 介護・介助が必要になった原因（要介護度別）】

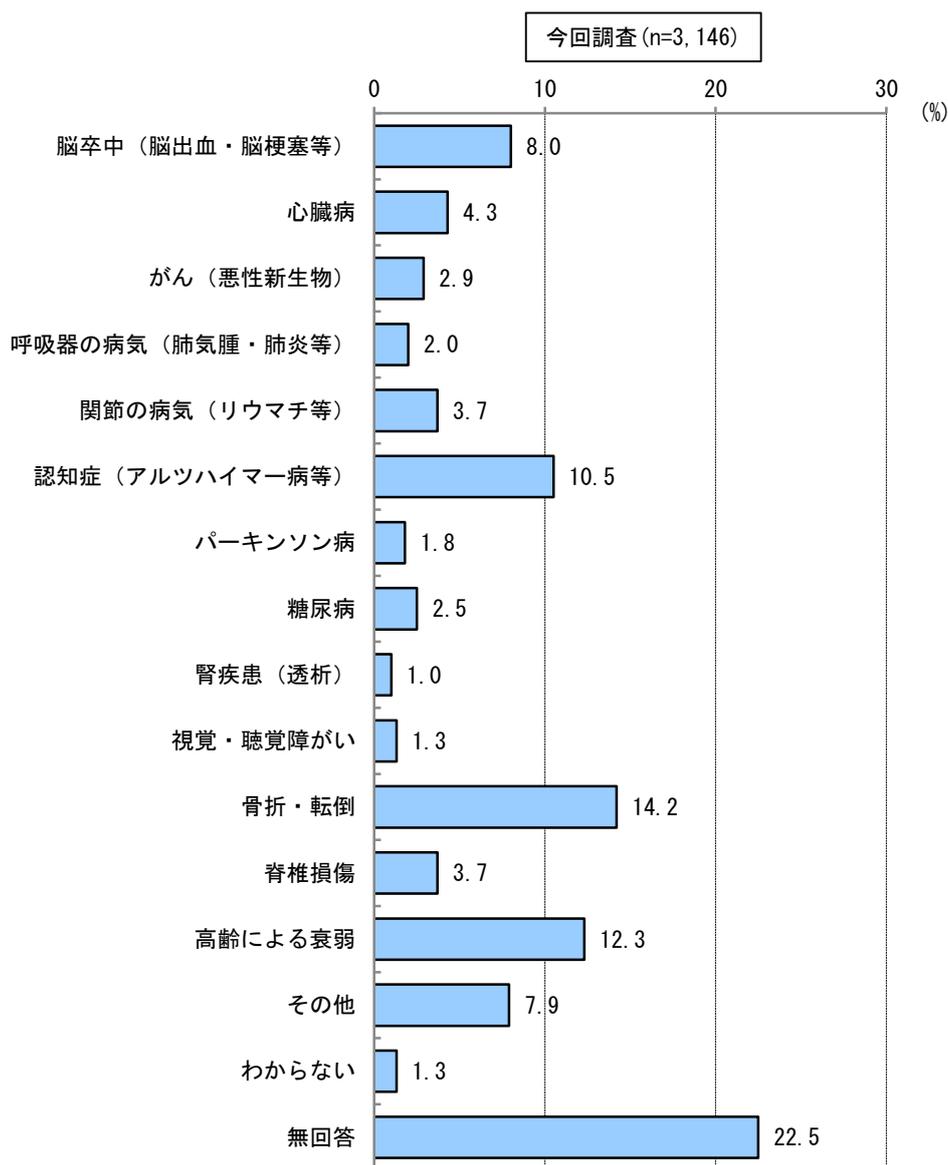


問7-1 介護・介助が必要になった主な原因

問7で○をつけた原因の中で、主な原因である番号を1つ記入してください。

介護・介助が必要になった主な原因は、「骨折・転倒」の割合が14.2%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が12.3%、「認知症（アルツハイマー病等）」が10.5%となっている。（問7-1）

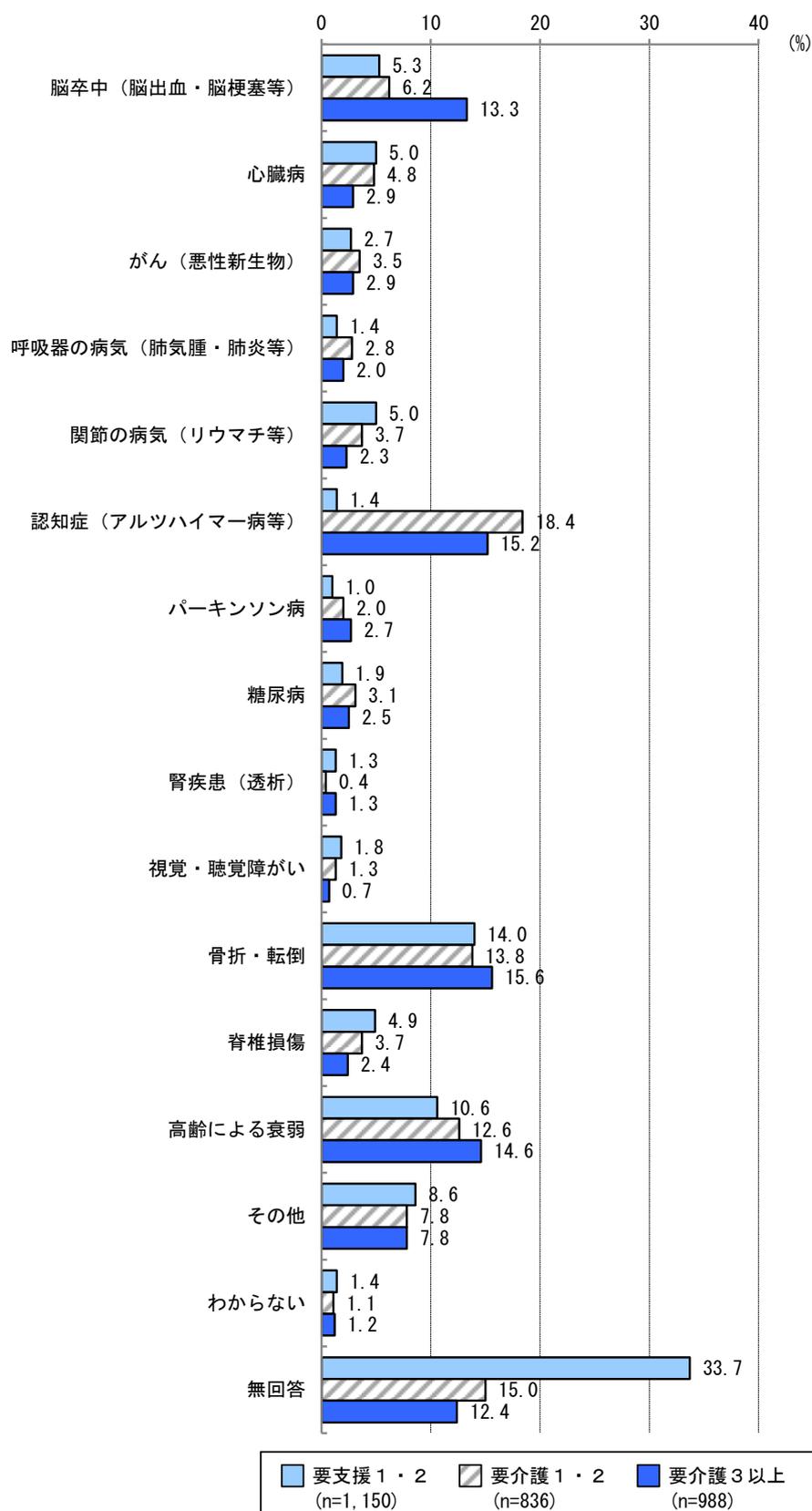
【問7-1 介護・介助が必要になった主な原因】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2、要介護3以上は「骨折・転倒」、要介護1・2は「認知症（アルツハイマー病等）」の割合がそれぞれ最も高くなっている。（問7-1-a）

【問7-1-a 介護・介助が必要になった主な原因（要介護度別）】



(3) 要介護認定

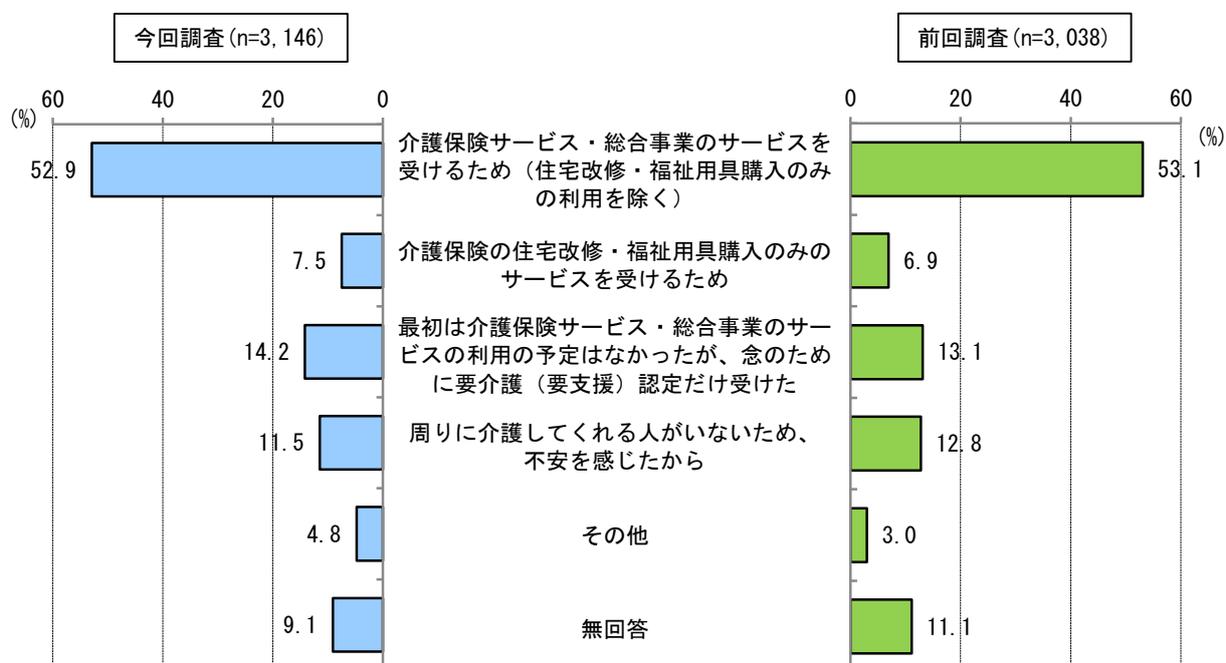
問8 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(〇はひとつ)

初めて要介護認定を受けた時の目的は、「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため（住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く）」の割合が52.9%で最も高く、次いで「最初は介護保険サービス・総合事業のサービスの利用の予定はなかったが、念のために要介護（要支援）認定だけを受けた」が14.2%、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」が11.5%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問8)

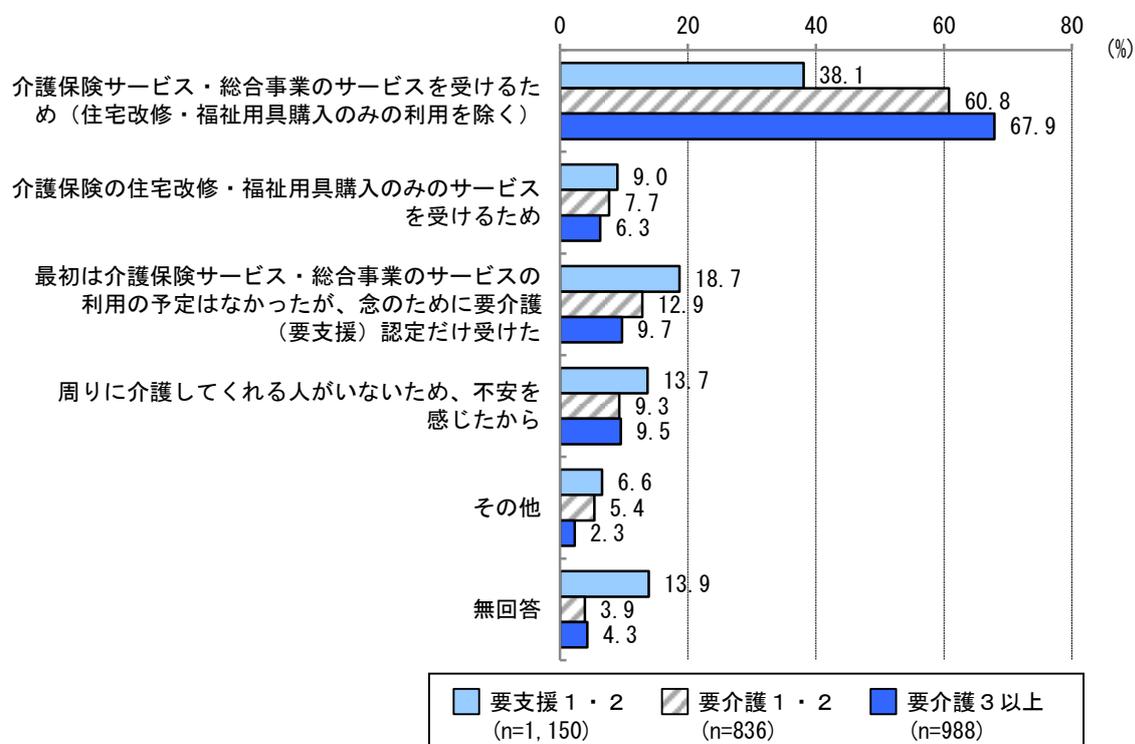
【問8 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため（住宅改修・福祉用具購入のみの利用を除く）」の割合は重度になるほど高くなっている。それ以外の項目は要支援1・2の割合が最も高くなっている。（問8-a）

【問8-a 初めて要介護認定を受けた時の目的（要介護度別）】



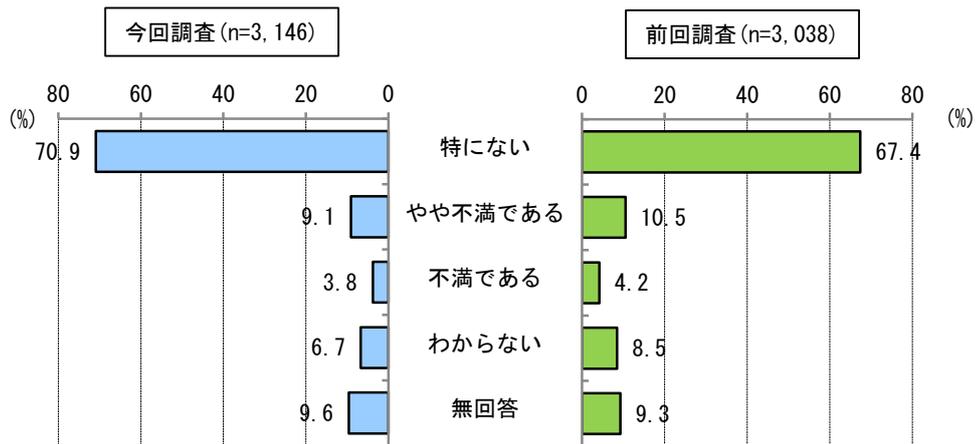
問9 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点はありましたか。(〇はひとつ)

直近の要介護認定での不満は、「特にない」の割合が70.9%で最も高く、次いで「やや不満である」が9.1%となっている。

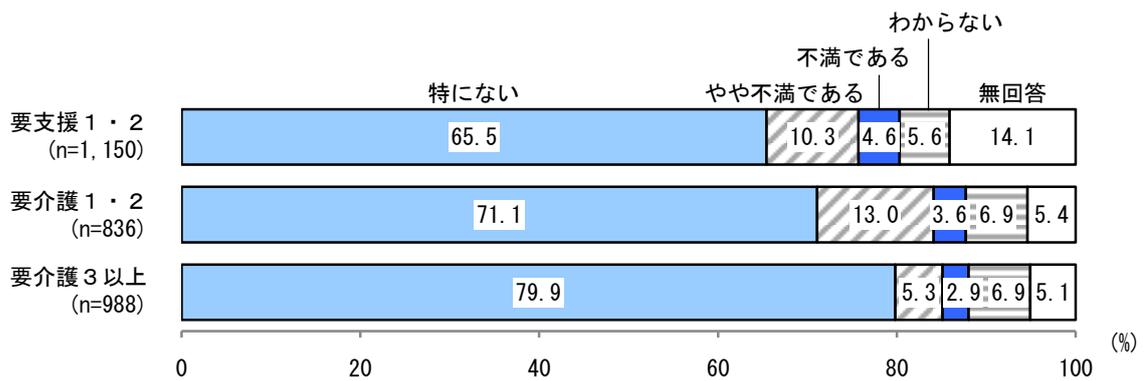
前回調査の結果に比べ、「特にない」の割合は3.5ポイント増加している。(問9)

【問9 直近の要介護認定で不満の有無（経年比較）】



要介護度別では、「特にない」の割合は重度になるほど高くなっている。「不満である」の割合は軽度ほど高くなっている。(問9-a)

【問9-a 直近の要介護認定で不満の有無（要介護度別）】



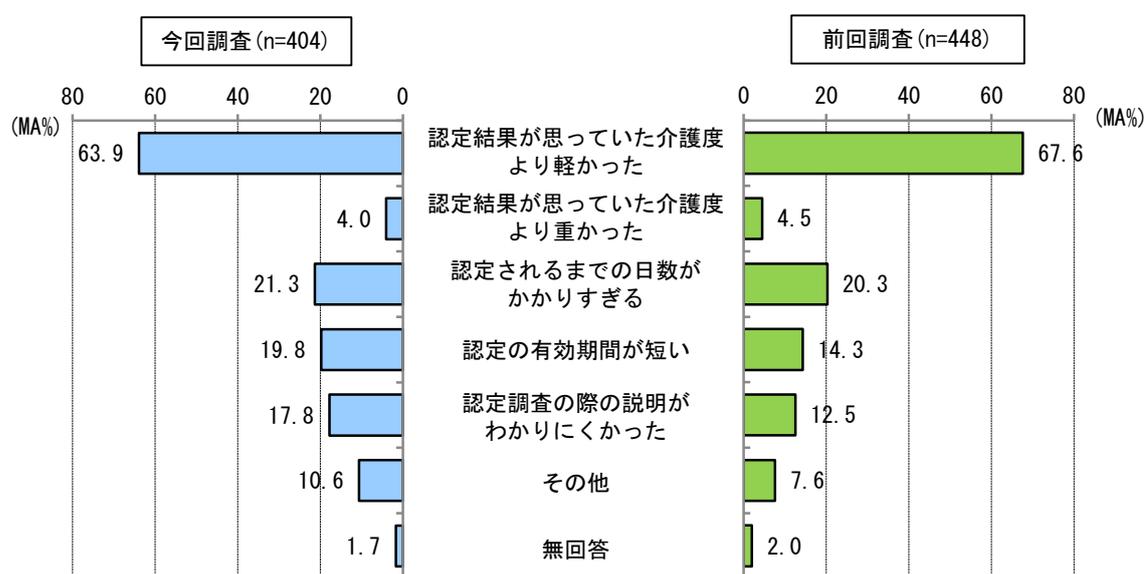
問9-1 要介護認定に不満がある理由

問9で「2 やや不満である」「3 不満である」と回答された方におうかがいします。
その理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」の割合が63.9%で最も高く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が21.3%、「認定の有効期間が短い」が19.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「認定の有効期間が短い」の割合が5.5ポイント、「認定調査の際の説明がわかりにくかった」の割合が5.3ポイント、それぞれ増加している。(問9-1)

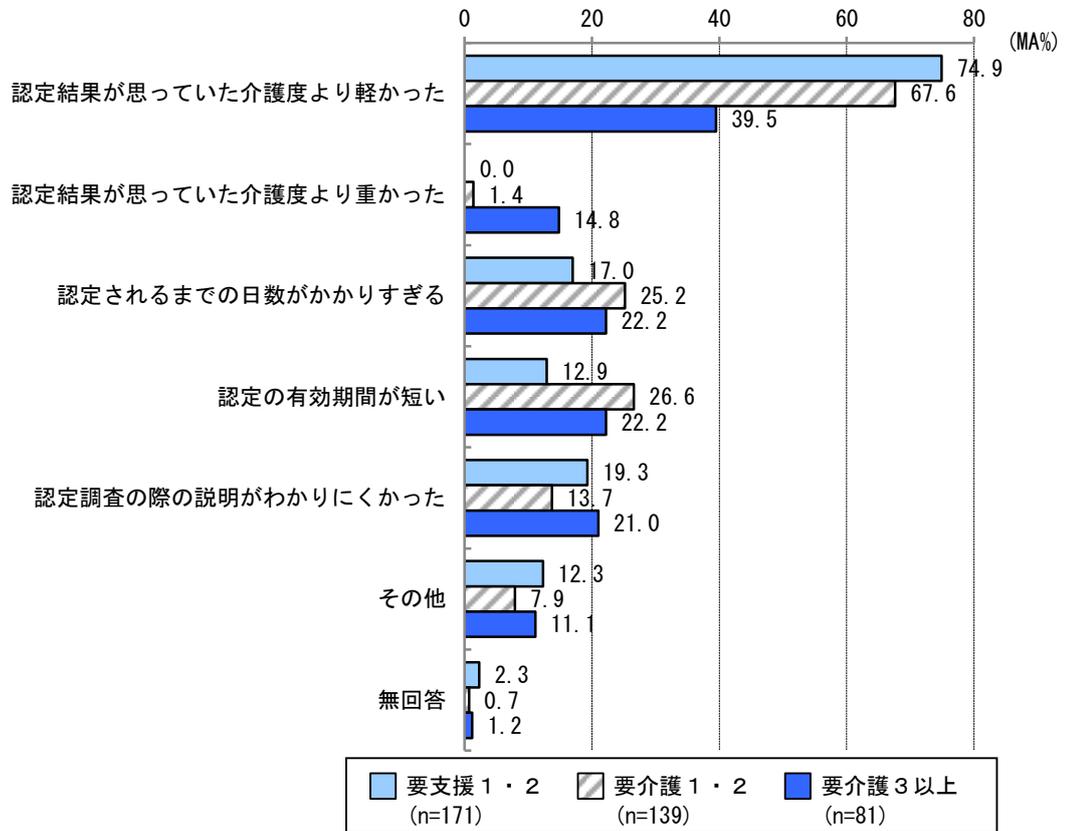
【問9-1 要介護認定に不満がある理由（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」の割合は重度になるほど減少し、「認定されるまでの日数がかかりすぎる」「認定の有効期間が短い」の割合は要介護1・2が最も高くなっている。(問9-1-a)

【問9-1-a 要介護認定に不満がある理由（要介護度別）】



(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

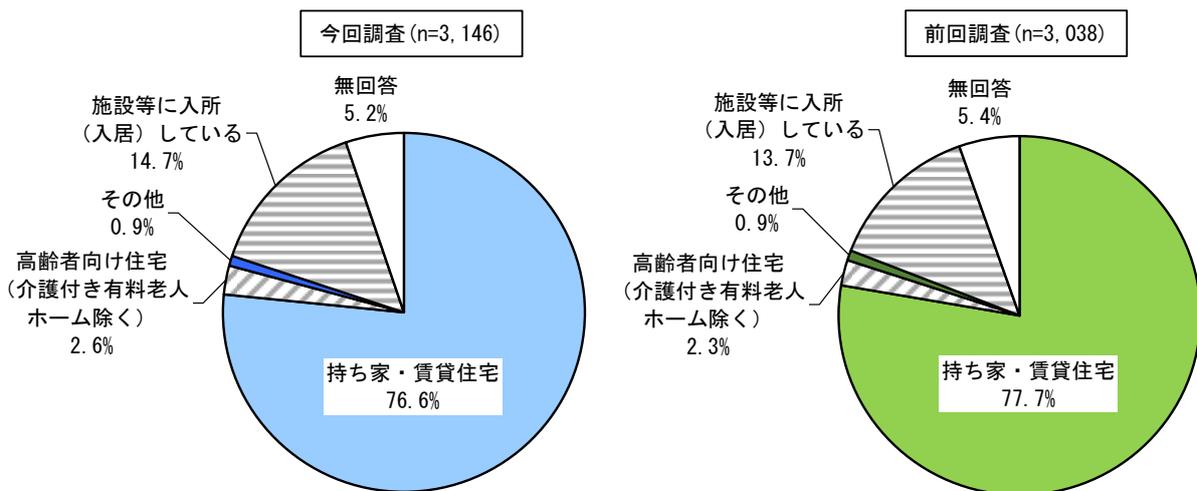
問10 現在の住まい

あなたの現在のお住まいについて、お答えください。(○はひとつ)

現在の住まいは、「持ち家・賃貸住宅」の割合が76.6%で最も高く、次いで「施設等に入所(入居)している」が14.7%となっている。

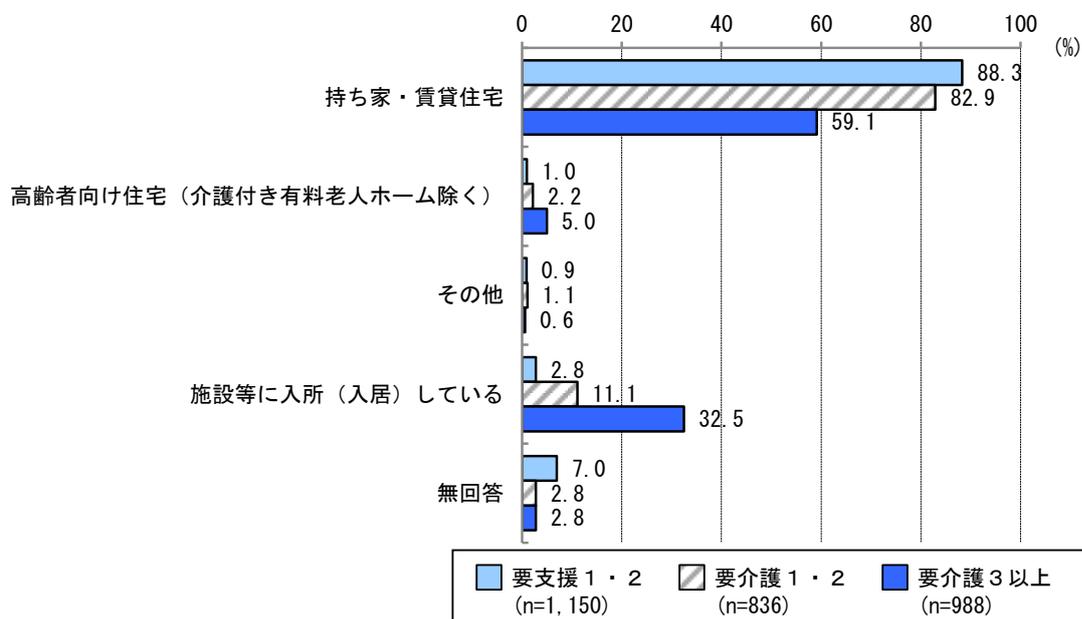
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問10)

【問10 現在の住まい(経年比較)】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「持ち家・賃貸住宅」の割合が最も高く、要支援1・2、要介護1・2は8割台となっている。「施設等に入所(入居)している」の割合は、要介護3以上が32.5%で最も高くなっている。(問10-a)

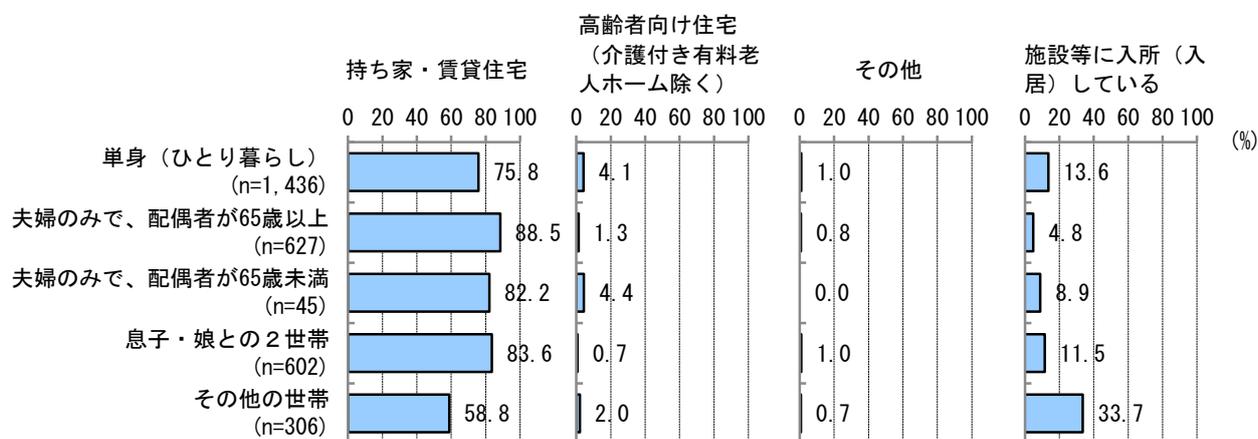
【問10-a 現在の住まい(要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、いずれも「持ち家・賃貸住宅」の割合が最も高く、夫婦のみで配偶者が65歳以上の世帯、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯、息子・娘との2世帯の世帯は8割台となっている。(問10-b)

【問10-b 現在の住まい（世帯状況別）】



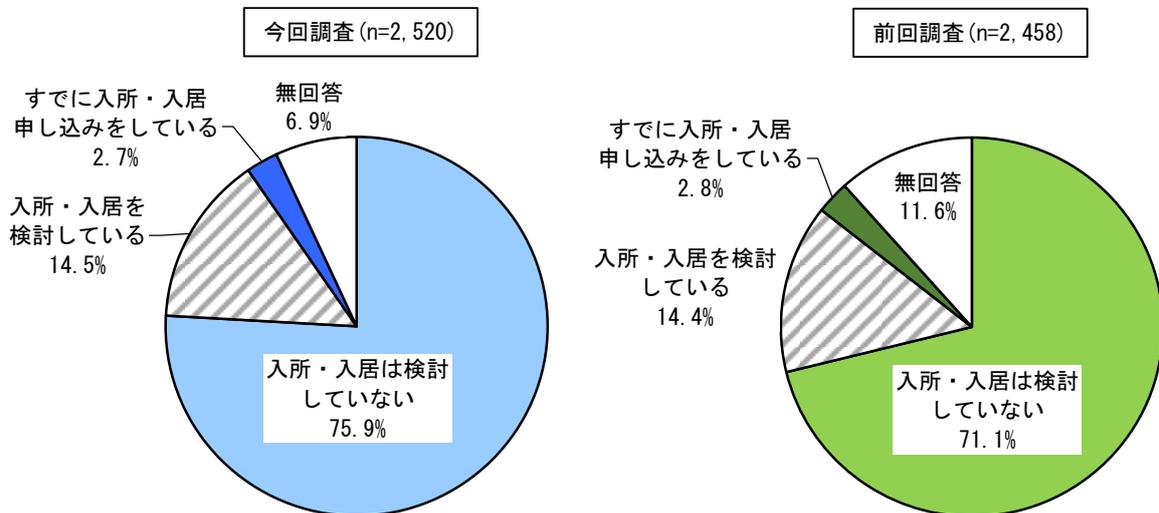
問10-1 施設等の入所(入居)の検討状況

問10で「1 持ち家・賃貸住宅」、「2 高齢者向け住宅」、「3 その他」と回答された方におうかがいします。
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(〇はひとつ)

現在の住まいが施設以外と回答した人の施設等への入所・入居の検討状況は、「入所・入居は検討していない」の割合が75.9%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が14.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が2.7%となっている。

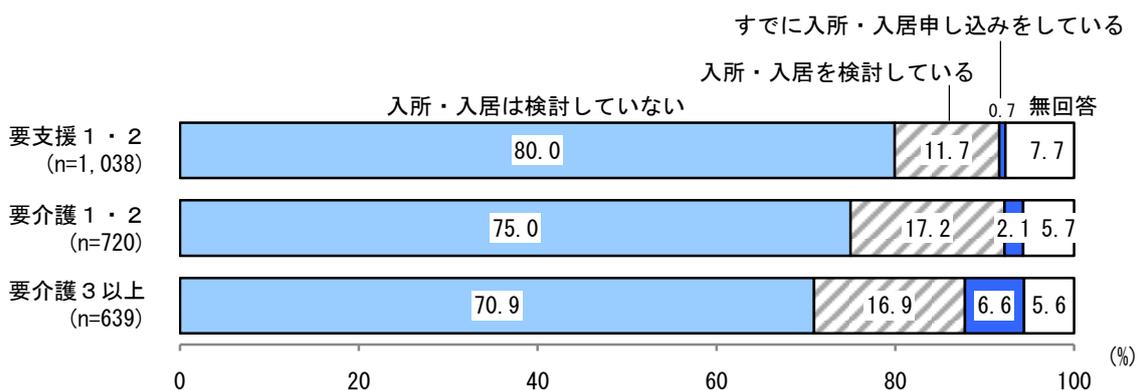
前回調査の結果に比べ、「入所・入居は検討していない」の割合は4.8ポイント増加している。(問10-1)

【問10-1 施設等の入所(入居)の検討状況(経年比較)】



要介護度別では、いずれも「入所・入居は検討していない」の割合が最も高く、重度になるほど、その割合は低くなっている。「入所・入居を検討している」の割合は、要介護1・2では17.2%、要介護3以上では16.9%となっており、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は、要介護3以上が6.6%で最も高くなっている。(問10-1-a)

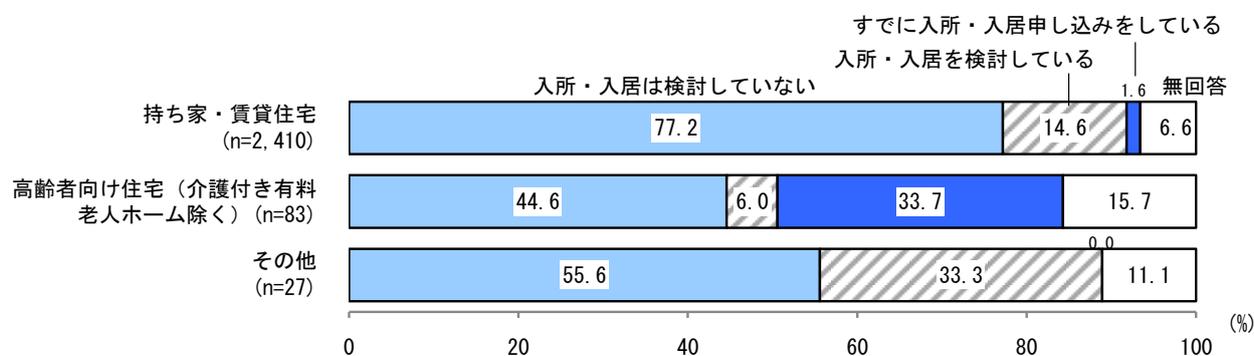
【問10-1-a 施設等の入所(入居)の検討状況(要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

現在の住まい別では、「入所・入居は検討していない」の割合は、持ち家・賃貸住宅が77.2%で最も高くなっている。「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は、高齢者向け住宅（介護付き有料老人ホーム除く）が33.7%で最も高くなっている。（問10-1-b）

【問10-1-b 施設等の入所（入居）の検討状況（現在の住まい別）】



【介護保険サービス利用者調査】

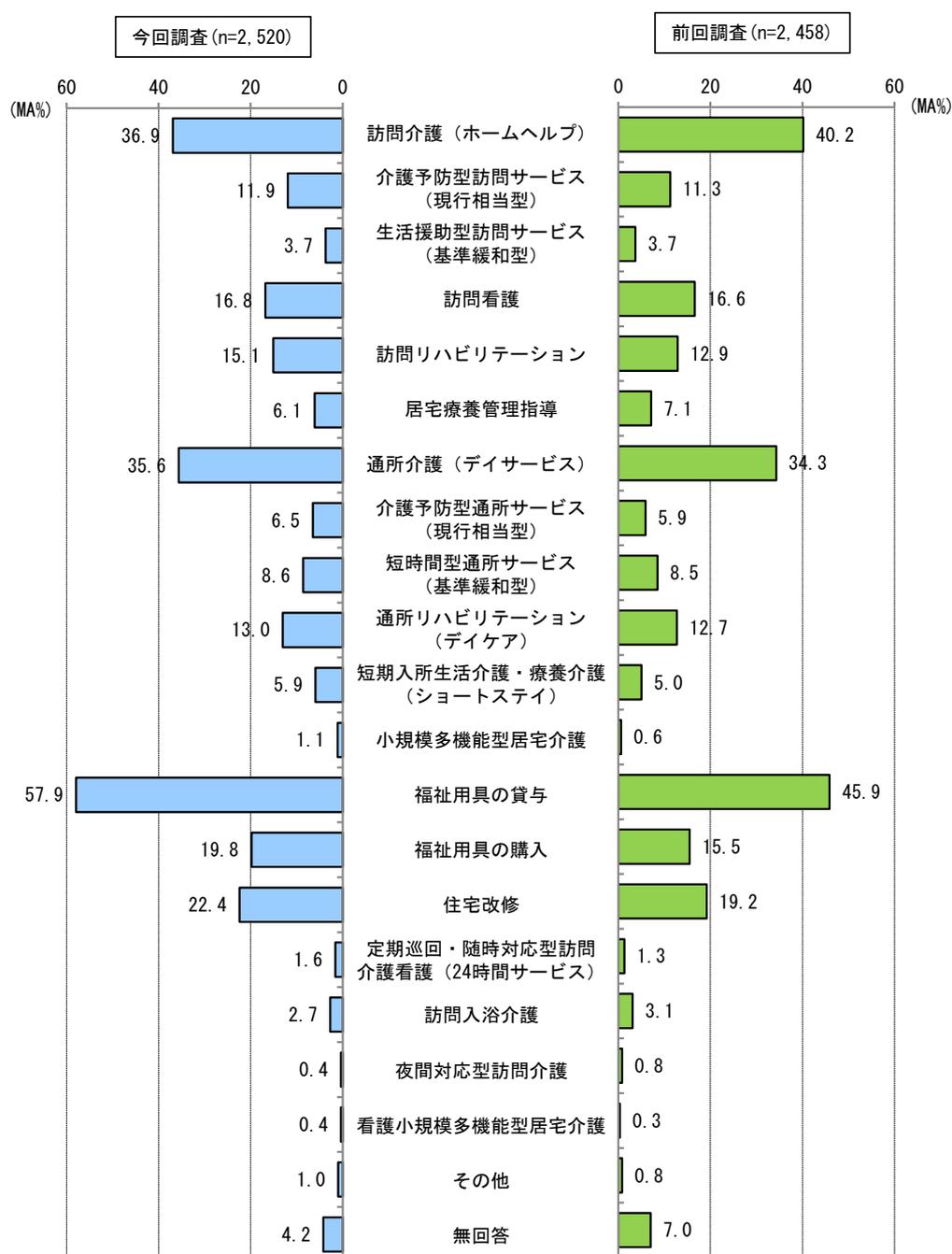
問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスについてあてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスは、「福祉用具の貸与」の割合が57.9%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が36.9%、「通所介護（デイサービス）」が35.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「福祉用具の貸与」の割合は12.0ポイント増加している。(問10-2)

【問10-2 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス（経年比較）】

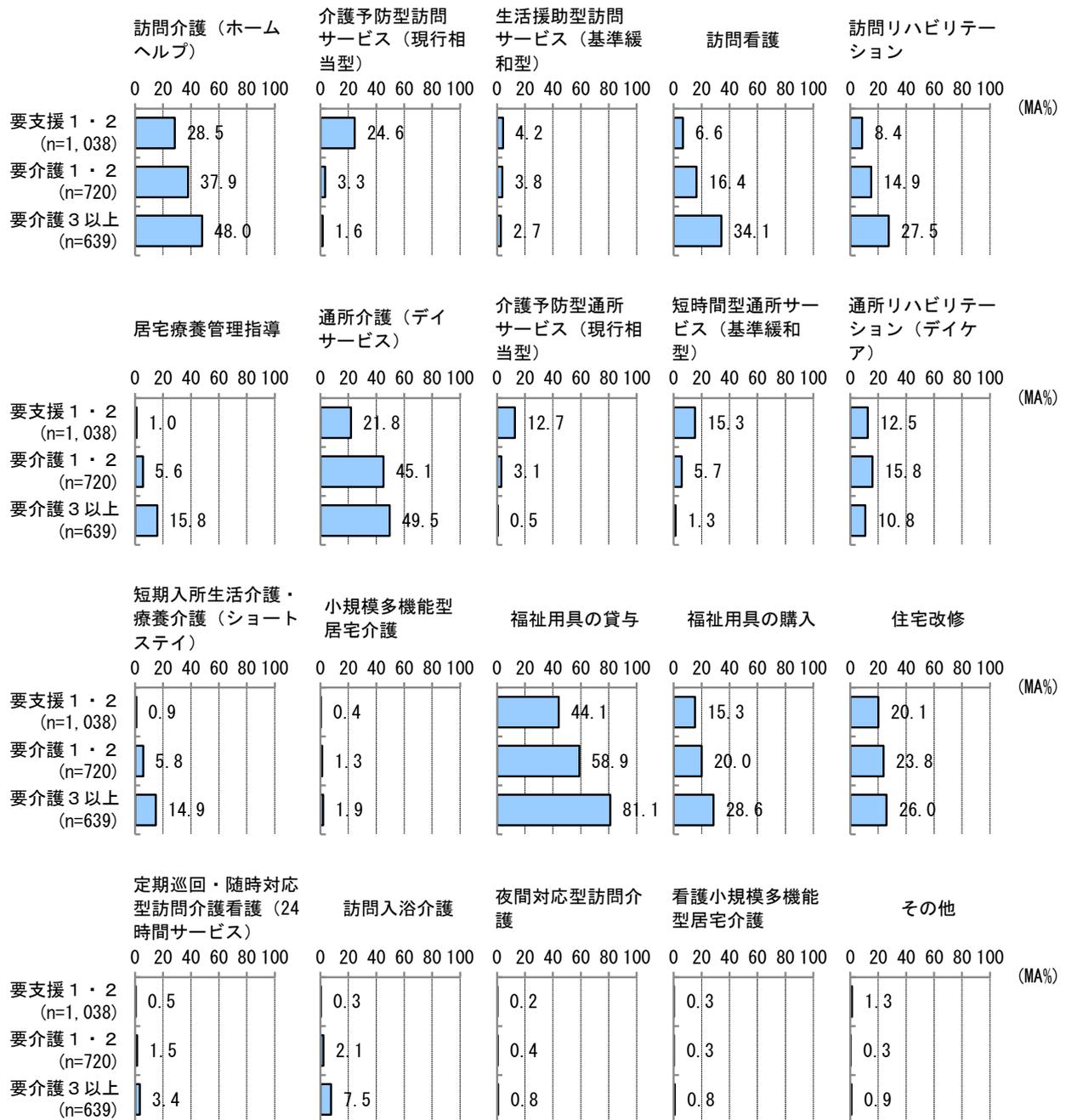


【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、いずれの要介護度も「福祉用具の貸与」の割合が最も高くなっている。

また、「訪問介護（ホームヘルプ）」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「居宅療養管理指導」「通所介護（デイサービス）」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「小規模多機能型居宅介護」「福祉用具の貸与」「福祉用具の購入」「住宅改修」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護（24時間サービス）」「訪問入浴介護」「夜間対応型訪問介護」の各割合は重度になるほど高くなっている。（問10-2-a）

【問10-2-a 利用している介護保険サービス及び介護予防サービス（要介護度別）】

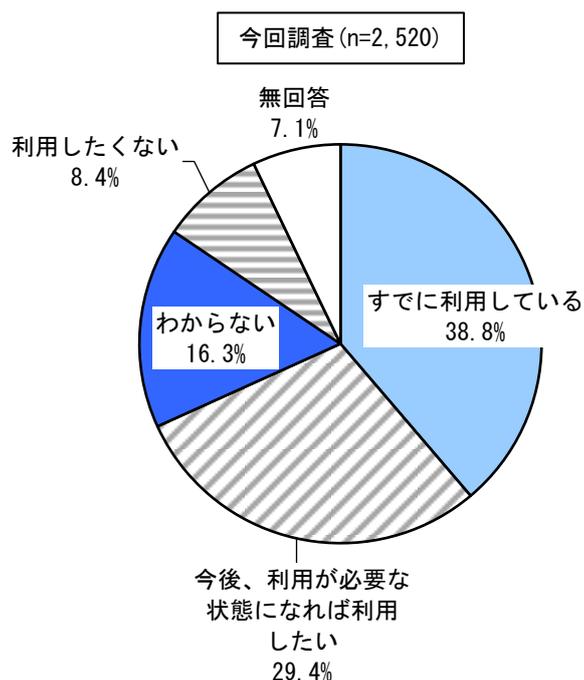


問10-3 リハビリテーションサービスの利用意向

いつまでも地域でいきいきと生活を続けるために、リハビリテーションサービスを利用してみたいですか。(〇はひとつ)

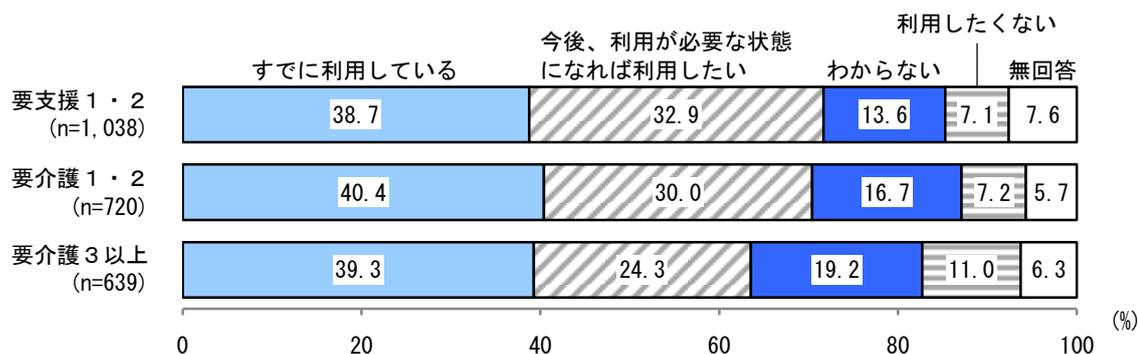
リハビリテーションサービスの利用意向は、「すでに利用している」の割合が38.8%で最も高く、次いで「今後、利用が必要な状態になれば利用したい」が29.4%となっている。(問10-3)

【問10-3 リハビリテーションサービスの利用意向】



要介護度別では、いずれも「すでに利用している」の割合が最も高い。「今後、利用が必要な状態になれば利用したい」の割合は軽度ほど高くなっている。(問10-3-a)

【問10-3-a リハビリテーションサービスの利用意向 (要介護度別)】

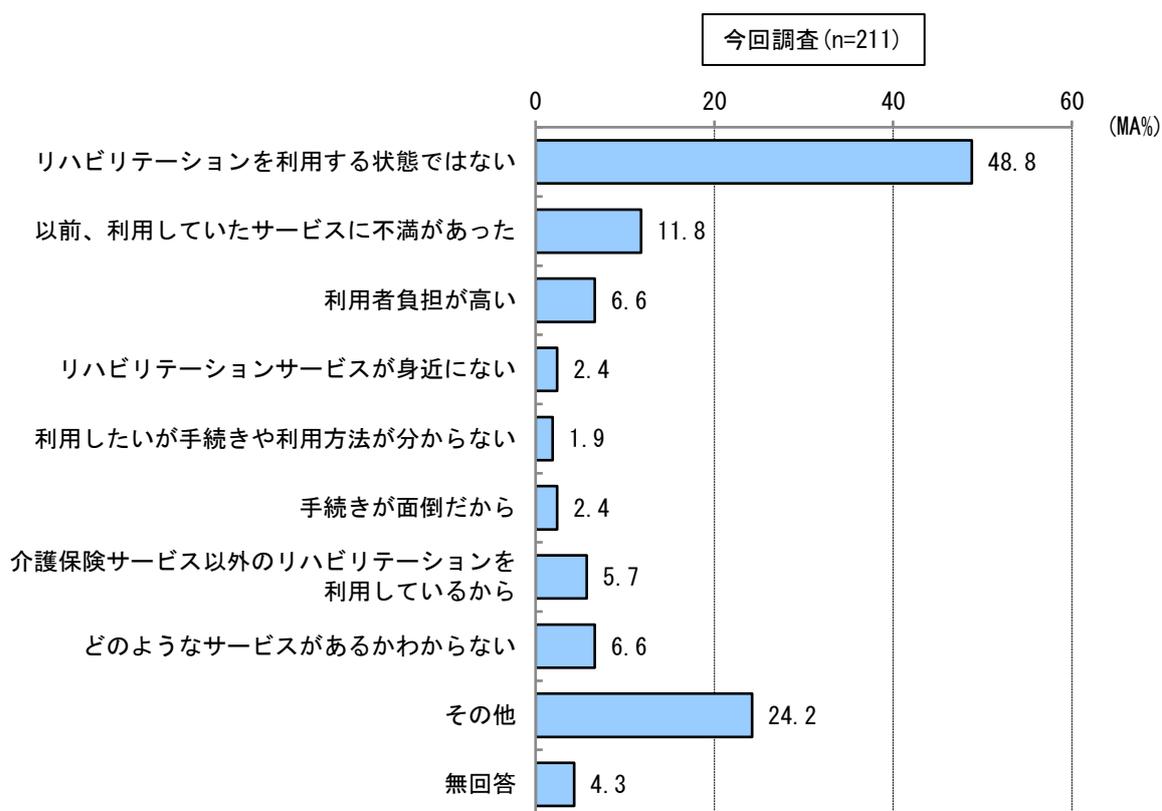


問10-4 リハビリテーションサービスを利用したくない理由

問10-3で「4 利用したくない」と回答された方におうかがいします。
 利用したくない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

リハビリテーションサービスを利用したくない理由は、「リハビリテーションを利用する状態ではない」の割合が48.8%で最も高く、次いで「以前、利用していたサービスに不満があった」が11.8%、「利用者負担が高い」と「どのようなサービスがあるかわからない」がそれぞれ6.6%となっている。(問10-4)

【問10-4 リハビリテーションサービスを利用したくない理由】

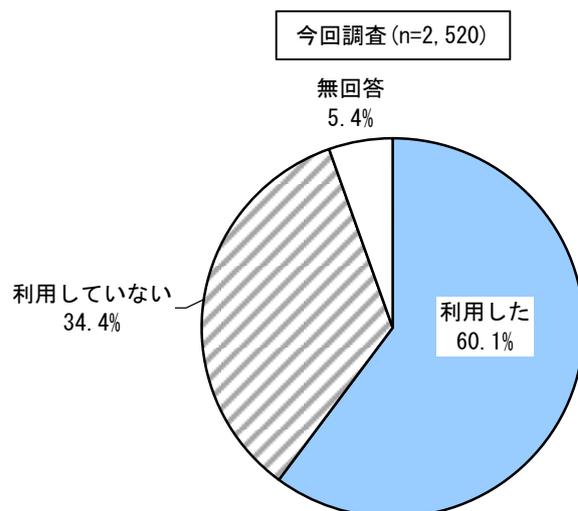


問10-5 令和7年6月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無

令和7年6月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービス及び介護予防サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

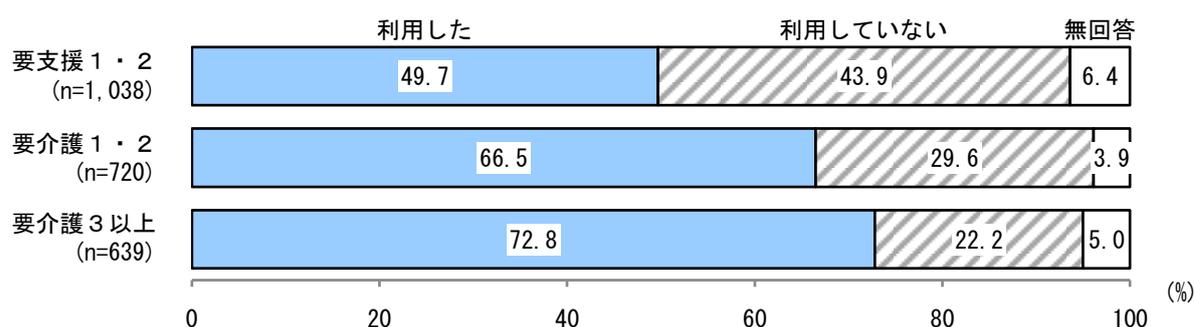
令和7年6月の1か月の間の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無は、「利用した」が60.1%に対し、「利用していない」が34.4%となっている。(問10-5)

【問10-5 令和7年6月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無】



要介護度別では、「利用した」の割合は重度になるほど高くなっている。(問10-5-a)

【問10-5-a 令和7年6月の介護保険サービス及び介護予防サービスの利用の有無 (要介護度別)】



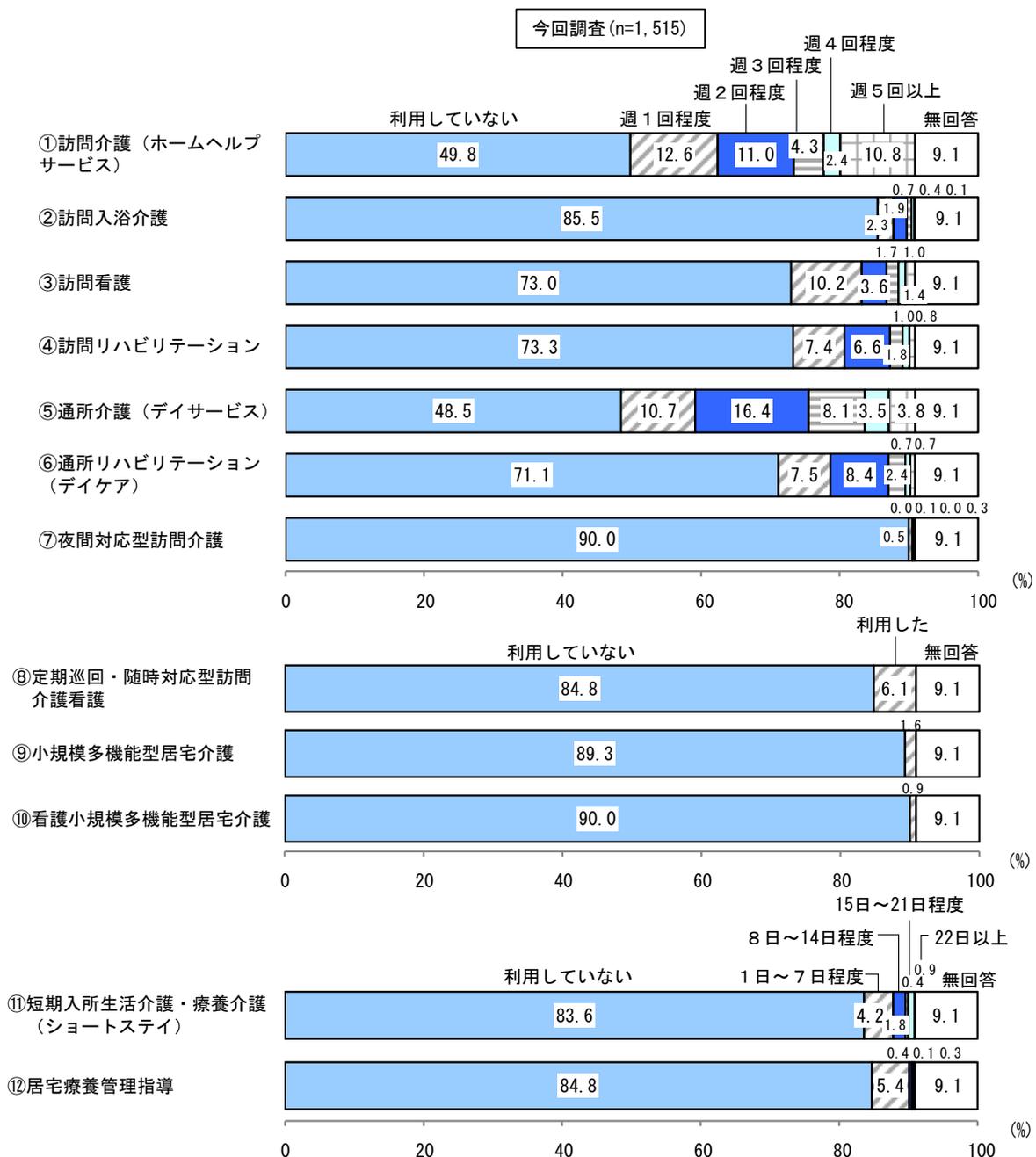
問10-6 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況

問10-5で「1 利用した」と回答された方におうかがいします。
 以下の介護保険サービス及び介護予防サービスについて、令和7年6月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービス及び介護予防サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回）」および「1 利用していない」を選択してください。（それぞれ〇はひとつ）

令和7年6月の1か月の間に介護保険サービス及び介護予防サービスを利用したと回答した人に、そのサービスの利用状況についてたずねた。

週1回以上利用しているサービスでは“⑤通所介護（デイサービス）”の割合が42.5%で最も高く、次いで“①訪問介護（ホームヘルプサービス）”が41.1%となっている。（問10-6）

【問10-6 介護保険サービス及び介護予防サービスの利用状況】



問10-7 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由

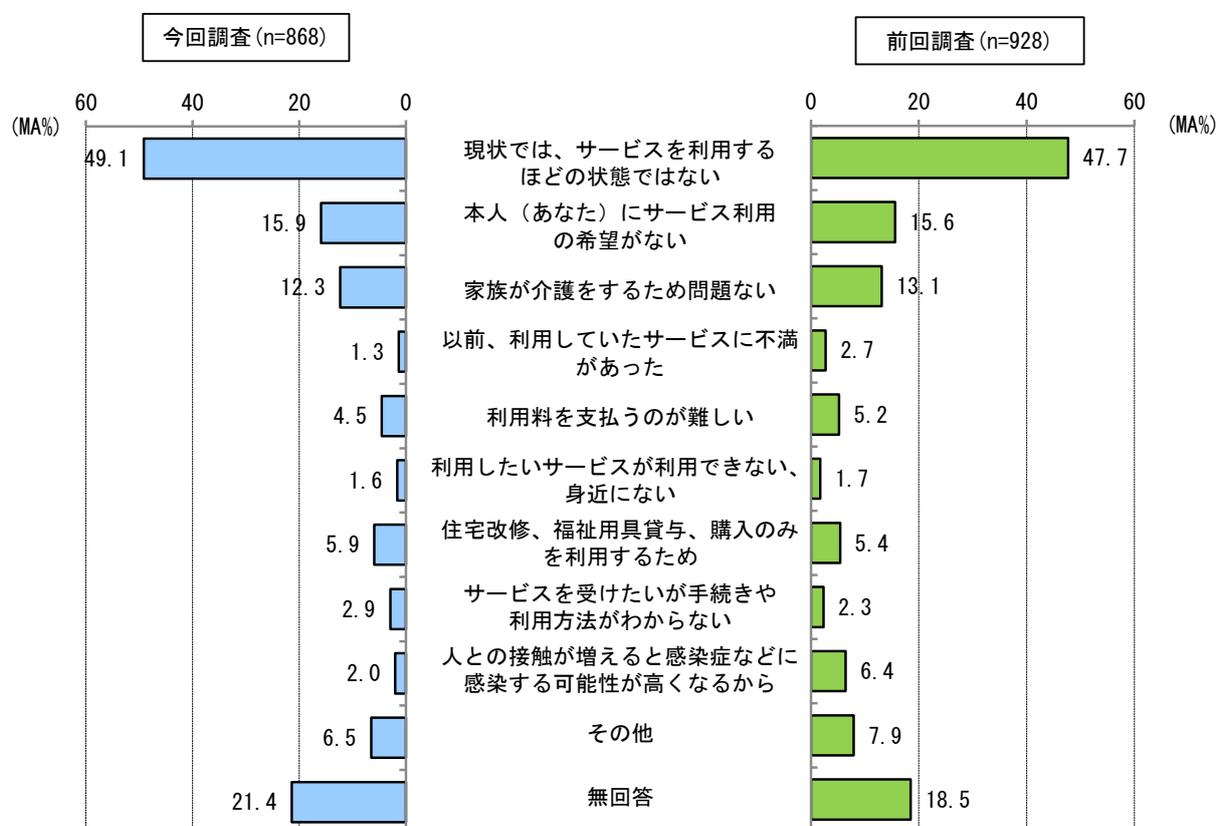
問10-5で「2 利用していない」と回答された方におうかがいします。

あなたが（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していないと回答した人に、その理由をたずねると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が49.1%で最も高く、次いで「本人（あなた）にサービス利用の希望がない」が15.9%、「家族が介護をするため問題ない」が12.3%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問10-7）

【問10-7 介護保険サービス及び介護予防サービスを利用していない理由（経年比較）】



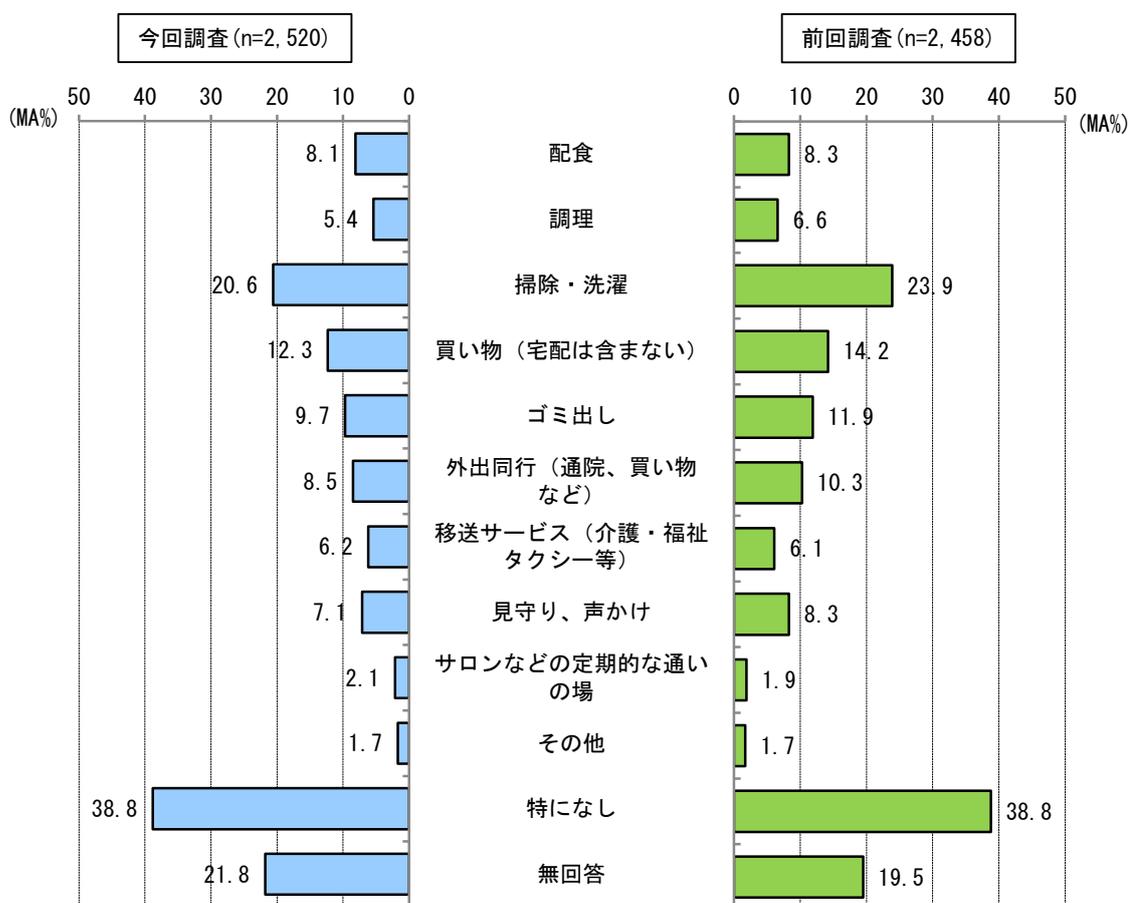
問11 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス

現在、利用している、「介護保険サービス及び介護予防サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービスは、「掃除・洗濯」の割合が20.6%で最も高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が12.3%、「ゴミ出し」が9.7%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問11)

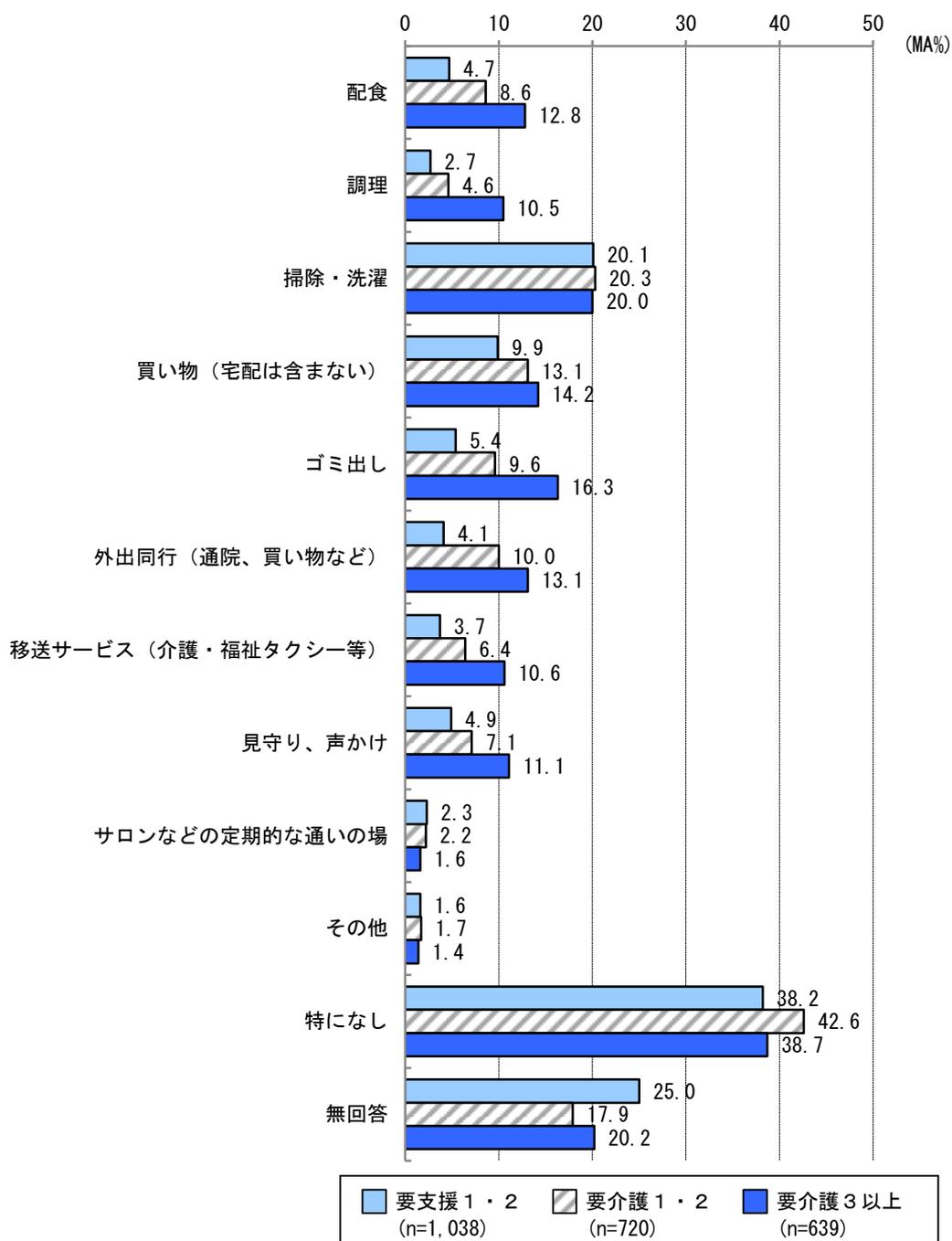
【問11 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「掃除・洗濯」「サロンなどの定期的な通いの場」以外の割合は重度になるほど高くなっている。(問11-a)

【問11-a 現在利用している、介護保険サービス及び介護予防サービス以外の支援・サービス（要介護度別）】



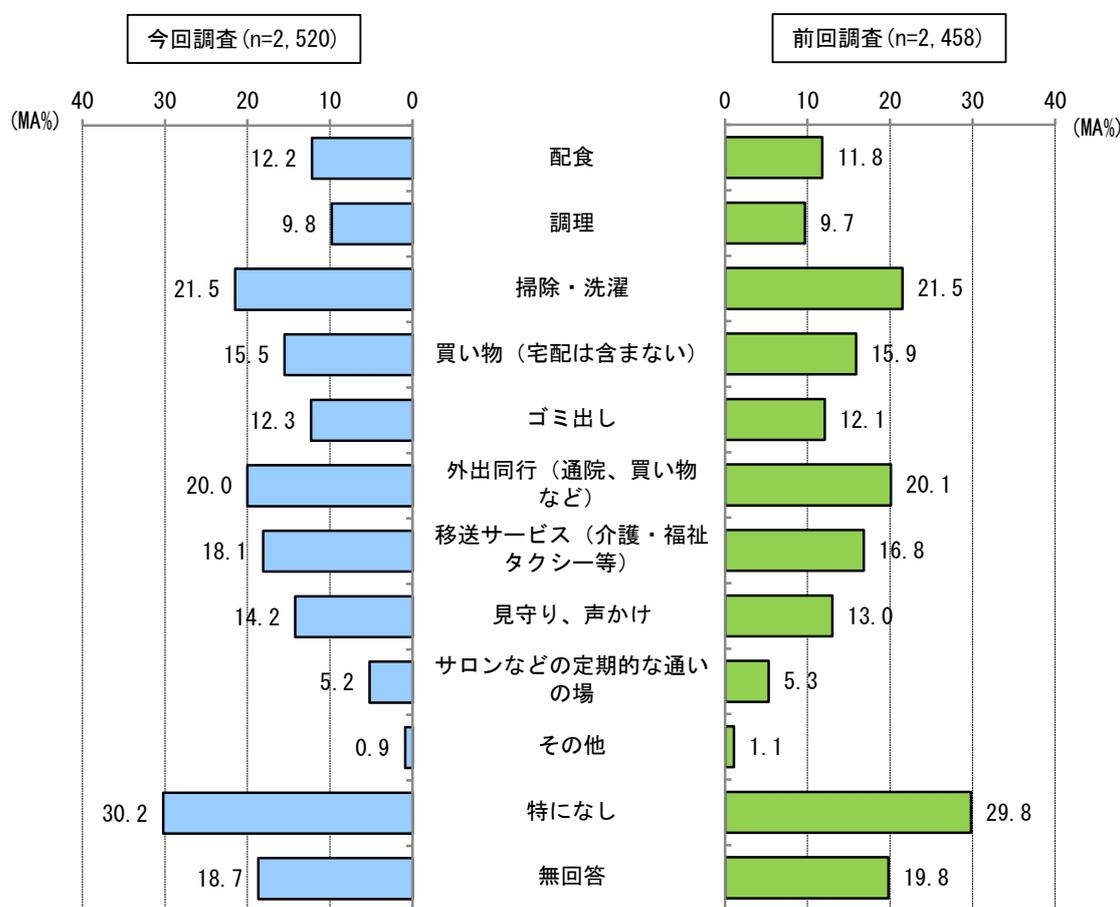
問12 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービス）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービスは、「特になし」の割合が30.2%で最も高くなっている。必要と感じる支援・サービスは「掃除・洗濯」の割合が21.5%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が20.0%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.1%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問12）

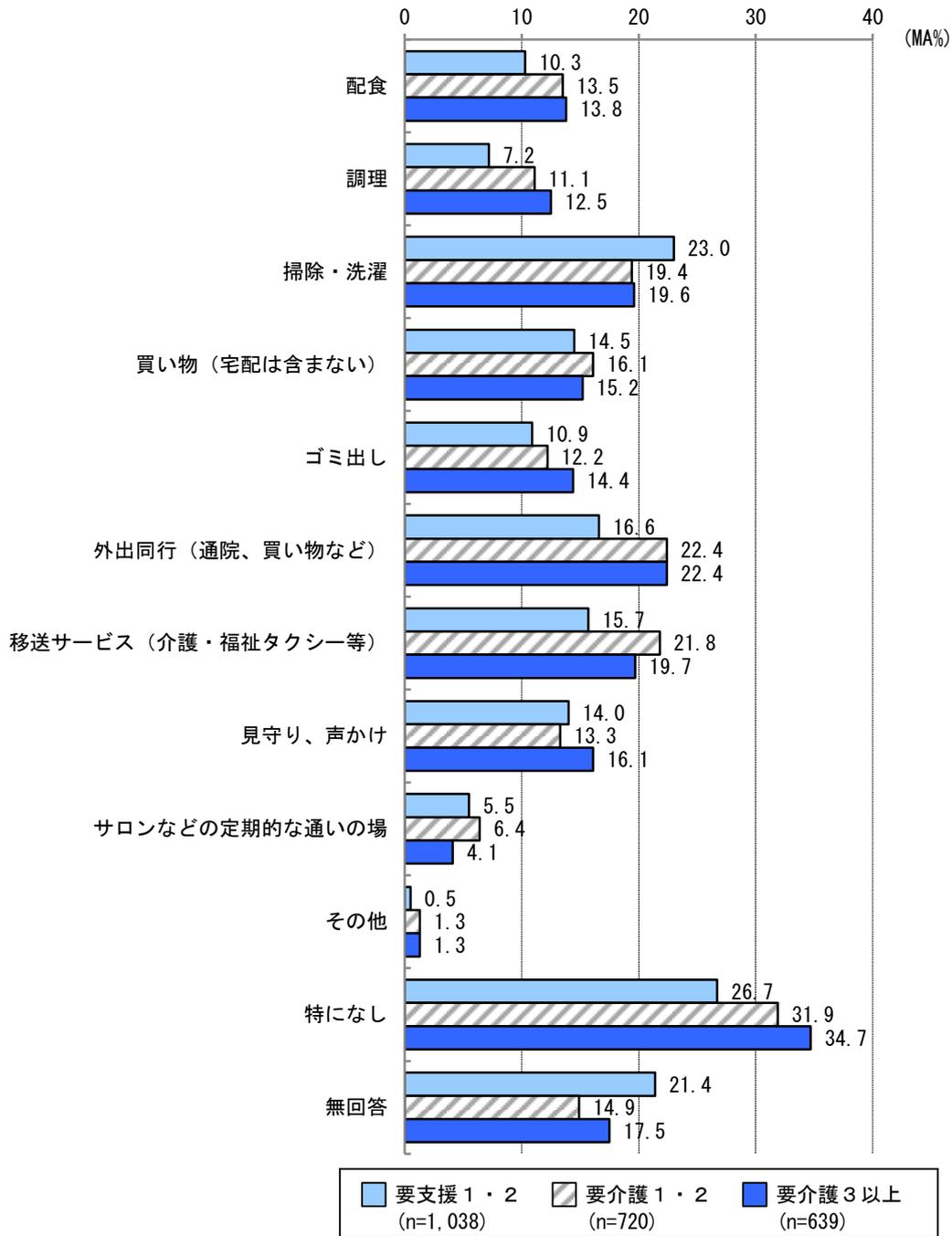
【問12 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「掃除・洗濯」の割合は要支援1・2が最も高く、「配食」「調理」「ゴミ出し」の割合は重度になるほど高くなっている。(問12-a)

【問12-a 在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス（要介護度別）】



問13 入所(入居)している施設

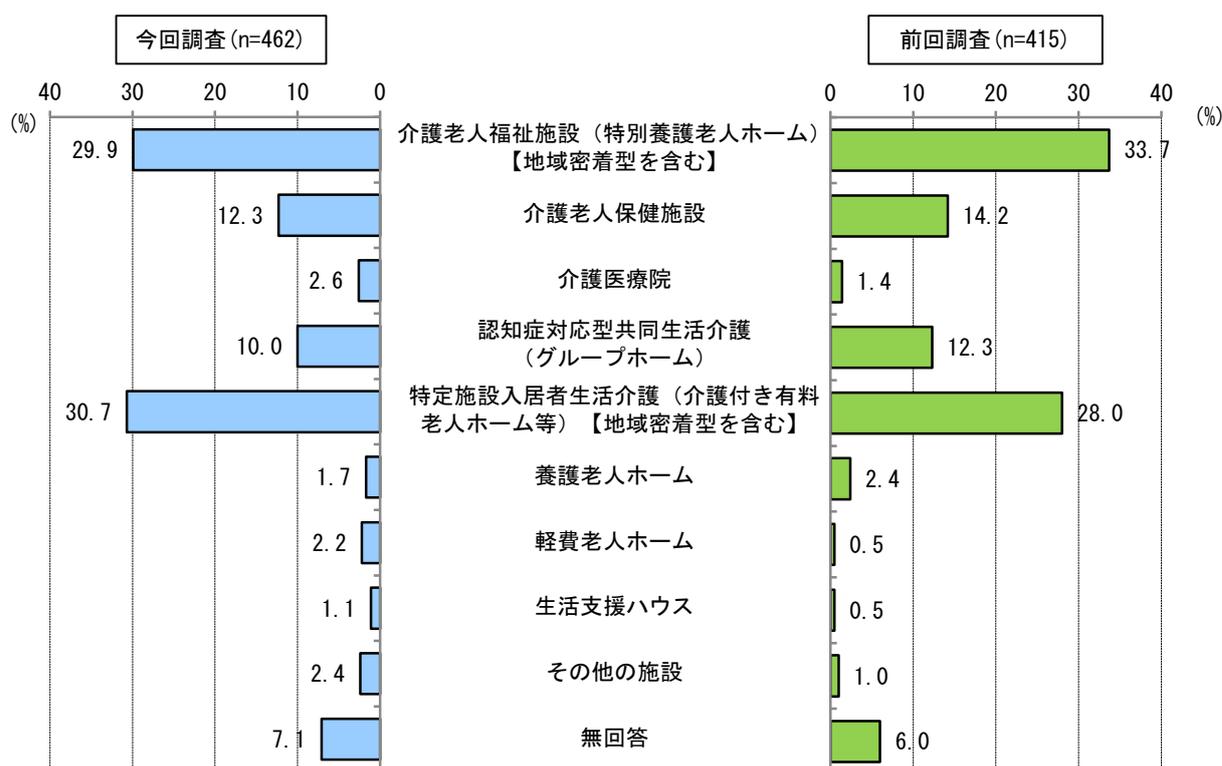
問13～問13-2は、問10で「4 施設等に入所(入居)している」と回答された方のみお答えください。

あなたが現在入所(入居)している施設について、あてはまる番号に○をつけてください。
(○はひとつ)

施設等に入所(入居)していると回答した人に、その施設をたずねると、「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)【地域密着型を含む】」の割合が30.7%で最も高く、次いで「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)【地域密着型を含む】」が29.9%、「介護老人保健施設」が12.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)【地域密着型を含む】」と「特定施設入居者生活介護(介護付き有料老人ホーム等)【地域密着型を含む】」の順位が入れ替わっている。(問13)

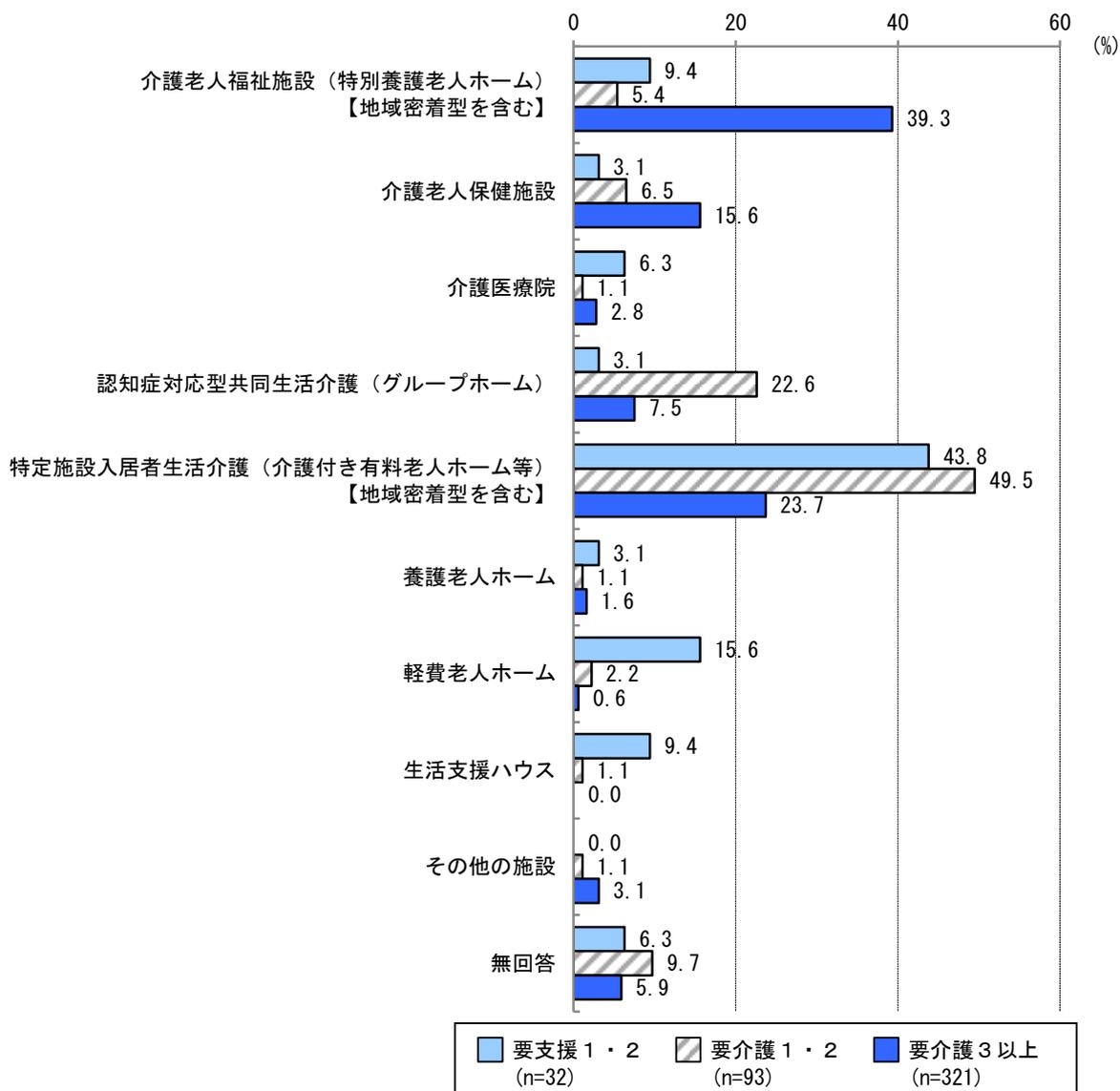
【問13 入所(入居)している施設(経年比較)】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2では「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）【地域密着型を含む】」が最も多く、要介護3以上では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」が最も多くなっている。（問13-a）

【問13-a 入所（入居）している施設（要介護度別）】



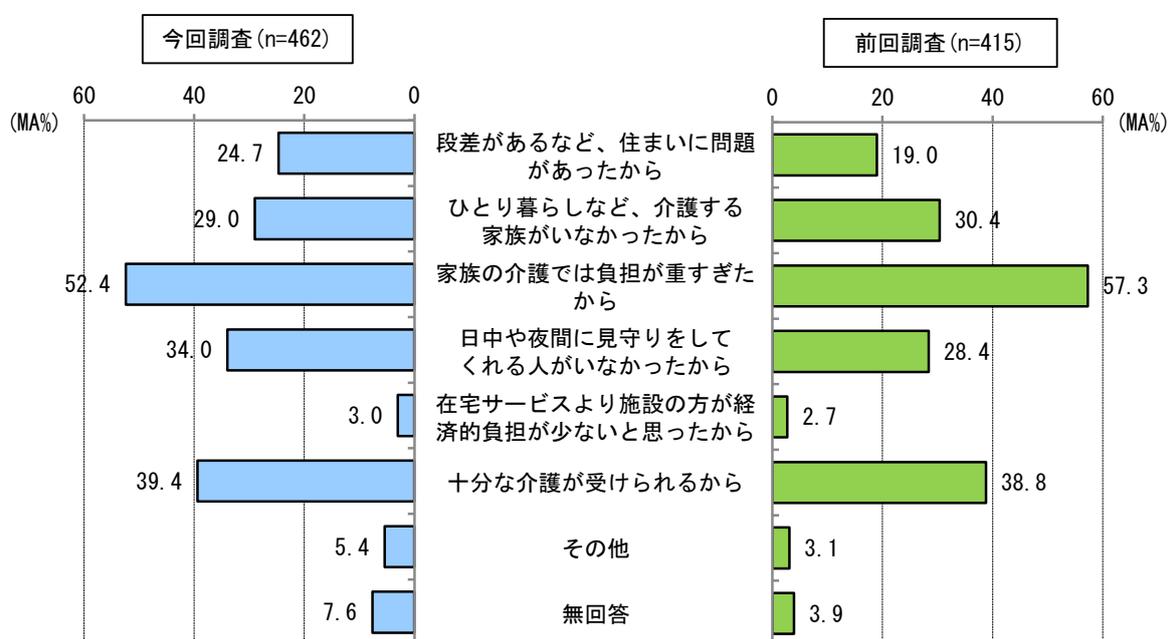
問13-1 入所(入居)を希望した理由

あなたが、施設等の入所(入居)を希望した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

施設等に入所(入居)していると回答した人に、入所(入居)を希望した理由をたずねると、「家族の介護では負担が重すぎたから」が52.4%で最も多く、次いで「十分な介護が受けられるから」が39.4%、「日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかったから」が34.0%となっている。

前回調査と比較すると、「段差があるなど、住まいに問題があったから」の割合が5.7ポイント、「日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかったから」の割合が5.6ポイント、前回より高くなっている。(問13-1)

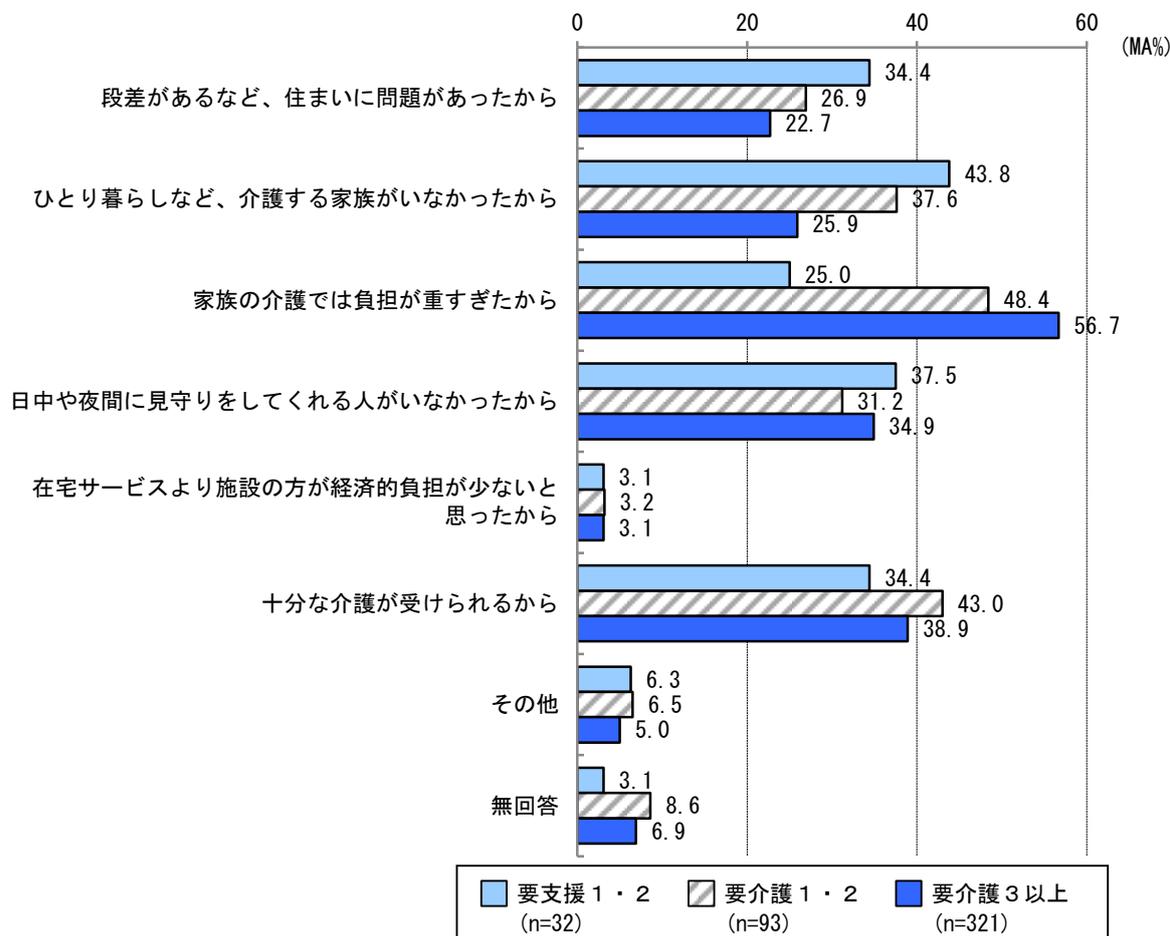
【問13-1 入所(入居)を希望した理由(経年比較)】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「家族の介護では負担が重すぎたから」の割合は重度になるほど高い。「段差があるなど、住まいに問題があったから」「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」の割合は軽度になるほど高くなっている。(問13-1-a)

【問13-1-a 入所（入居）を希望した理由（要介護度別）】



問13-2 入所施設での定住意向

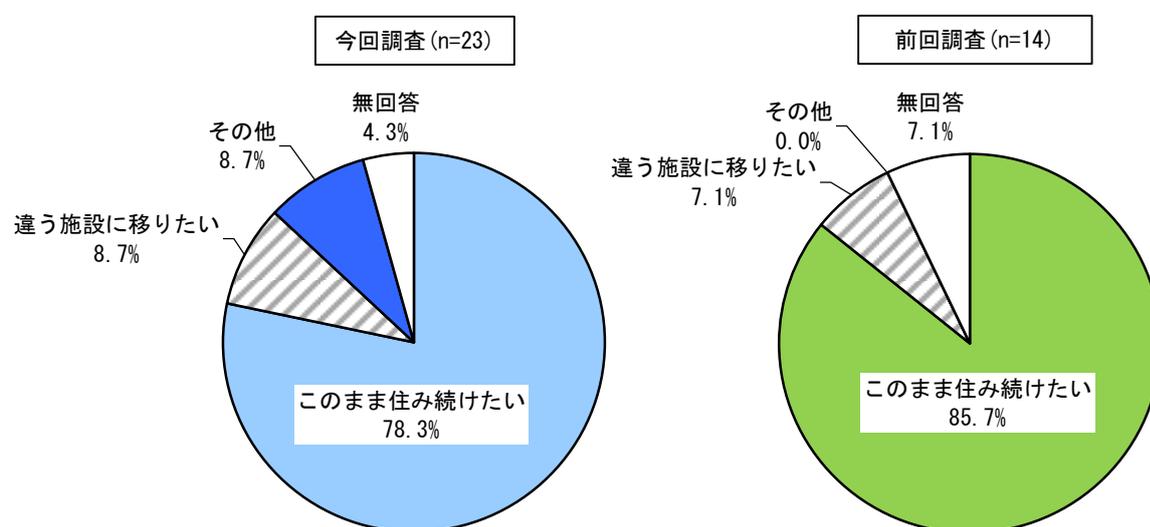
問13で「6 養護老人ホーム」、「7 軽費老人ホーム」、「8 生活支援ハウス」と回答された方におうかがいします。

あなたが入所されている施設にこのまま住み続けたいと思いますか。(○はひとつ)

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、現在、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、生活支援ハウスに入居（入所）していると回答した人（23人）に、このまま住み続けたいかをたずねると、「このまま住み続けたい」が78.3%（18人）、「違う施設に移りたい」が8.7%（2人）となっている。

前回調査の結果に比べ、「このまま住み続けたい」の割合は7.4ポイント減少している。（問13-2）

【問13-2 入所施設での定住意向（経年比較）】



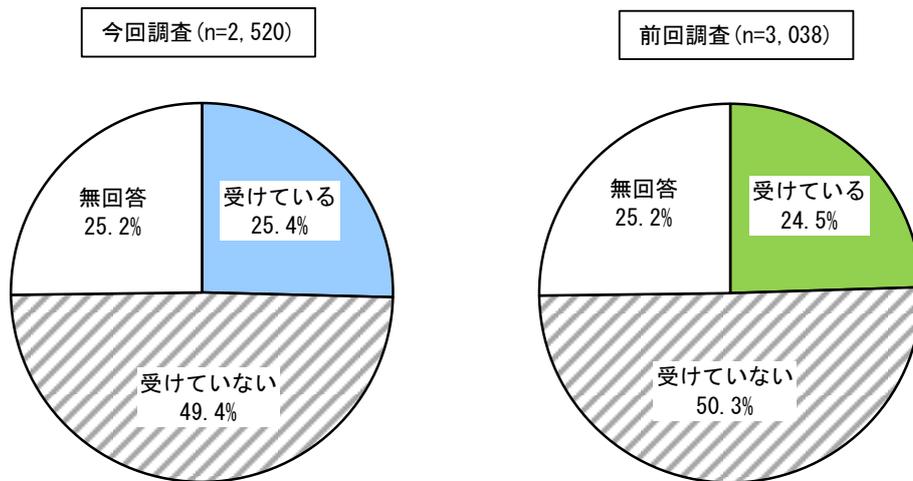
問14 医療従事者などの訪問有無

問14は、ご自宅で介護保険サービスをご利用されている方のみお答えください。
あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。(○はひとつ)

現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「受けている」が25.4%に対し、「受けていない」が49.4%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問14)

【問14 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】

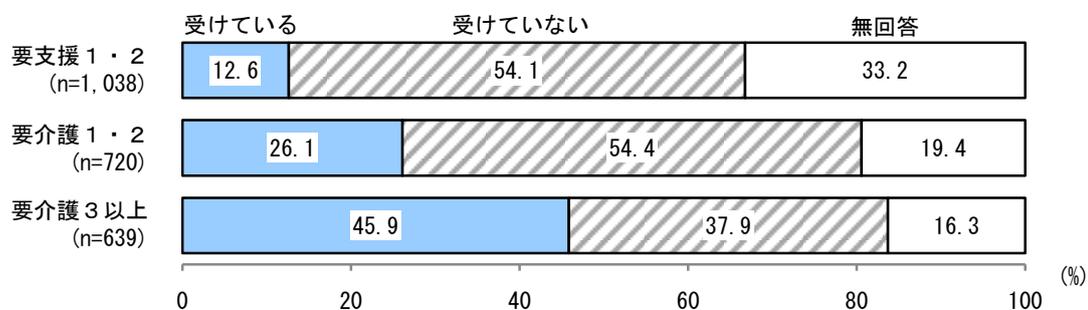


※選択肢の変換：「はい」→「受けている」、「いいえ」→「受けていない」

【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2と要介護1・2は「受けていない」の割合が高くなっている。要介護度が重度になるほど「受けている」の割合が高くなっており、要介護3以上では45.9%となっている。(問14-a)

【問14-a 医療従事者などの訪問有無（要介護度別）】



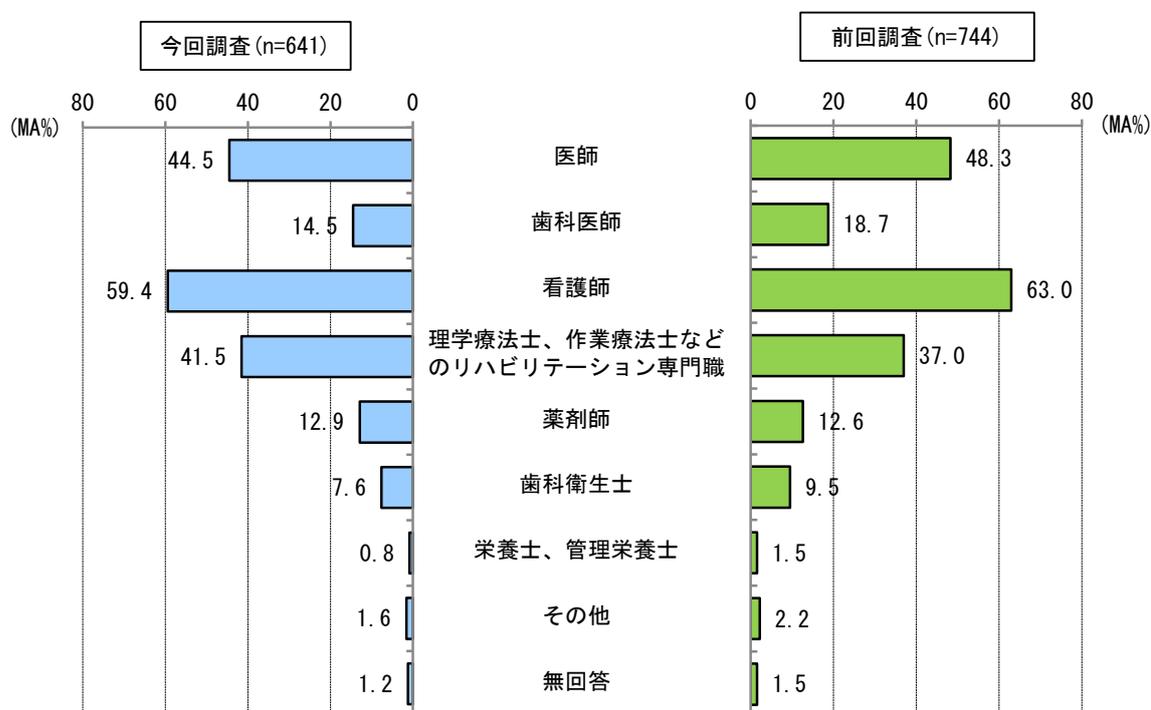
問14-1 訪問されている医療従事者

問14で「1 はい」と回答された方におうかがいします。
訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「看護師」の割合が59.4%で最も高く、次いで「医師」が44.5%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」が41.5%となっている。

前回調査の結果に比べ、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」の割合が4.5ポイント増加し、「歯科医師」の割合が4.2ポイント減少している。(問14-1)

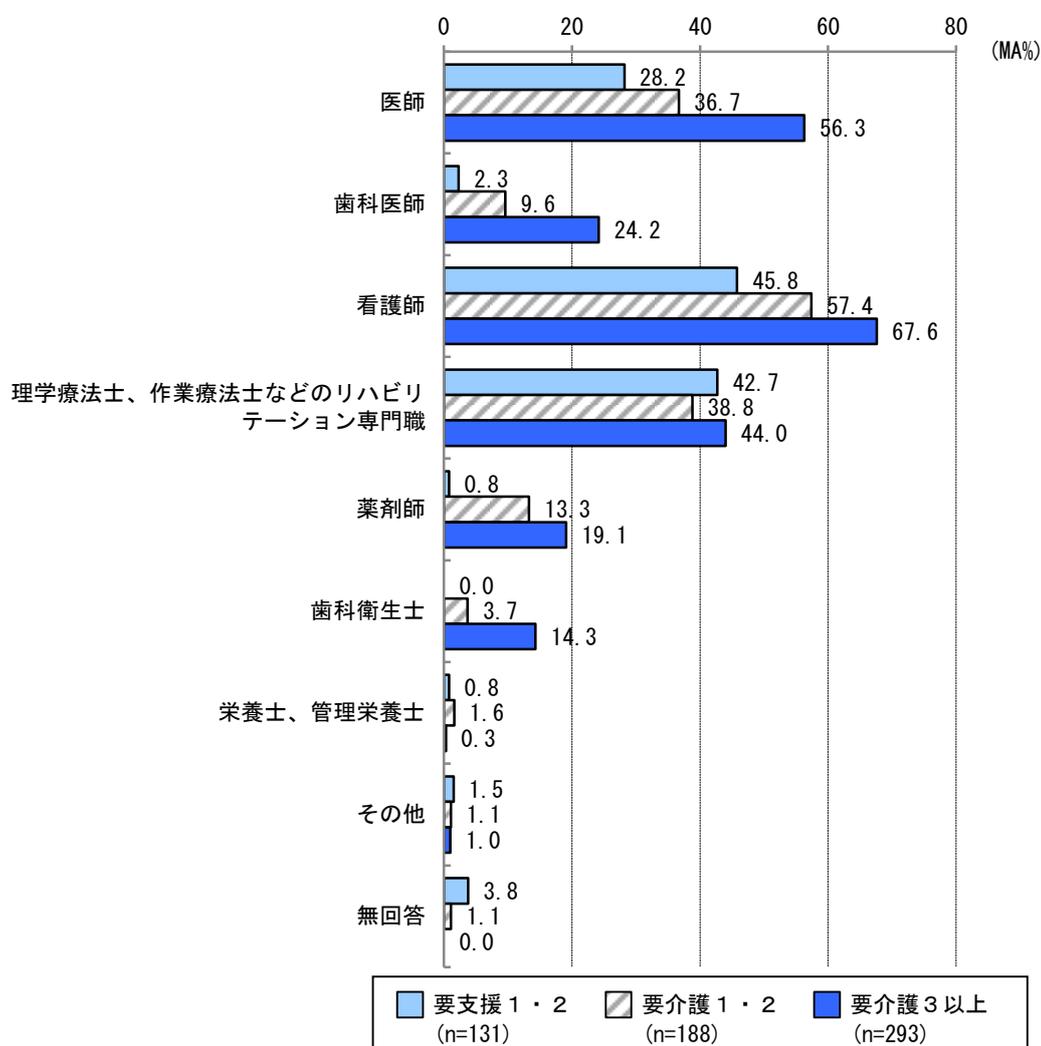
【問14-1 訪問されている医療従事者（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション専門職」と「栄養士、管理栄養士」以外の項目では、いずれも重度になるほど割合が高くなっている。(問14-1-a)

【問14-1-a 訪問されている医療従事者（要介護度別）】



問15 介護支援専門員の満足度

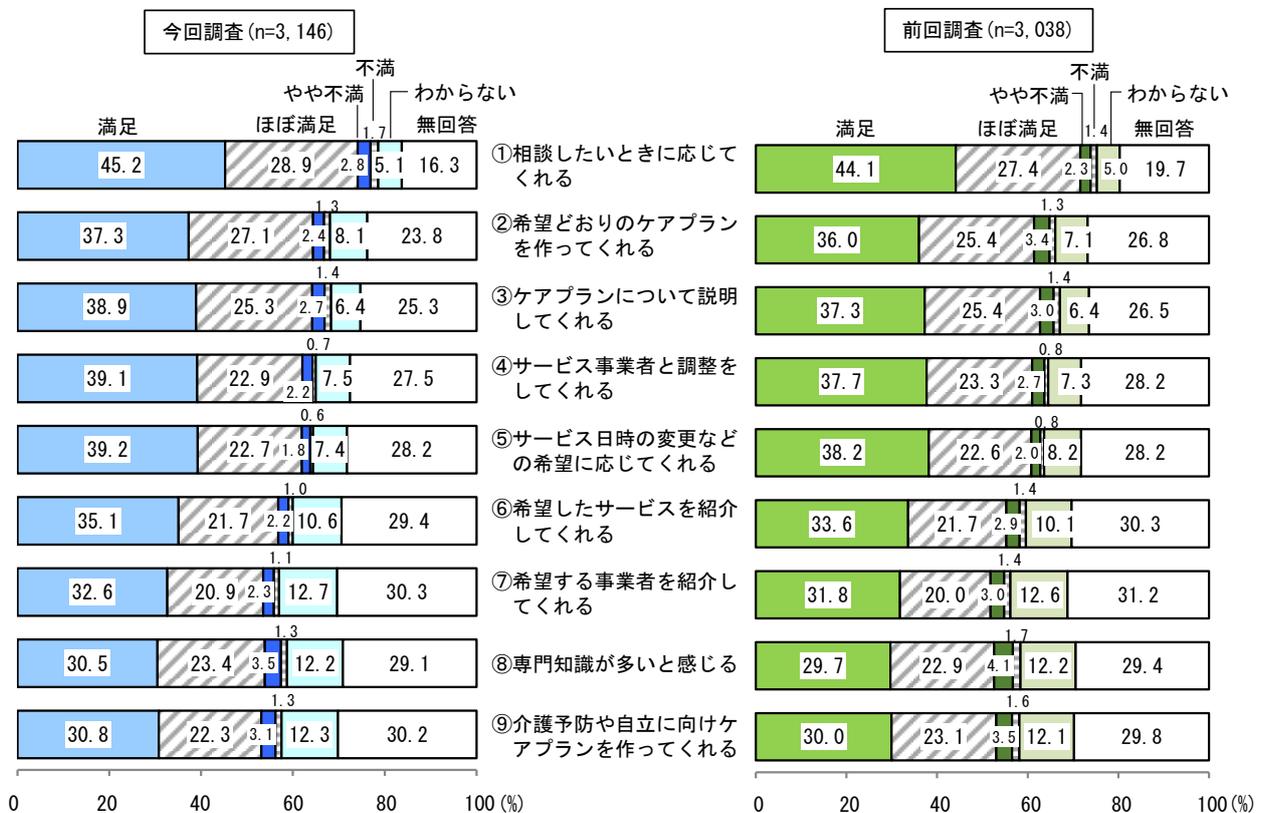
現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、次の(1)～(9)の項目ごとの満足度をお答えください。（それぞれ○はひとつ）

現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度は、いずれの項目も「満足」の割合が最も高く、特に“①相談したいときに応じてくれる”が45.2%で最も高くなっている。

また「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』割合は、“①相談したいときに応じてくれる”が74.1%、“②希望どおりのケアプランを作ってくれる”が64.4%となっている。

前回調査の結果に比べ、いずれの項目も『満足』割合が増加している。（問15）

【問15 介護支援専門員の満足度（経年比較）】



問15-1 担当の介護支援専門員についての意見・要望(自由記述)

担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。

361人から延べ365件の意見が挙がっている。

【主な意見】

- ・良くしてくれている、感謝している、満足している。
- ・いつも忙しそうである。説明・情報提供・対応が不十分。気がきかない。不満がある。
- ・あまり連絡がない、もっと訪問してほしい。あまり会う機会がなく、よくわからない。
- ・個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
- ・適切なサービス・事業者を紹介してもらえない。きちんと要望を聞いてほしい。サービスの押し付けが多い。サービス内容を改善してほしい。
- ・担当者がよく変わる。担当者が変わったばかりでわからない。

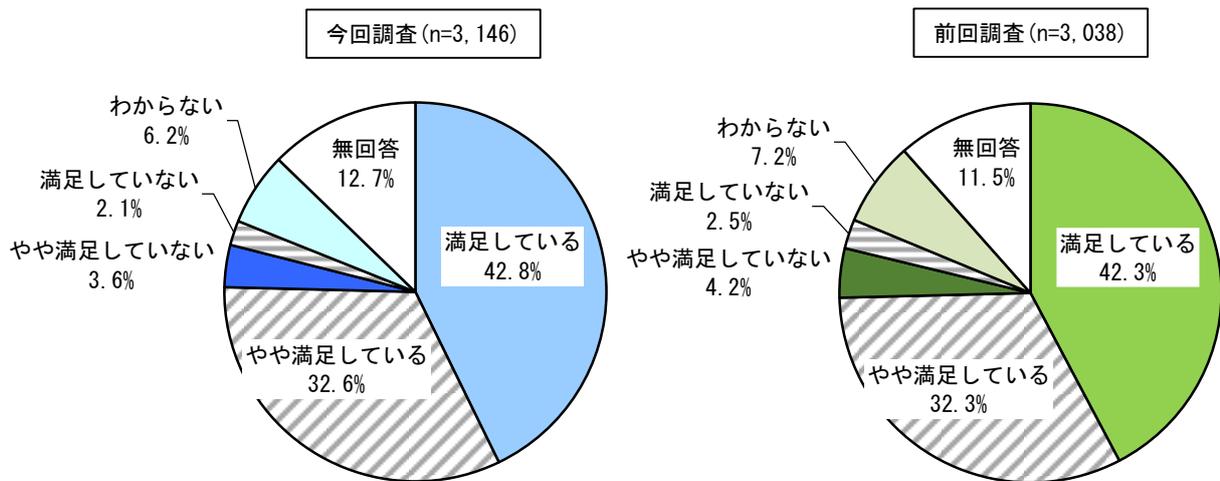
問16 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度についてお答えください。(○はひとつ)

介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度は、「満足している」の割合が42.8%で最も高く、次いで「やや満足している」が32.6%となっており、両者をあわせた『満足』の割合は75.4%を占めている。

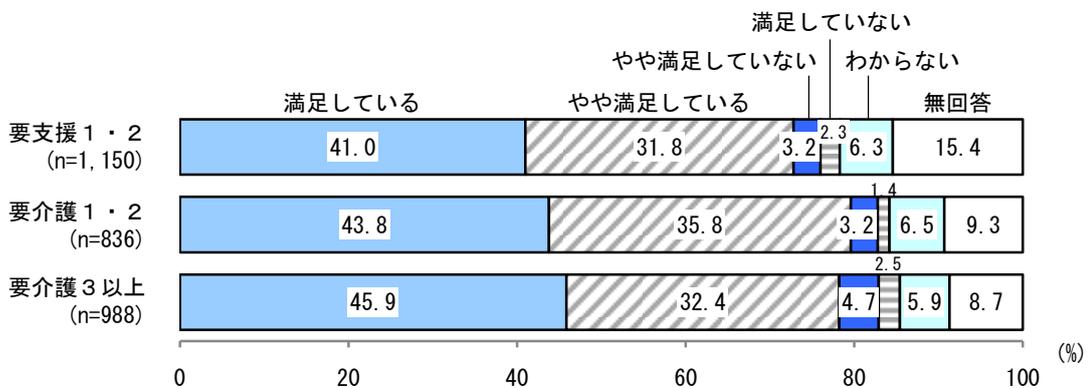
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問16)

【問16 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず「満足している」の割合が最も高く、『満足』の割合は要介護1・2が79.6%で最も高くなっている。(問16-a)

【問16-a 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（要介護度別）】



問16-1 介護保険サービス及び介護予防サービスについての意見・要望(自由記述)

介護保険サービス及び介護予防サービスについて、ご意見・ご要望等があれば、次の欄に記入してください。

222人から延べ236件の意見が挙がっている。

【主な意見】

- ・個々の希望に応じたサービスを充実させてほしい。利用できるサービスの幅を増やしてほしい。サービスの利用時間・日数が短い。
 - ・満足している。感謝している。家族の負担が軽減している。
 - ・経済的負担が大きい。自己負担が困難である。
 - ・サービス内容についてよくわからない。サービス内容・申請方法等の情報提供を充実させてほしい。
 - ・スタッフの個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
 - ・スタッフの待遇を改善、人材不足を解消してほしい。
-

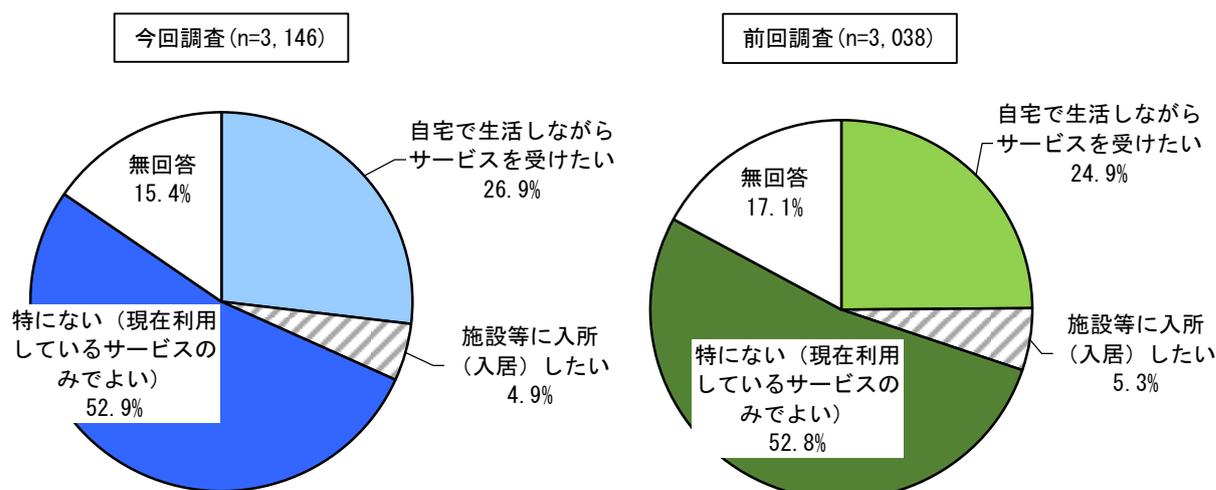
問17 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(〇はひとつ)

ここ1年以内に利用したい介護サービスは、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」の割合が52.9%で最も高く、次いで「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が26.9%、「施設等に入所（入居）したい」が4.9%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問17)

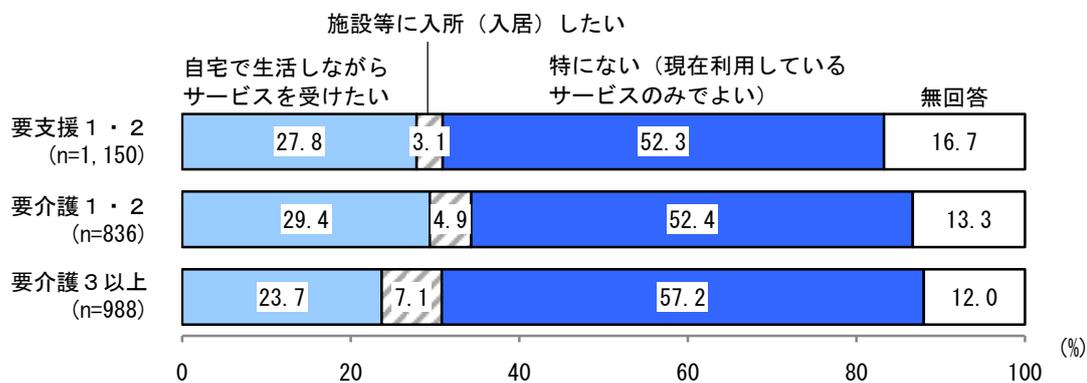
【問17 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず、「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」の割合が最も高くなっている。「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は要介護1・2が29.4%で最も高く、「施設等に入所（入居）したい」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問17-a）

【問17-a 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（要介護度別）】



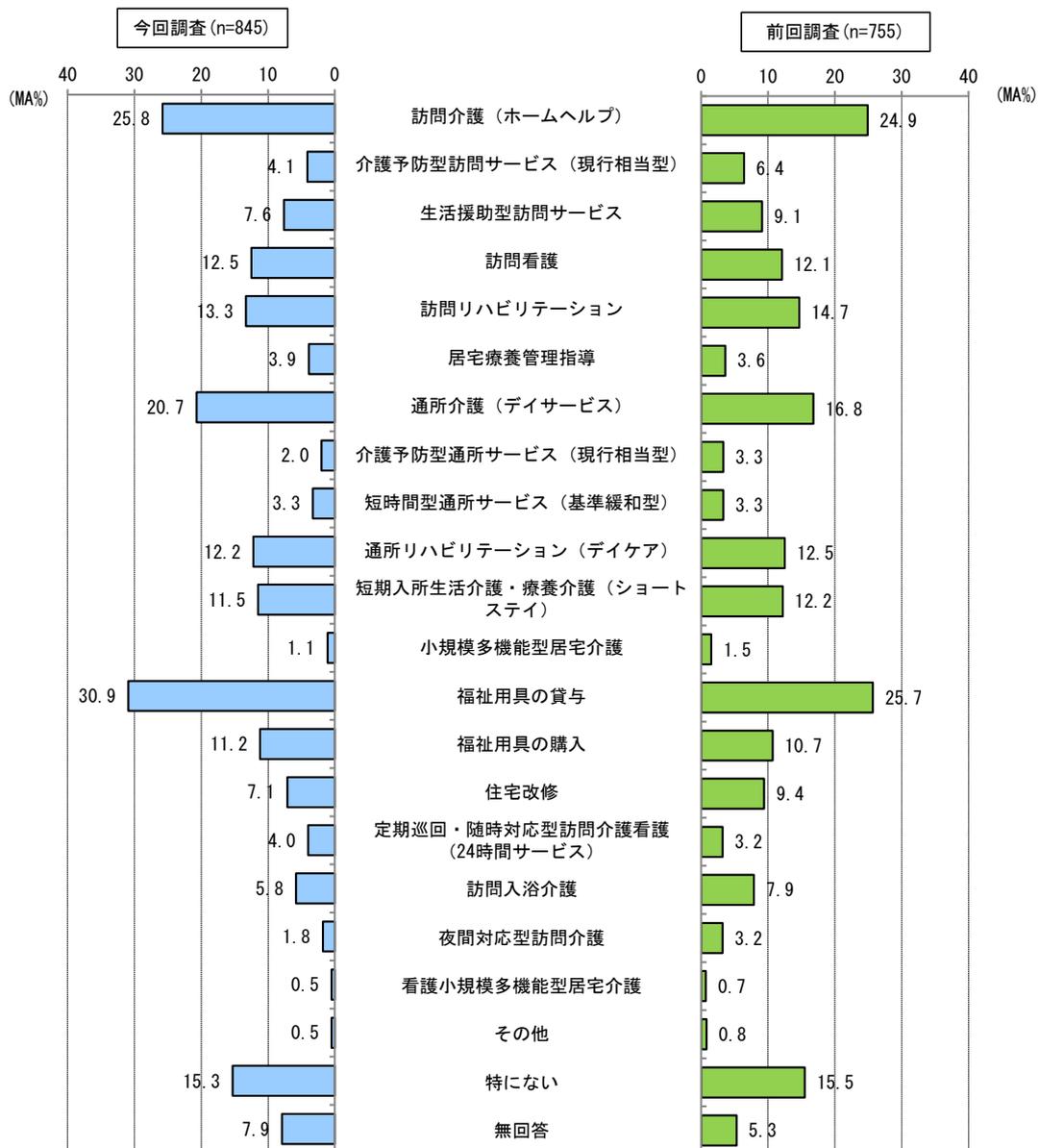
問17-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向

この質問は、問17で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。
 あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、現在利用していない居宅サービスで利用したいサービスをたずねると、「福祉用具の貸与」の割合が30.9%で最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が25.8%、「通所介護（デイサービス）」が20.7%となっている。

前回調査の結果に比べ、「福祉用具の貸与」の割合は5.2ポイント増加している。(問17-1)

【問17-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向（経年比較）】

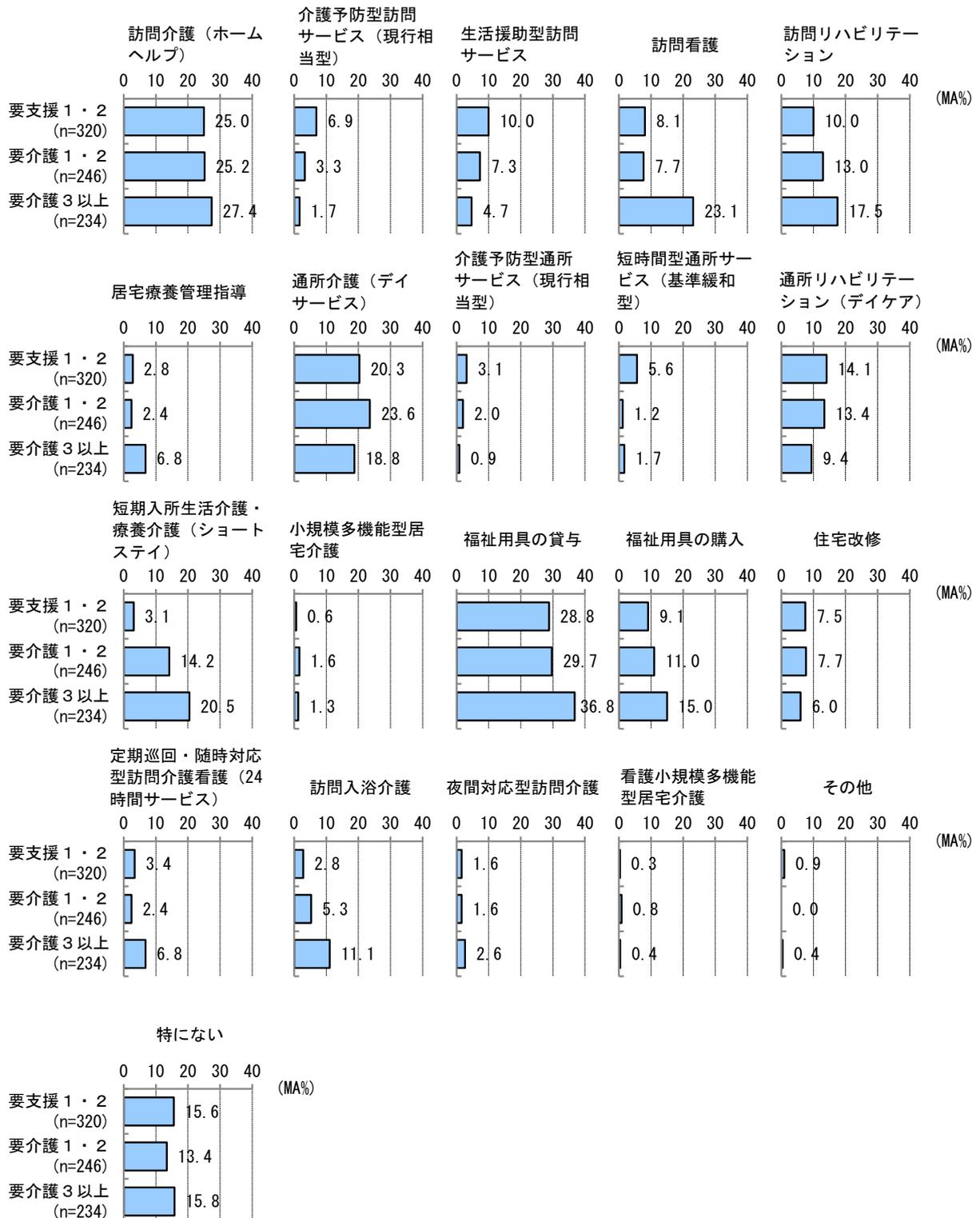


【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「福祉用具の貸与」の割合が最も高くなっている。

また、「訪問介護（ホームヘルプ）」「訪問リハビリテーション」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「福祉用具の貸与」「福祉用具の購入」「訪問入浴介護」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。要介護3以上では、「訪問看護」の割合が23.1%と、要支援1・2、要介護1・2に比べ高い。（問17-1-a）

【問17-1-a 現在利用していない居宅サービスの利用意向（要介護度別）】



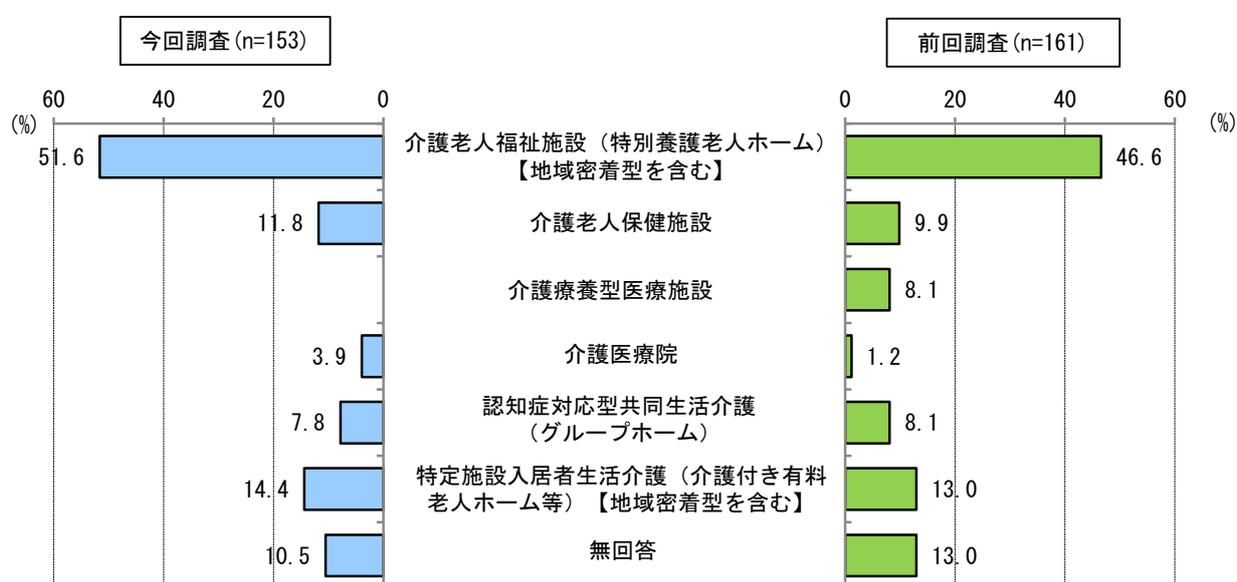
問17-2 現在利用していない施設サービスの利用意向

この質問は、問17で「2 施設等に入所（入居）したい」と回答された方のみお答えください。あなたが1年以内に入所（入居）したい施設等について、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

施設等に入所（入居）したいと回答した人に、現在利用していない施設サービスで利用したいサービスをたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合が51.6%で最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム等）【地域密着型を含む】」が14.4%、「介護老人保健施設」が11.8%となっている。

前回調査の結果に比べ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合は5.0ポイント増加している。（問17-2）

【問17-2 現在利用していない施設サービスの利用意向（経年比較）】

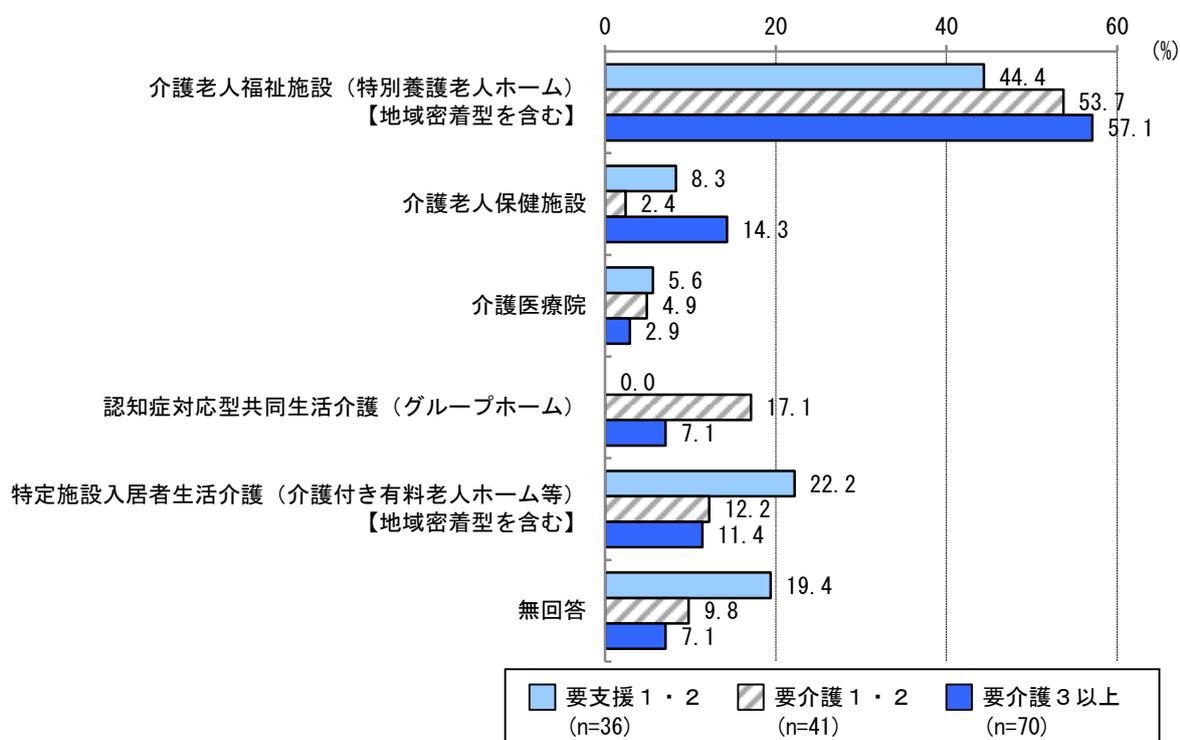


※前回調査の「介護療養型医療施設」は、今回調査では設けていない。

【介護保険サービス利用者調査】

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、要介護度別では、要介護度にかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合が最も高く、特に、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の入所基準となる要介護3以上が57.1%で最も高くなっている。（問17-2-a）

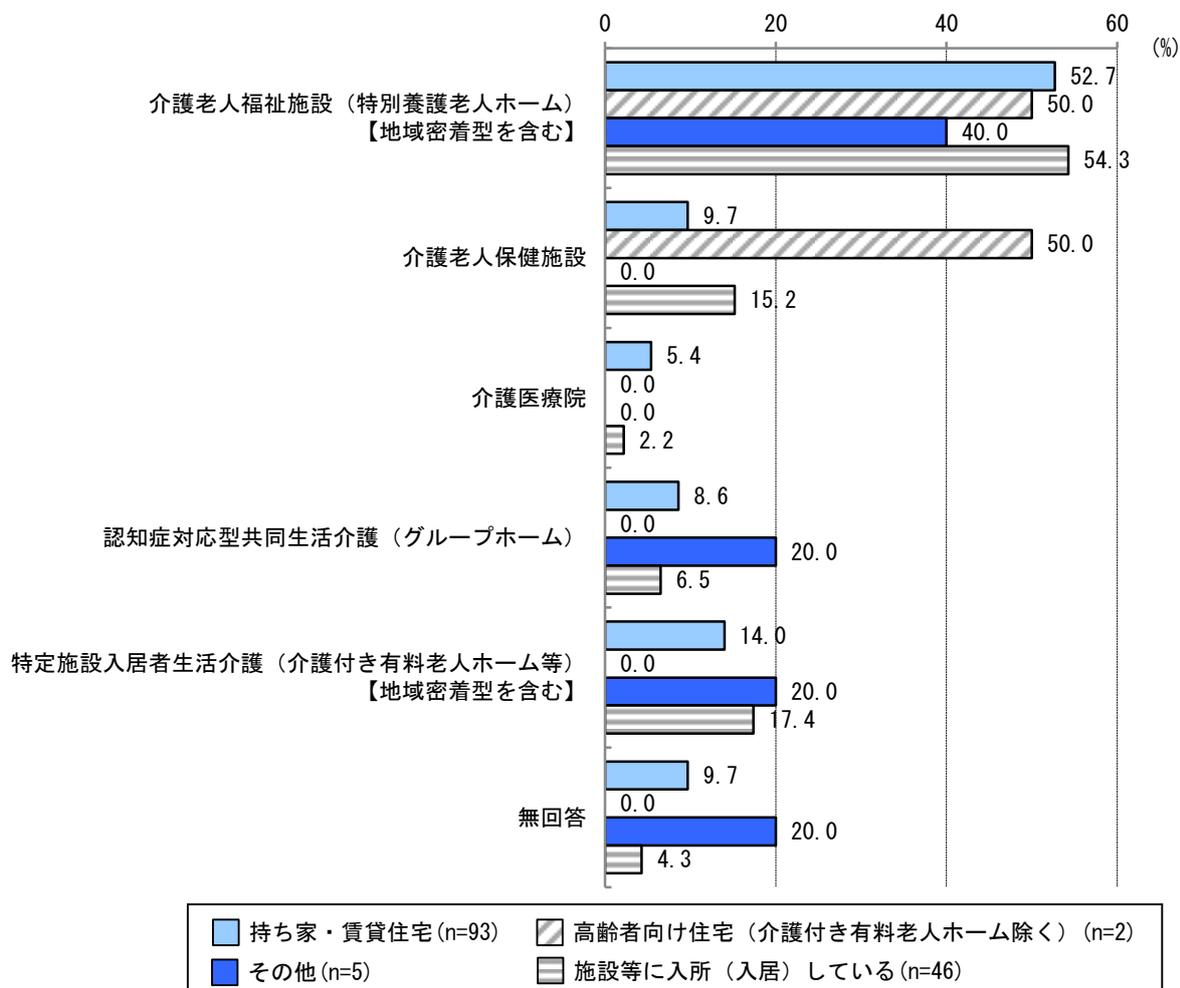
【問17-2-a 現在利用していない施設サービスの利用意向（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

n数が少ないので数字の読み取りには注意が必要であるが、現在の住まい別では、住まいにかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）【地域密着型を含む】」の割合が最も高くなっており、その割合は、持ち家・賃貸住宅が52.7%、施設等に入所（入居）している人が54.3%となっている。（問17-2-b）

【問17-2-b 現在利用していない施設サービスの利用意向（現在の住まい別）】



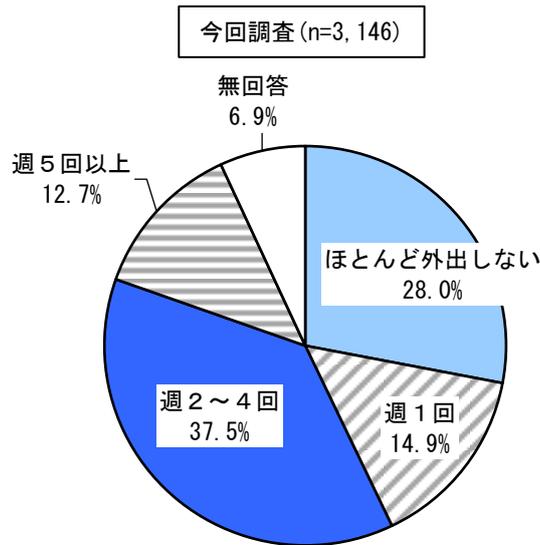
(5) 外出の状況

問18 外出頻度

週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

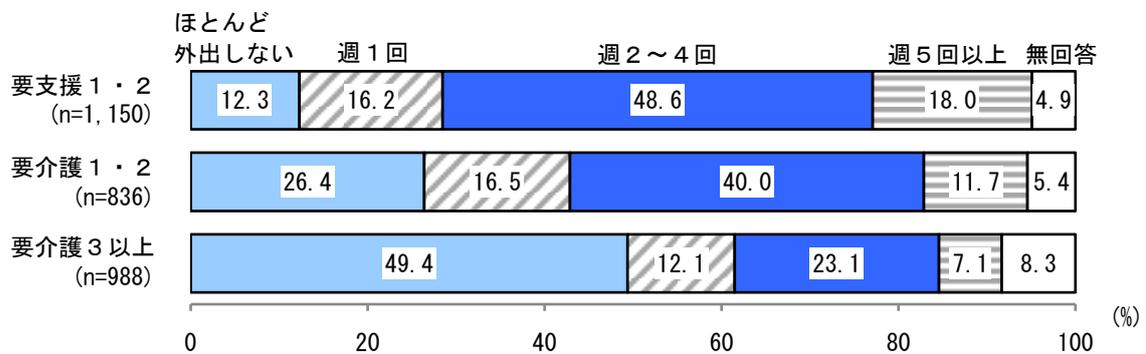
外出頻度は、「週2～4回」の割合が37.5%で最も高く、次いで「ほとんど外出しない」が28.0%、「週1回」が14.9%となっている。(問18)

【問18 外出頻度】



要介護度別では、「ほとんど外出しない」の割合は重度になるほど高くなり、要介護3以上では49.4%となっている。「週2～4回」「週5回以上」の割合は、いずれも要支援1・2が最も高くなっている。(問18-a)

【問18-a 外出頻度 (要介護度別)】

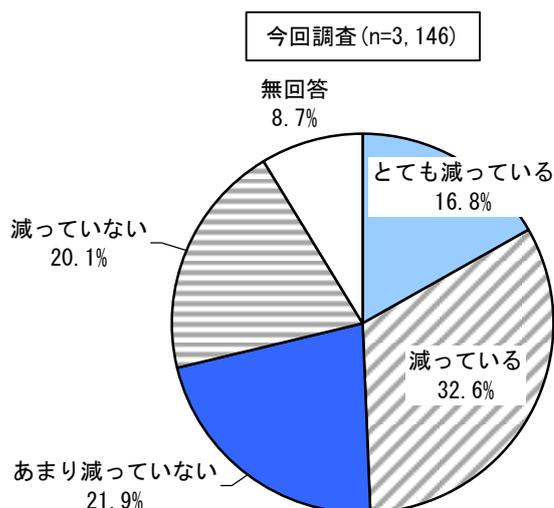


問19 昨年と比べた外出の回数

昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○はひとつ)

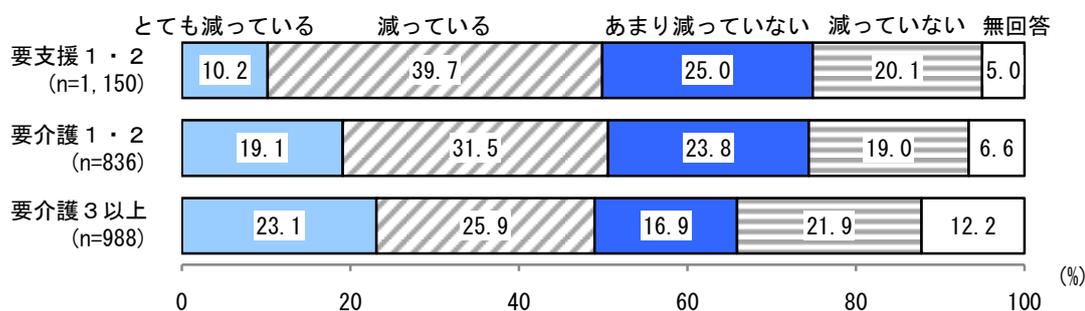
昨年と比べた外出の回数は、「減っている」の割合が32.6%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が21.9%となっている。「とても減っている」と「減っている」をあわせた『減っている』割合は49.4%となっている。(問19)

【問19 昨年と比べた外出の回数】



要介護度別では、「とても減っている」の割合は重度になるほど高く、『減っている』割合は要介護1・2が50.6%で最も高くなっている。(問19-a)

【問19-a 昨年と比べた外出の回数 (要介護度別)】

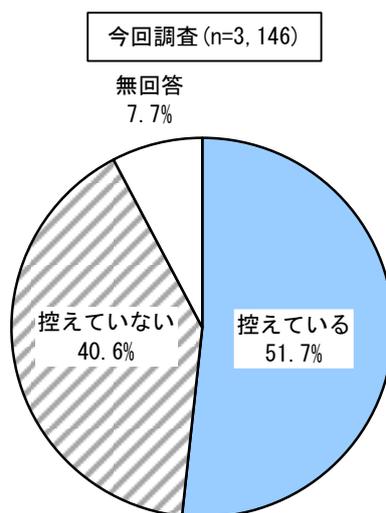


問20 外出を控えること

外出を控えていますか。(○はひとつ)

外出を「控えている」割合が51.7%に対し、「控えていない」は40.6%となっている。(問20)

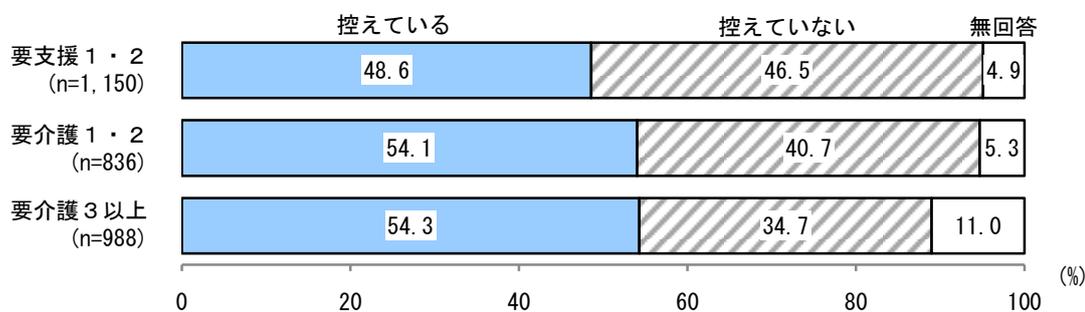
【問20 外出を控えること】



※「はい」→「控えている」、「いいえ」→「控えていない」

要介護度別では、要介護1以上で「控えている」の割合が5割を超えている。(問20-a)

【問20-a 外出を控えること (要介護度別)】

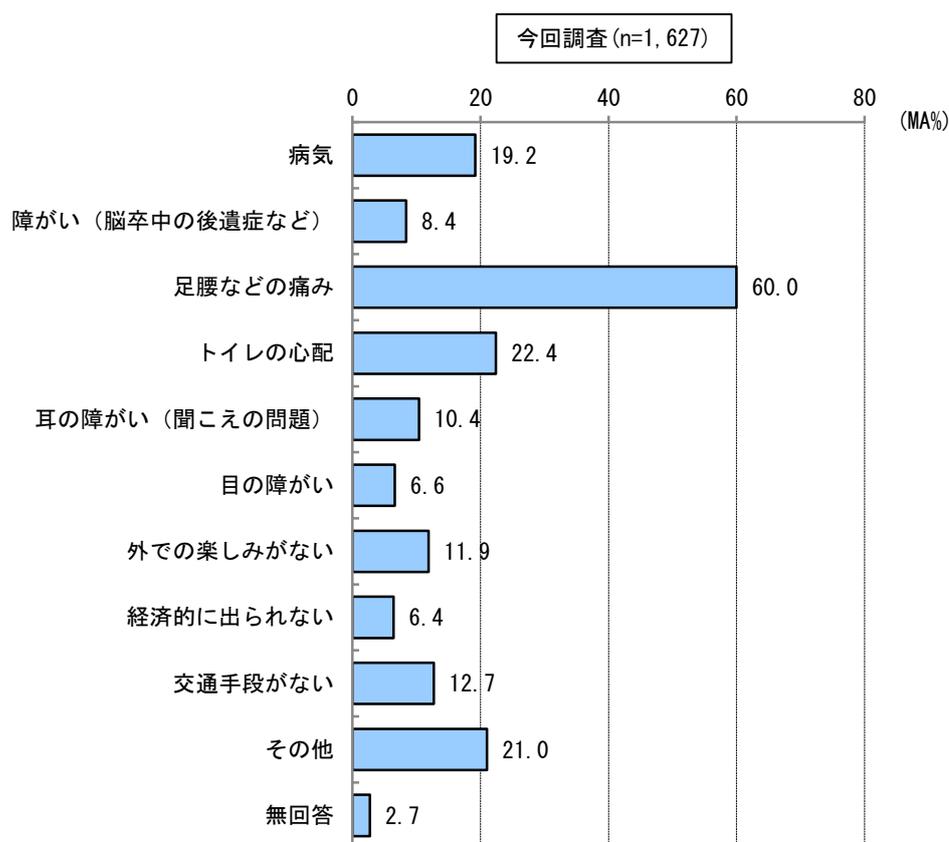


問20-1 外出を控えている理由

問20で「1 はい」(外出を控えている)と回答された方におうかがいします。
外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えていると回答した人に、その理由をたずねると、「足腰などの痛み」の割合が60.0%で最も高く、次いで「トイレの心配」が22.4%、「病気」が19.2%となっている。(問20-1)

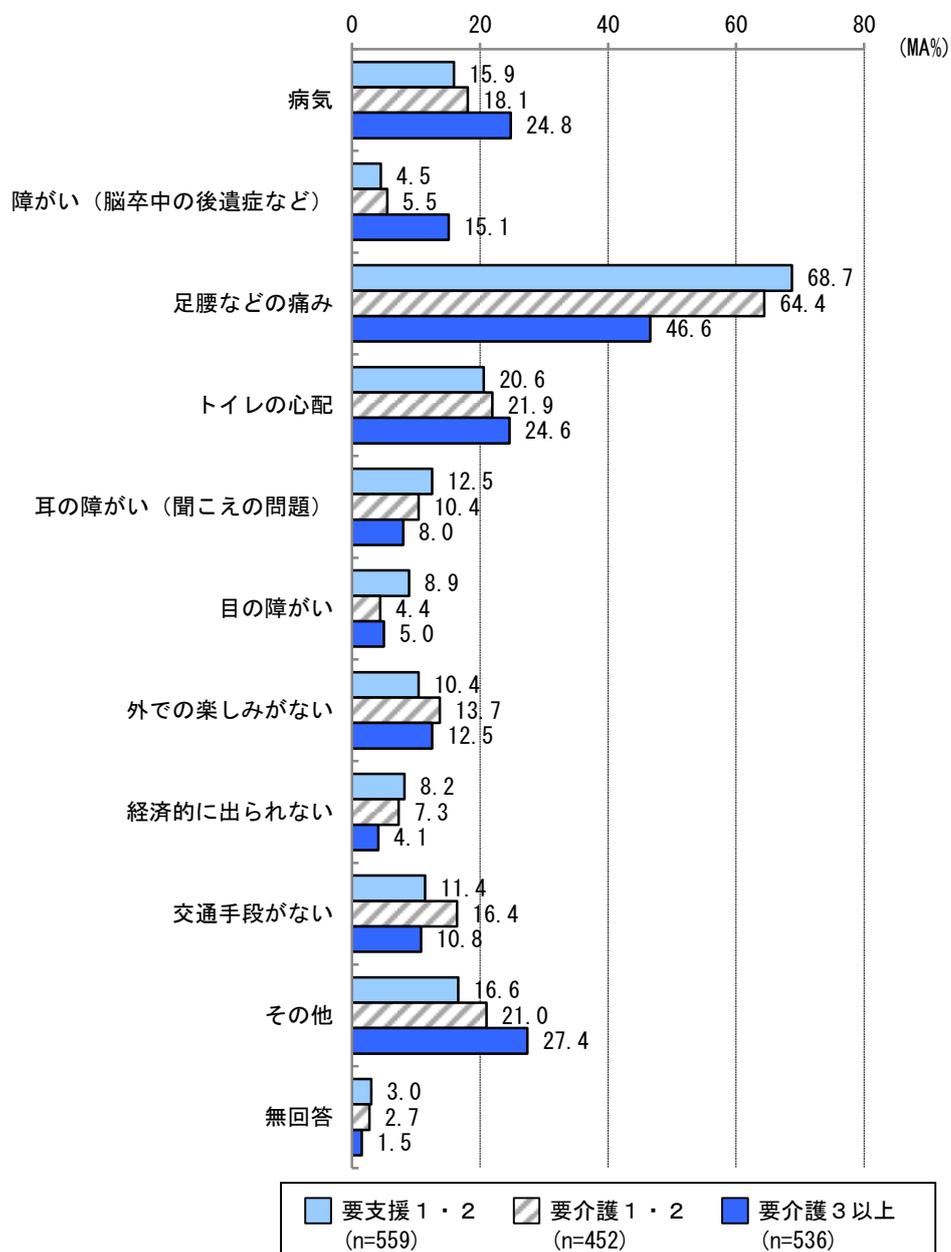
【問20-1 外出を控えている理由】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「足腰などの痛み」の割合が最も高く、「病気」「障がい（脳卒中の後遺症など）」「トイレの心配」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。（問20-1-a）

【問20-1-a 外出を控えている理由（要介護度別）】



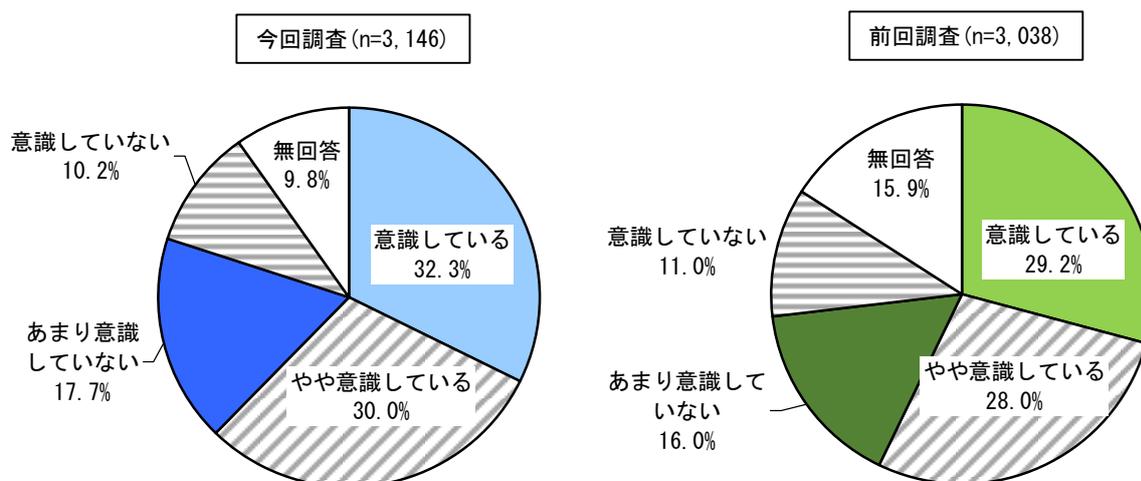
(6) 介護予防・重度化防止の取組

問21 介護予防に対する意識の程度

あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(○はひとつ)

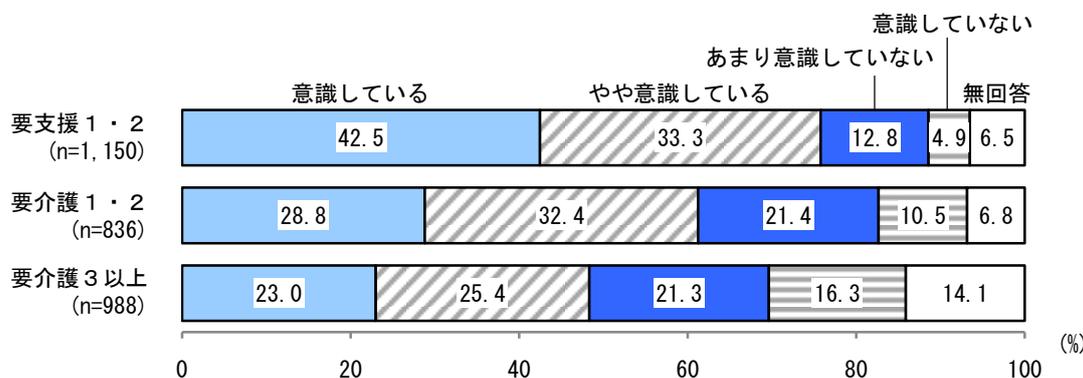
介護予防について、「意識している」の割合が32.3%で最も高く、次いで「やや意識している」が30.0%となっており、両者を合わせた『意識している』割合は62.3%となっている。前回調査の結果に比べ、介護予防を『意識している』割合は5.1ポイント増加している。(問21)

【問21 介護予防に対する意識の程度 (経年比較)】



要介護度別では、介護予防について『意識している』割合は要支援1・2が75.8%で最も高くなっている。これに対し、介護予防について『意識していない』(「意識していない」と「あまり意識していない」の合計)割合は、要介護度が重度になるほど高くなっている。(問21-a)

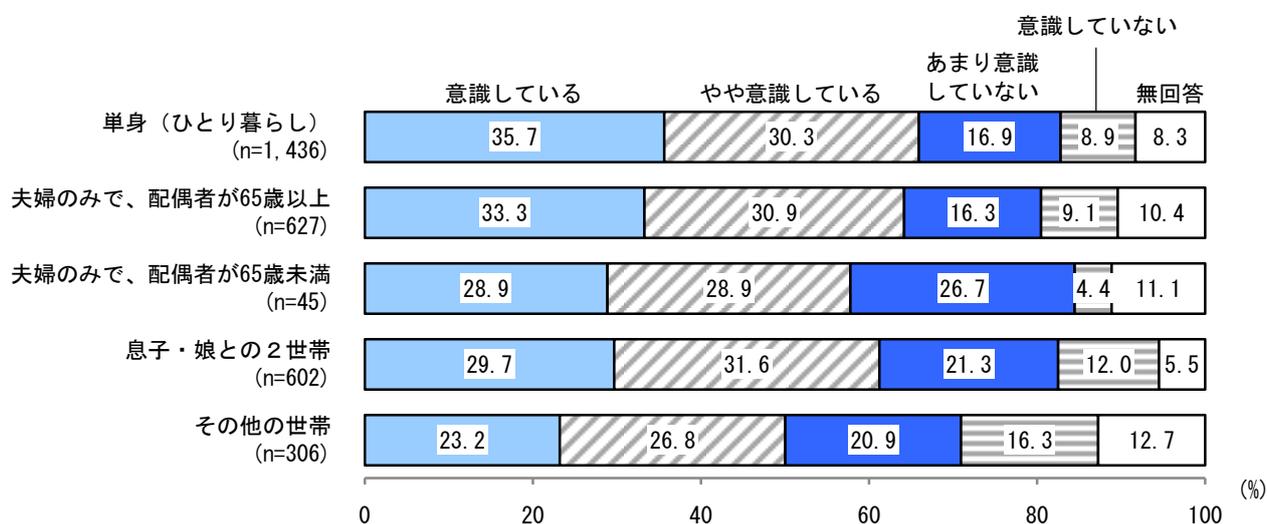
【問21-a 介護予防に対する意識の程度 (要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、世帯状況にかかわらず介護予防について『意識している』割合は5割以上となっている。特に『意識している』割合は、単身（ひとり暮らし）の世帯が最も高く、次いで夫婦のみで配偶者が65歳以上の世帯となっている。（問21-b）

【問21-b 介護予防に対する意識の程度（世帯状況別）】



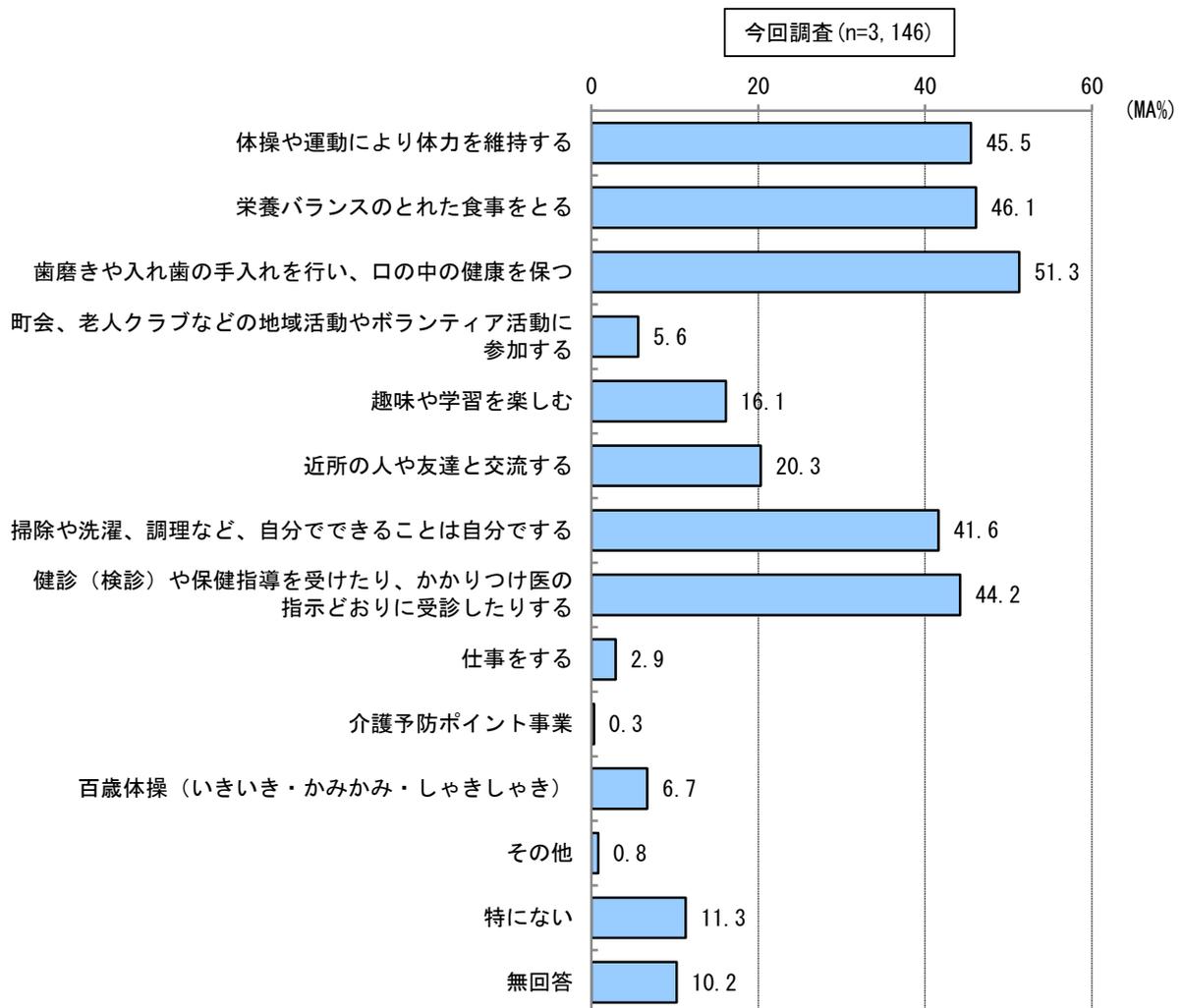
問22 介護予防の取組状況

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、今後取り組んでみたいことに○をつけてください。(○はいくつでも)

① 取り組んでいること

介護予防として取り組んでいることは、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」の割合が51.3%で最も高く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が46.1%、「体操や運動により体力を維持する」が45.5%となっている。(問22①)

【問22① 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること】

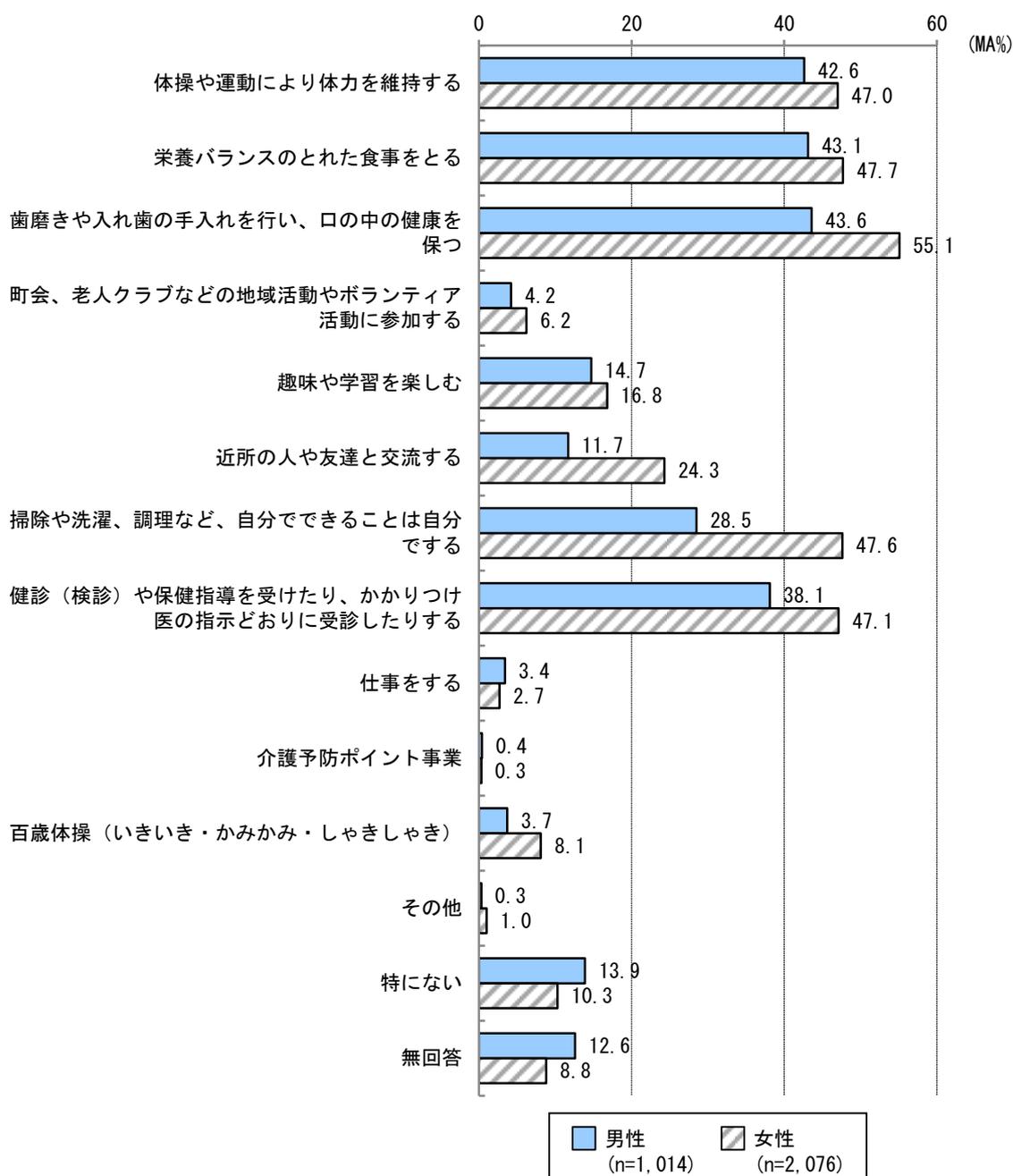


【介護保険サービス利用者調査】

本人の性別では、男女とも「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」の割合が最も高く、男性（43.6%）より女性（55.1%）の方が11.5ポイント高くなっている。

また、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」や「近所の人や友達と交流する」の割合は、男性より女性の方が10ポイント以上高くなっている。（問22①-a）

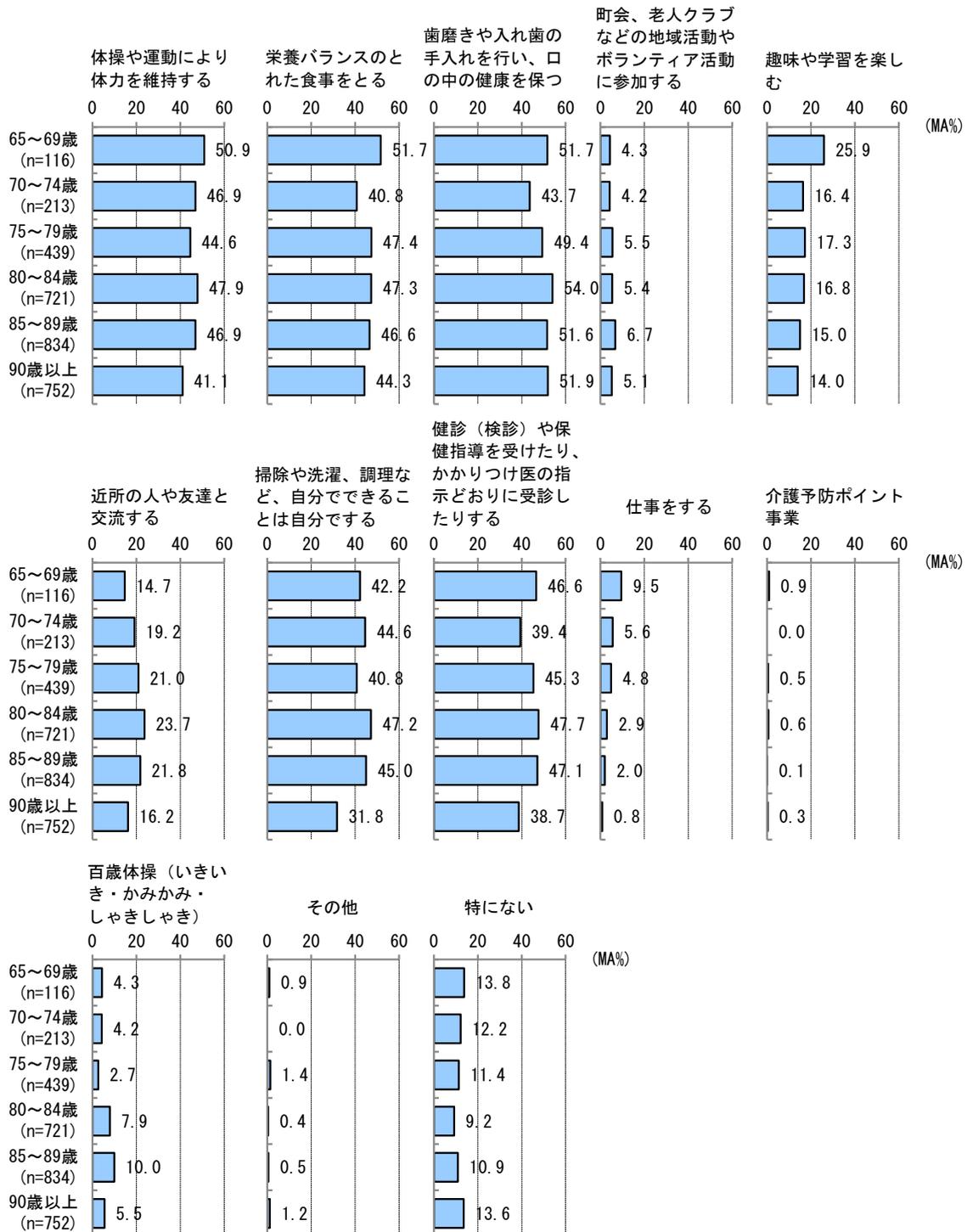
【問22①-a 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（本人の性別）】



【介護保険サービス利用者調査】

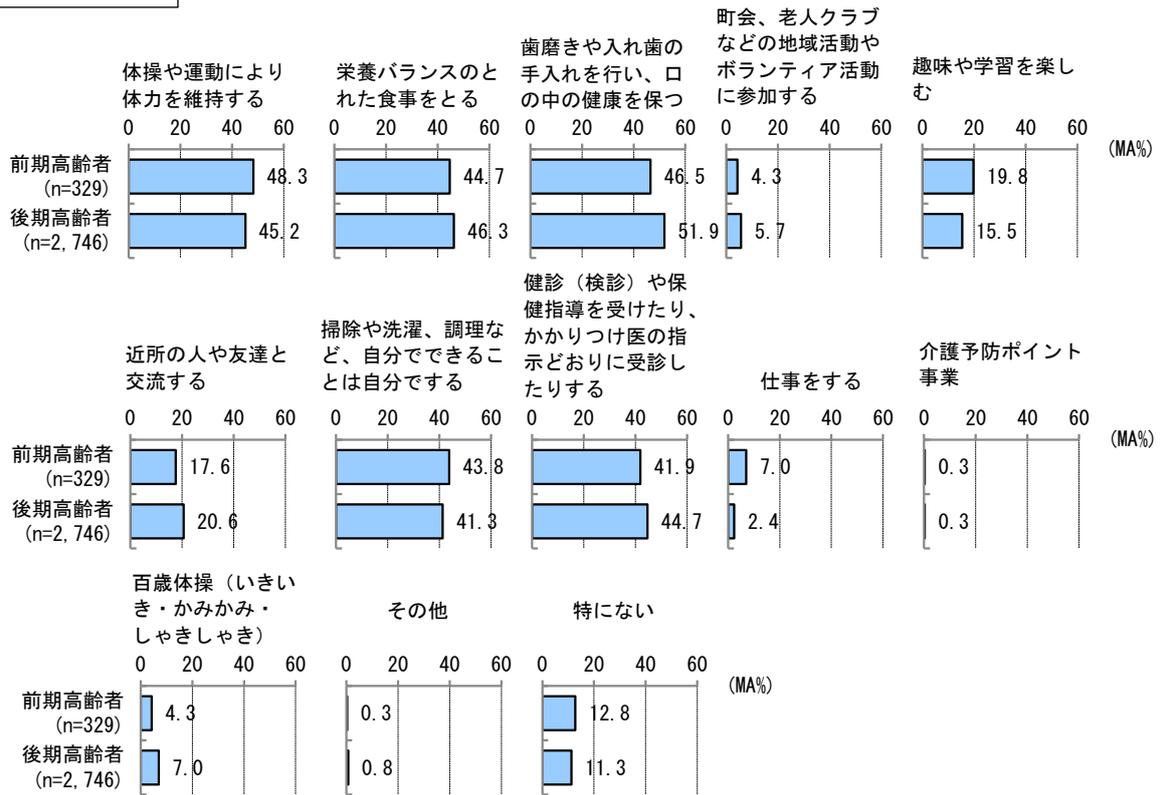
本人の年齢別では、65～69歳は「栄養バランスのとれた食事をとる」と「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が同率で最も高く、70～74歳は「体操や運動により体力を維持する」が最も高くなっている。これら以外の年代は「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」の割合が最も高くなっている。(問22①-b)

【問22①-b 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること(本人の年齢別)】



【介護保険サービス利用者調査】

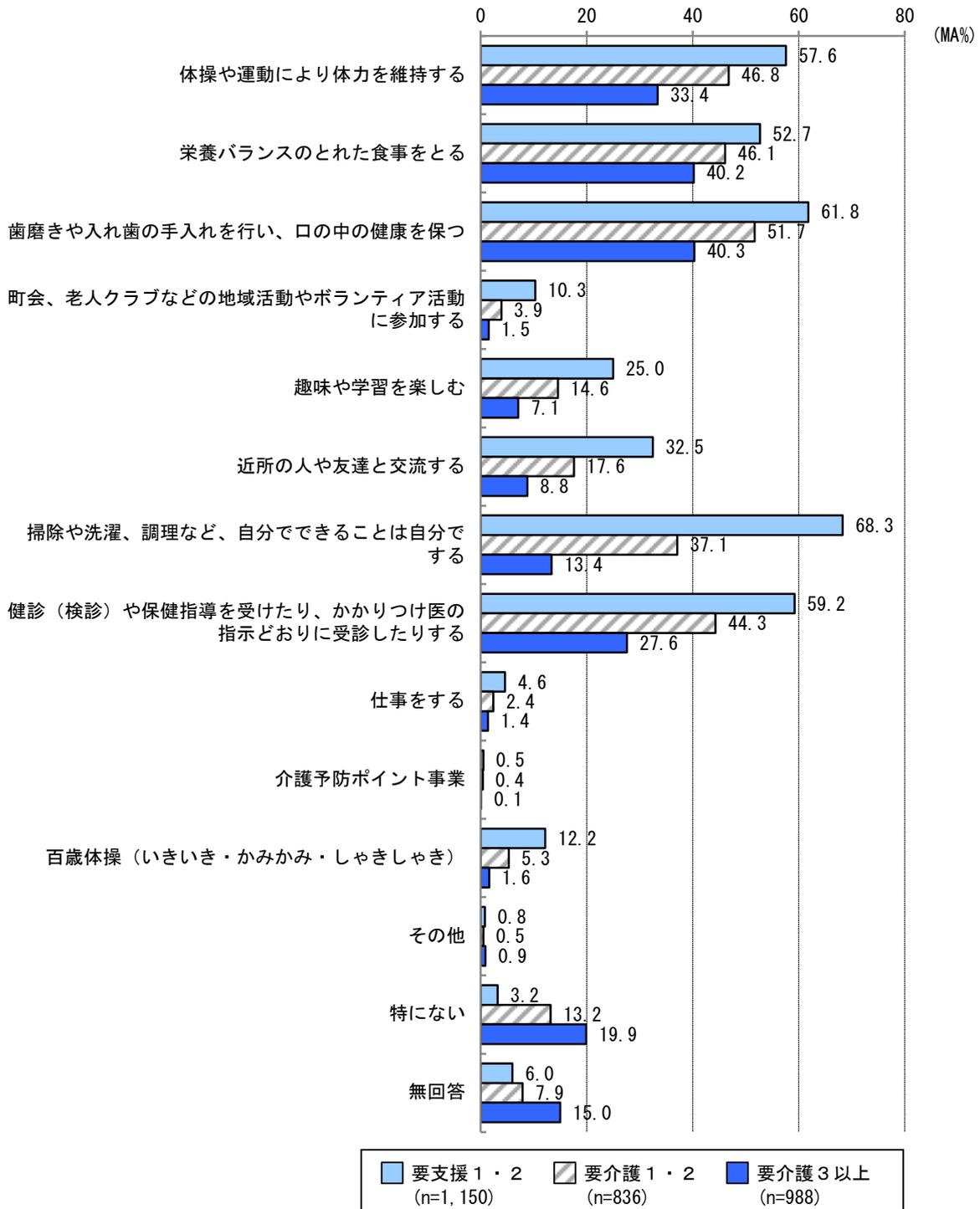
* 前期・後期別



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「特にない」を除く各項目の割合は重度になるほど低くなっている。(問22①-c)

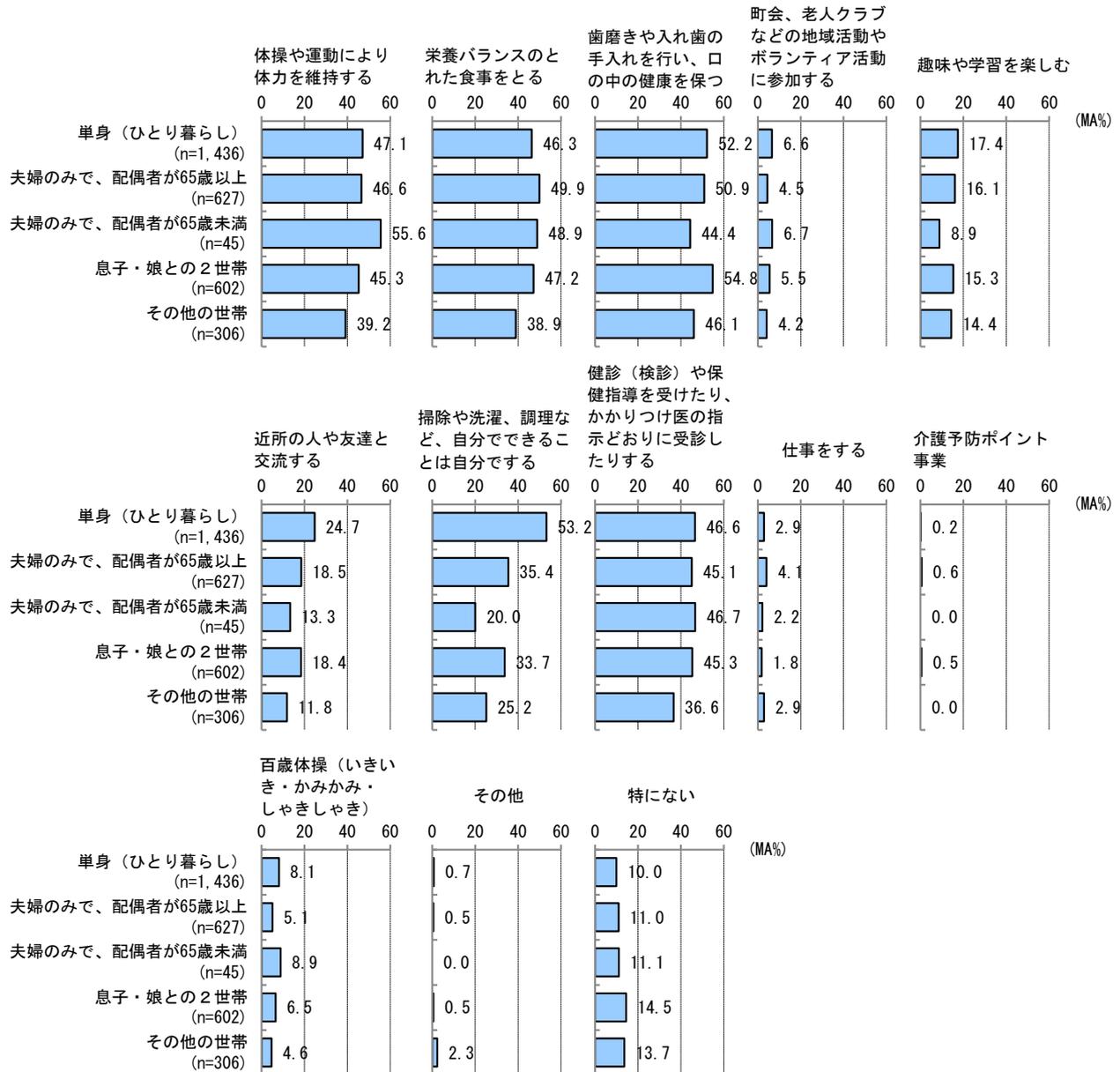
【問22①-c 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、単身（ひとり暮らし）の世帯は「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合が最も高く、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯は「体操や運動により体力を維持する」が、それ以外の世帯では「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」がそれぞれ最も高くなっている。（問22①-d）

【問22①-d 介護予防の取組状況 ①取り組んでいること（世帯状況別）】

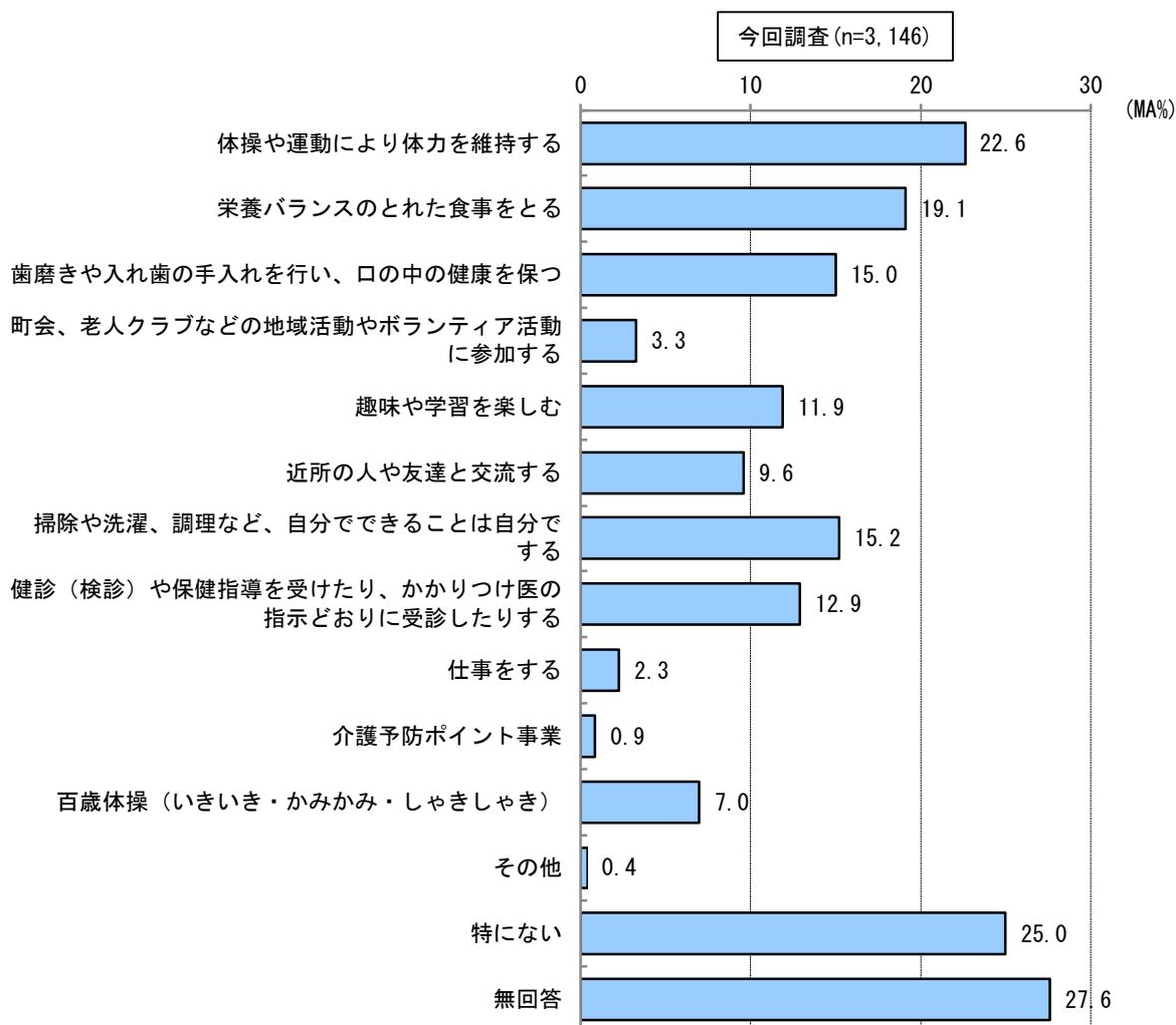


【介護保険サービス利用者調査】

② 取り組んでみたいこと

介護予防として取り組んでみたいことは、「体操や運動により体力を維持する」の割合が22.6%で最も高く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が19.1%、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」が15.2%となっている。(問22②)

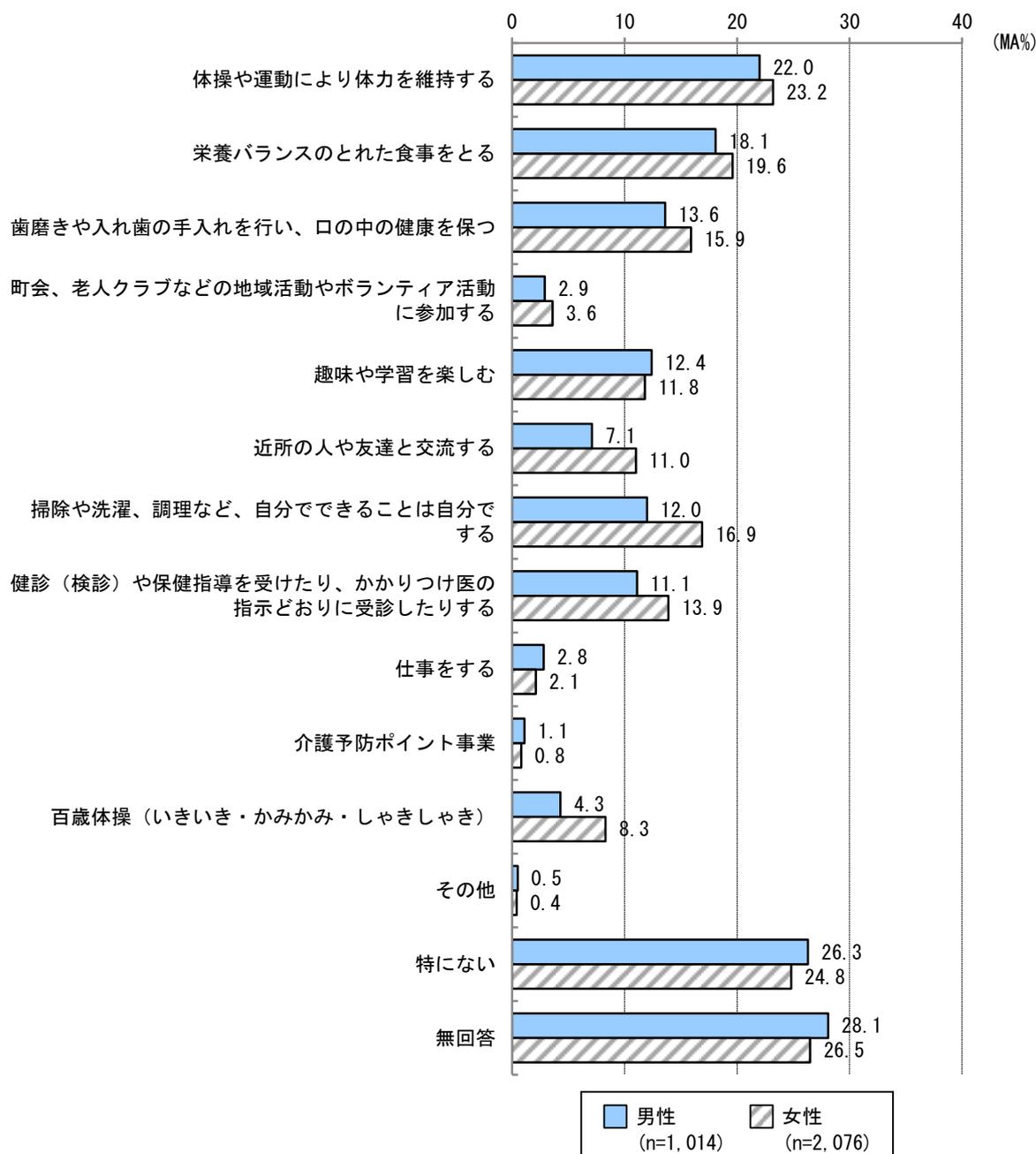
【問22② 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと】



【介護保険サービス利用者調査】

本人の性別では、男女とも「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。また、「趣味や学習を楽しむ」「仕事をする」「介護予防ポイント事業」を除く取組の割合は、男性より女性の方が高くなっている。（問22②-a）

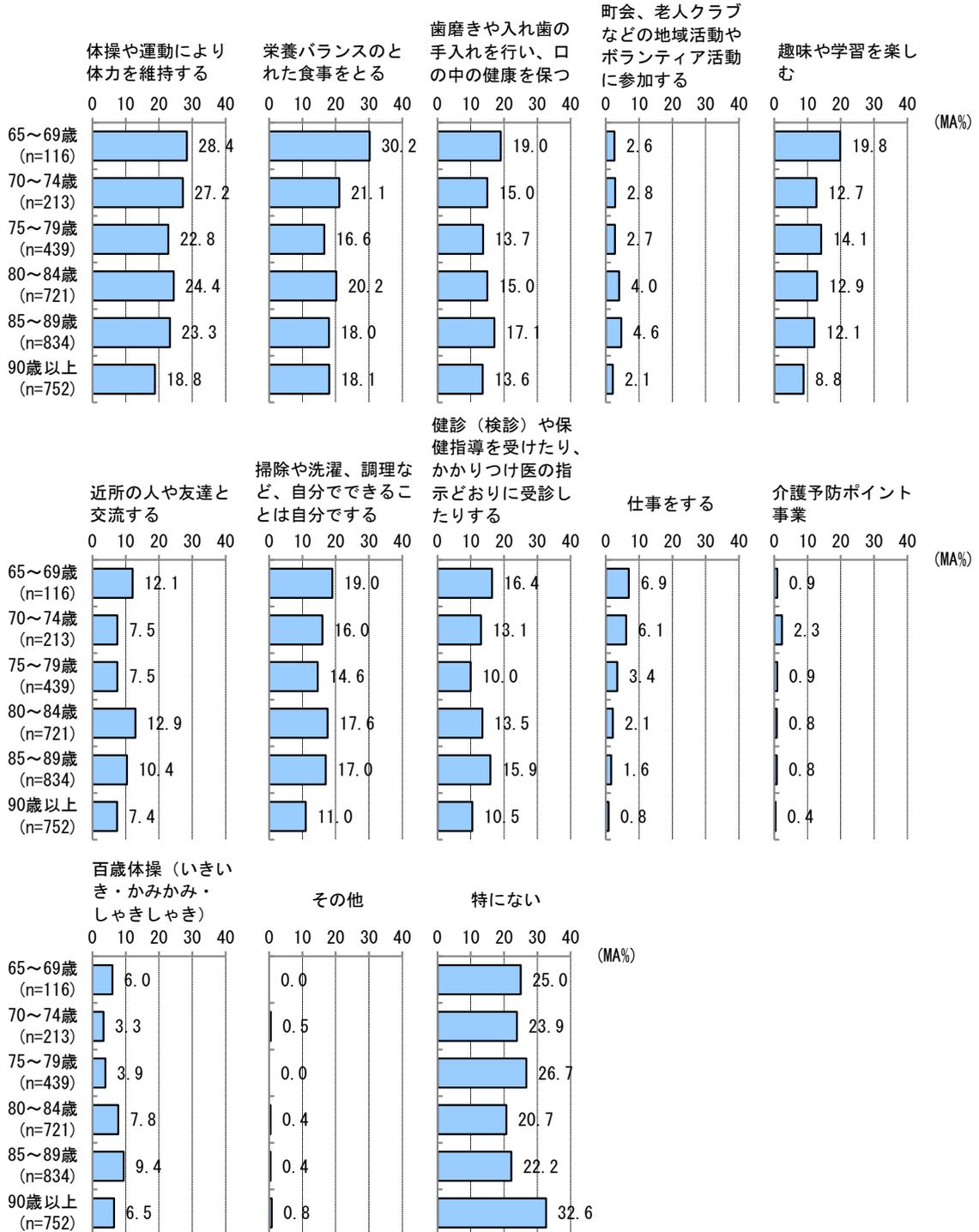
【問22②-a 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと（本人の性別）】



【介護保険サービス利用者調査】

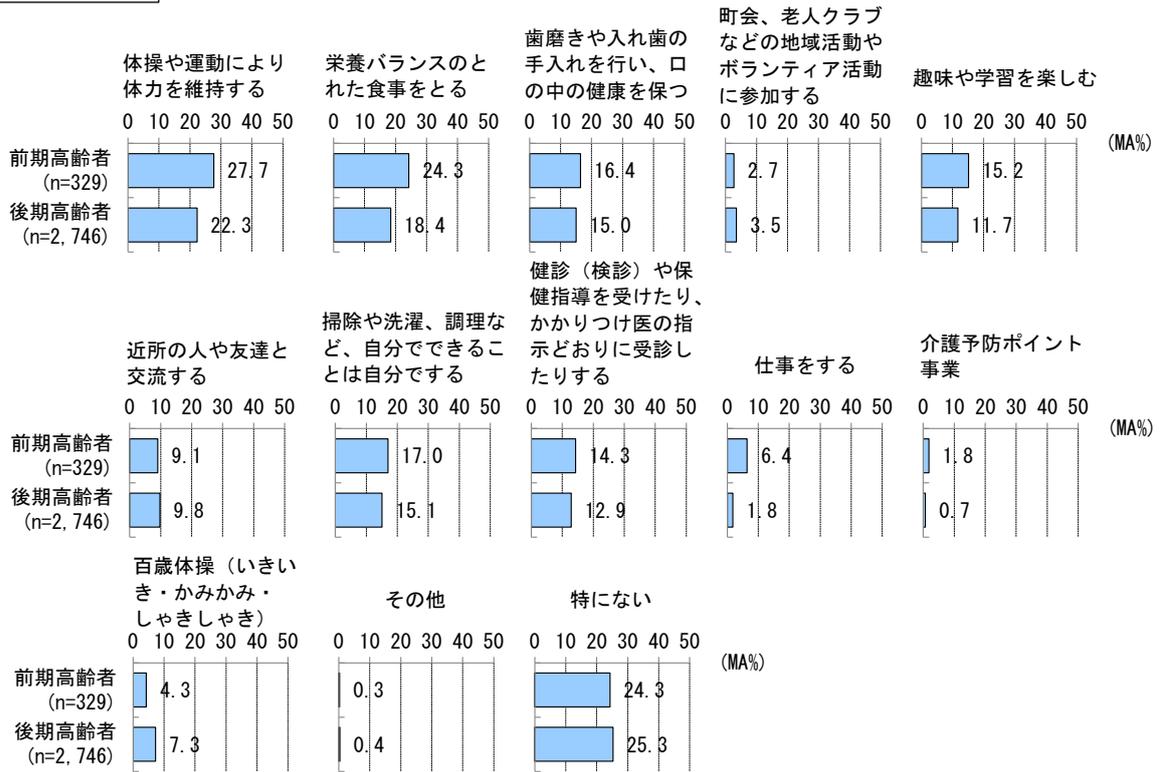
本人の年齢別では、65～69歳は「栄養バランスのとれた食事をとる」の割合が最も高く、70歳以上の年代では「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。(問22②-b)

【問22②-b 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと（本人の年齢別）】



【介護保険サービス利用者調査】

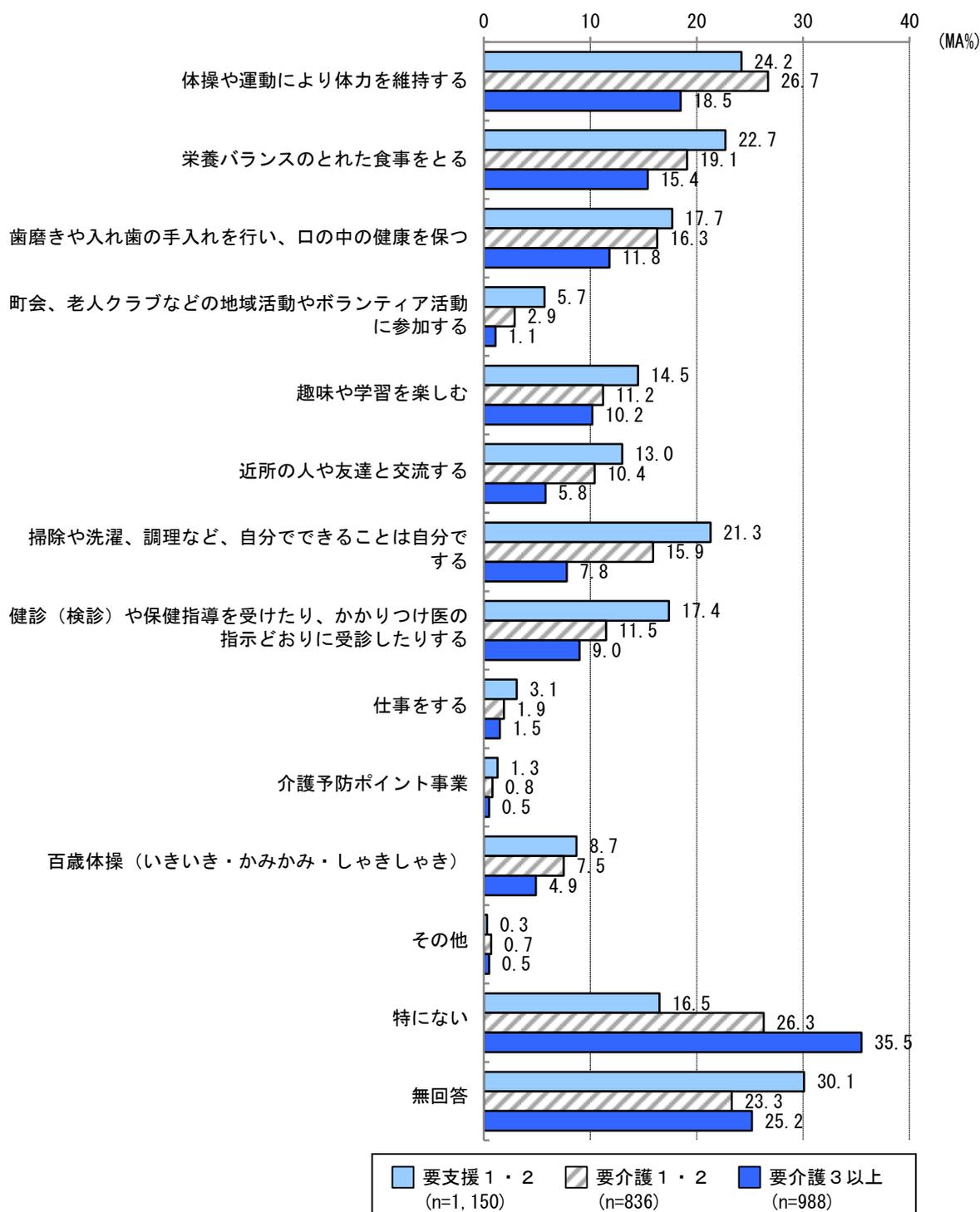
* 前期・後期別



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。「特にない」の割合は重度になるほど増加し、要介護3以上では35.5%となっている。(問22②-c)

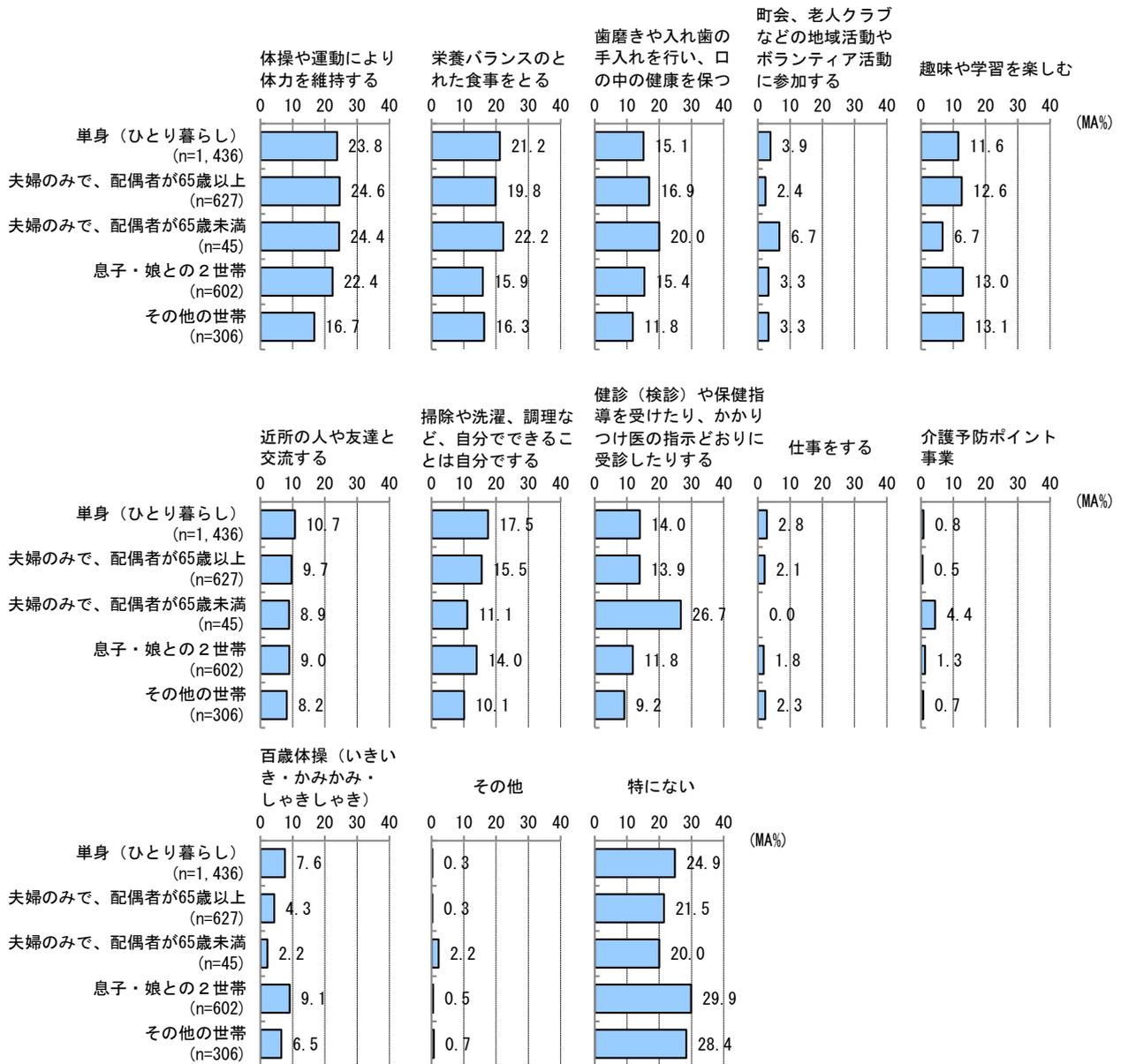
【問22②-c 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと (要介護度別)】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯は「健診（検診）や保健指導を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診したりする」の割合が最も高い。それ以外の世帯では「体操や運動により体力を維持する」の割合が最も高くなっている。（問22②-d）

【問22②-d 介護予防の取組状況 ②取り組んでみたいこと（世帯状況別）】



問22-1 介護予防の取組に意向がない理由

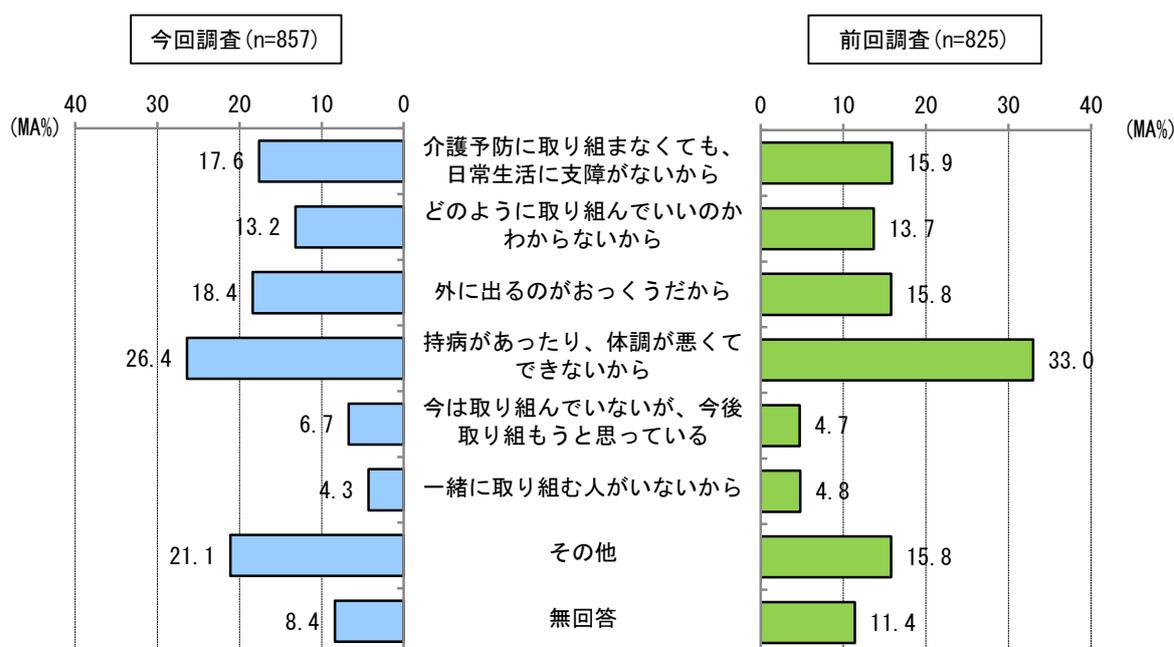
問22の①または②で「13 特にない」と回答された方におうかがいします。

あなたが、介護予防について、取り組んでいない、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護予防に取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合が26.4%で最も高く、次いで「外に出るのがおっくうだから」が18.4%、「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」が17.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合は6.6ポイント減少している。(問22-1)

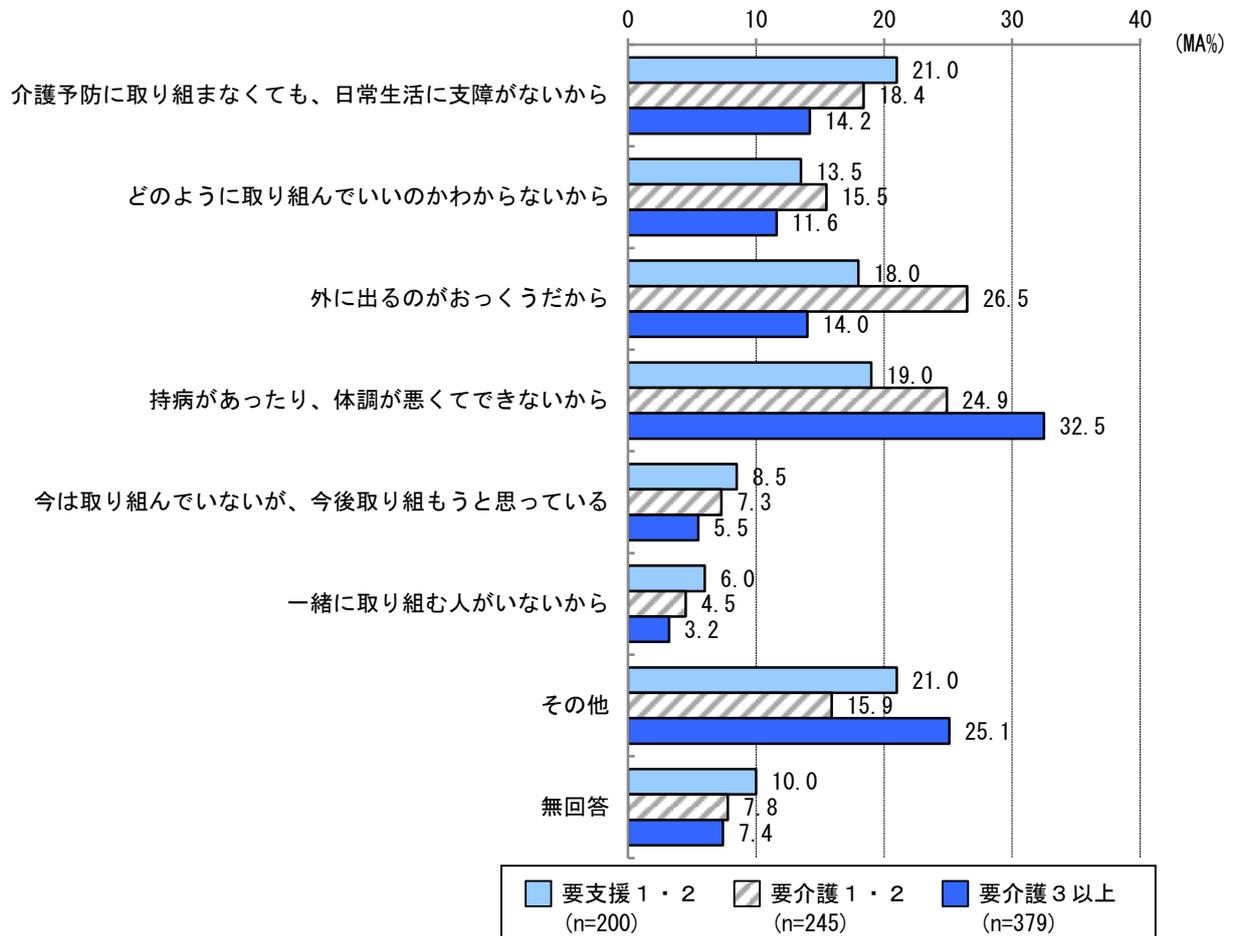
【問22-1 介護予防の取組に意向がない理由（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要支援1・2は「介護予防に取り組まなくても、日常生活に支障がないから」の割合が最も高い。要介護1・2は「外に出るのがおっくうだから」、要介護3以上は「持病があったり、体調が悪くてできないから」が最も高くなっている。(問22-1-a)

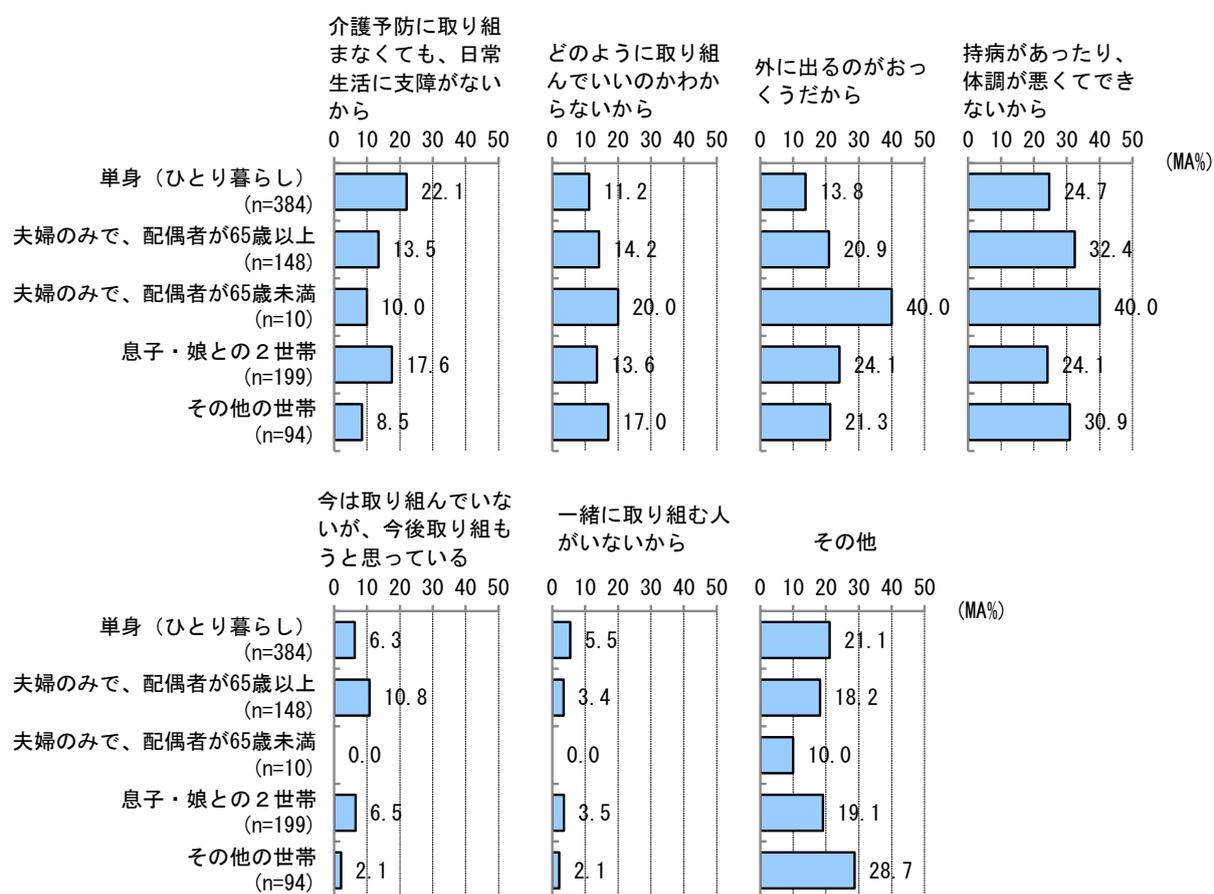
【問22-1-a 介護予防の取組に意向がない理由（要介護度別）】



【介護保険サービス利用者調査】

世帯状況別では、世帯状況にかかわらず「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合が最も高く、夫婦のみで配偶者が65歳未満の世帯と息子・娘との2世帯の世帯では「外に出るのがおっくうだから」も同率で高くなっている。(問22-1-b)

【問22-1-b 介護予防の取組に意向がない理由（世帯状況別）】



(7) 健康状態

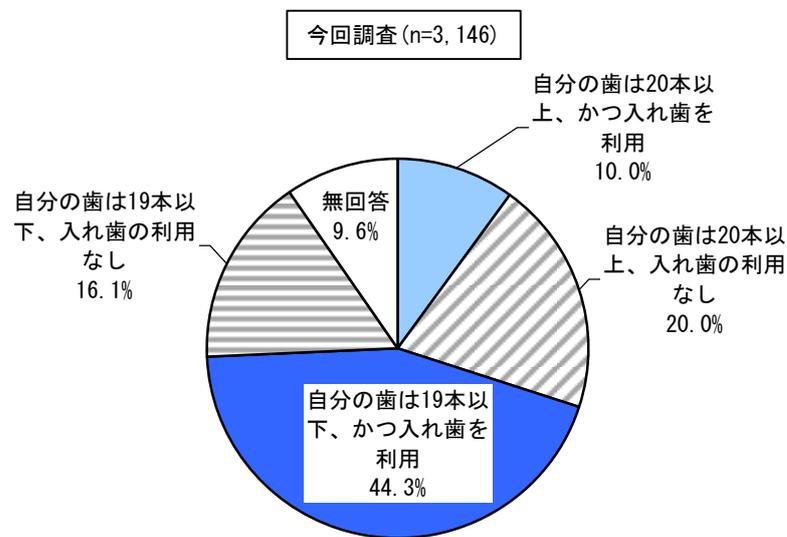
問23 歯の数と入れ歯の利用状況

歯の数と入れ歯の利用状況をお答えください。
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○はひとつ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が44.3%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が20.0%となっている。

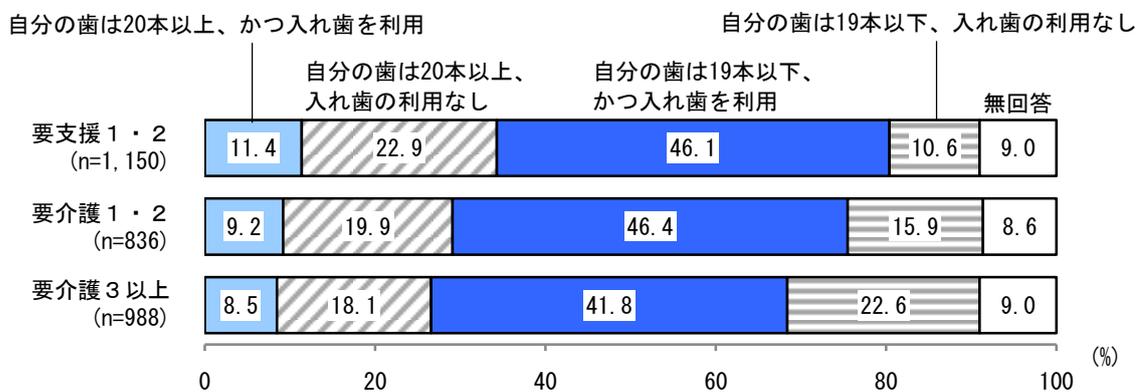
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(10.0%)をあわせた『入れ歯を利用』の割合は54.3%となっている。(問23)

【問23 歯の数と入れ歯の利用状況】



要介護度別では、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合は、いずれも要支援1・2の割合が最も高くなっている。(問23-a)

【問23-a 歯の数と入れ歯の利用状況 (要介護度別)】



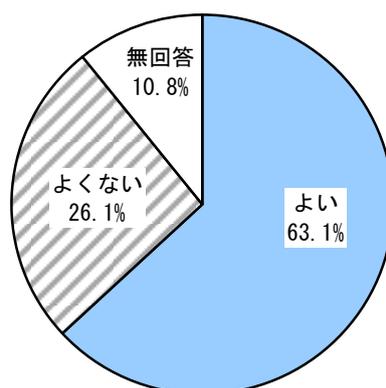
問23-1 かみ合わせ

かみ合わせはよいですか。(○はひとつ)

かみ合わせについて、「よい」が63.1%に対し、「よくない」は26.1%となっている。(問23-1)

【問23-1 かみ合わせ】

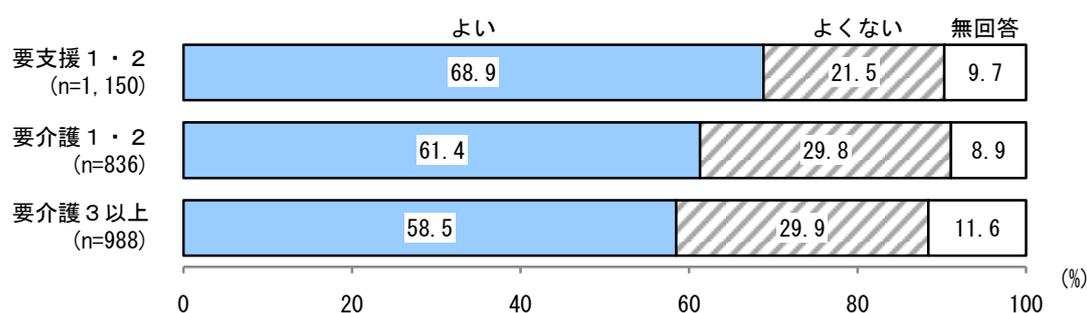
今回調査 (n=3, 146)



※「はい」→「よい」、「いいえ」→「よくない」に変更

要介護度別では、かみ合わせが「よい」の割合は、要介護度が重度になるほど減少し、要介護3以上では58.5%と最も低くなっている。(問23-1-a)

【問23-1-a かみ合わせ (要介護度別)】

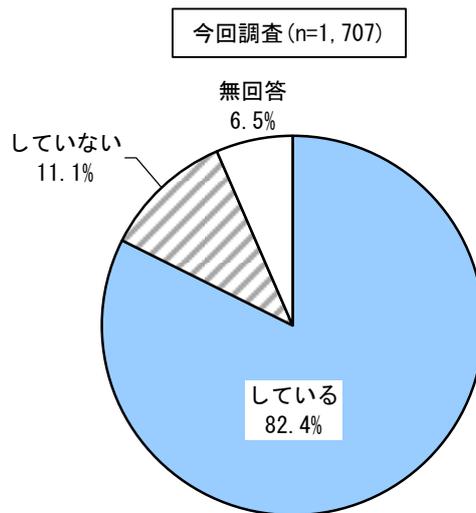


問23-2 入れ歯の手入れ

問23で「1 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答された方におうかがいします。
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○はひとつ)

入れ歯を利用していると回答した人に、入れ歯の手入れの有無をたずねると、「している」が82.4%に対し、「していない」が11.1%となっている。(問23-2)

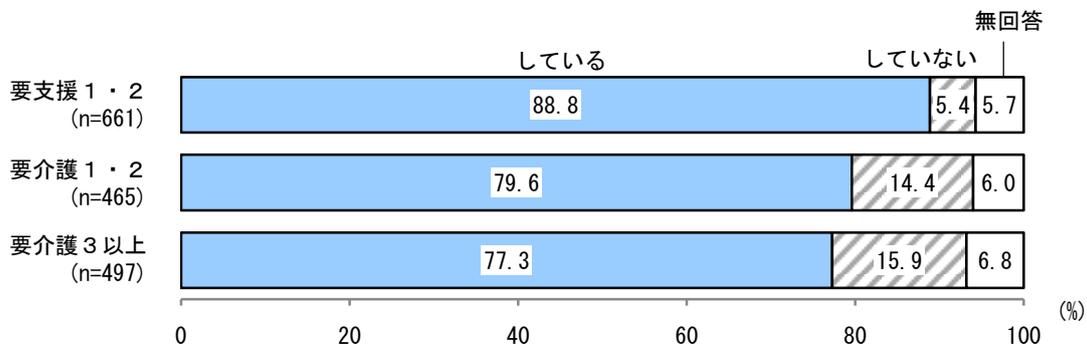
【問23-2 入れ歯の手入れ】



※ 「はい」 → 「している」、「いいえ」 → 「していない」に変更

要介護度別では、入れ歯の手入れを「している」の割合は、要支援1・2が88.8%で最も高く、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問23-2-a)

【問23-2-a 入れ歯の手入れ (要介護度別)】

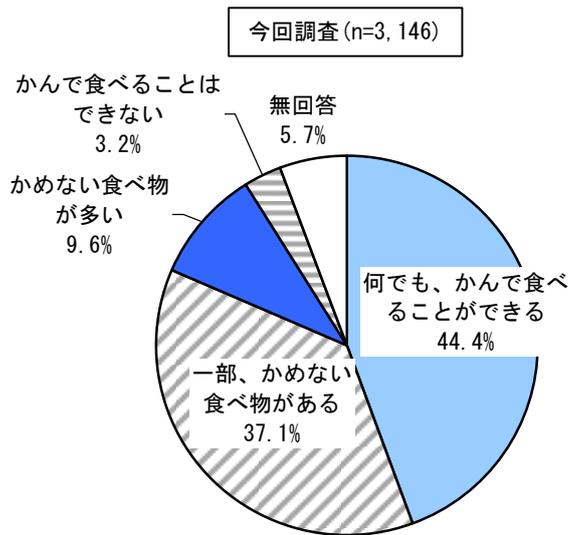


問24 かねで食べることの可否

あなたがかんで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

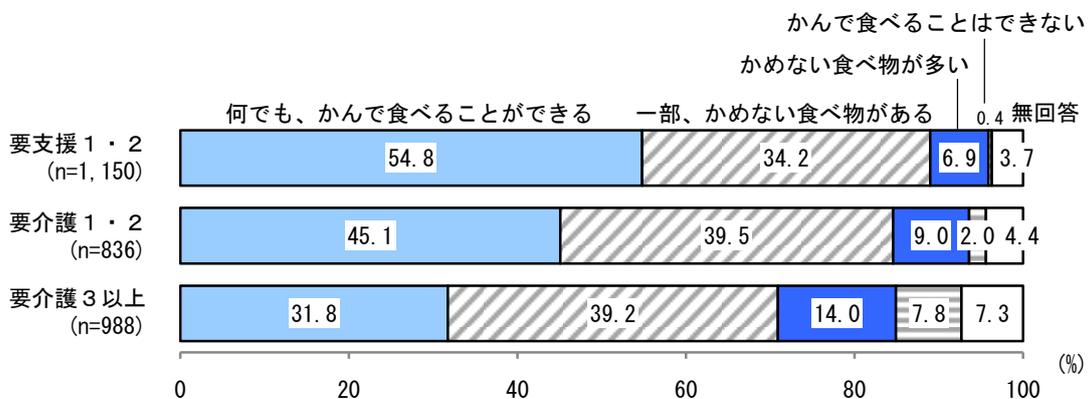
かねで食べる時の状態は、「何でも、かねで食べることができる」が44.4%、「一部、かめない食べ物がある」が37.1%、「かめない食べ物が多い」が9.6%となっている。(問24)

【問24 かねで食べることの可否】



要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2は「何でも、かねで食べることができる」の割合が最も高く、要介護3以上では「一部、かめない食べ物がある」の割合が最も高くなっている。(問24-a)

【問24-a かねで食べることの可否 (要介護度別)】

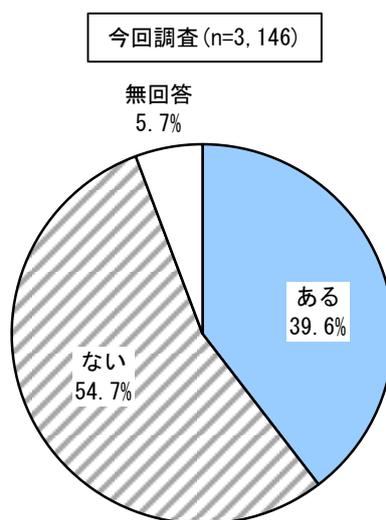


問25 お茶や汁物等でむせること

お茶や汁物等でむせることはありますか。(○はひとつ)

お茶や汁物等でむせることが「ある」は39.6%に対し、「ない」は54.7%となっている。
(問25)

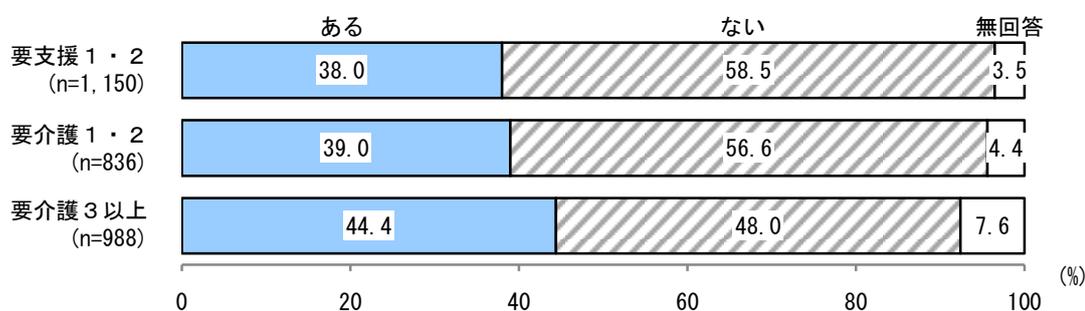
【問25 お茶や汁物でむせること】



※「はい」→「ある」、「いいえ」→「ない」に変更

要介護度別では、要介護度にかかわらず「ない」の割合が高く、「ある」の割合は要介護3以上で高くなっている。(問25-a)

【問25-a お茶や汁物でむせること (要介護度別)】

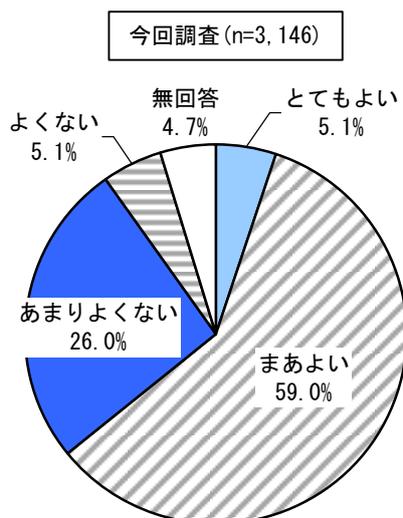


問26 健康状態

現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

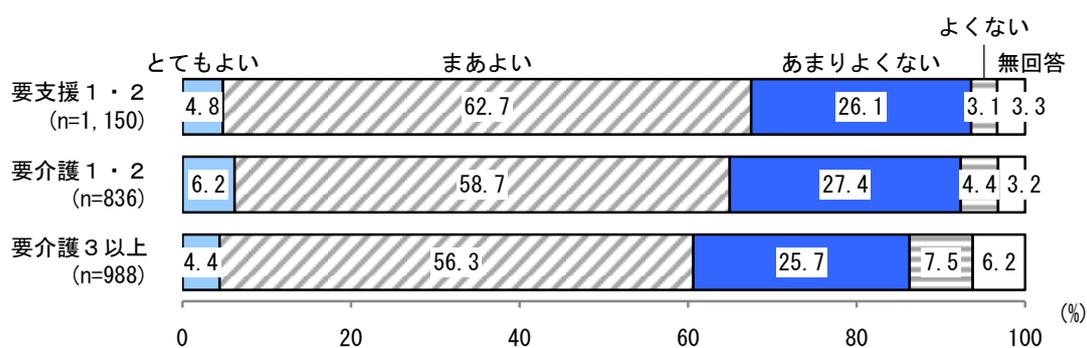
現在の健康状態は、「まあよい」の割合が59.0%で最も高く、次いで「あまりよくない」が26.0%となっている。「とてもよい」(5.1%)と「まあよい」をあわせた『よい』の割合は64.1%となっている。(問26)

【問26 健康状態】



要介護度別では、『よい』の割合は、要支援1・2が67.5%で最も高く、要介護度が重度になるほどその割合が低くなっている(問26-a)

【問26-a 健康状態(要介護度別)】



(8) かかりつけ医・かかりつけ歯科医師・かかりつけ薬剤師

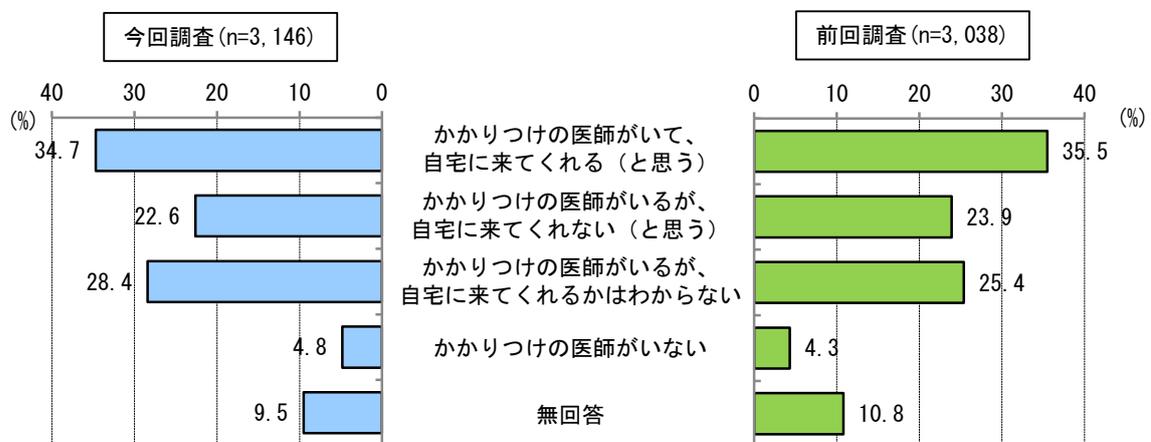
問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無

かかりつけの医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの医師の訪問診療について、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」の割合が34.7%で最も高く、次いで「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」が28.4%、「かかりつけの医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が22.6%となっている。

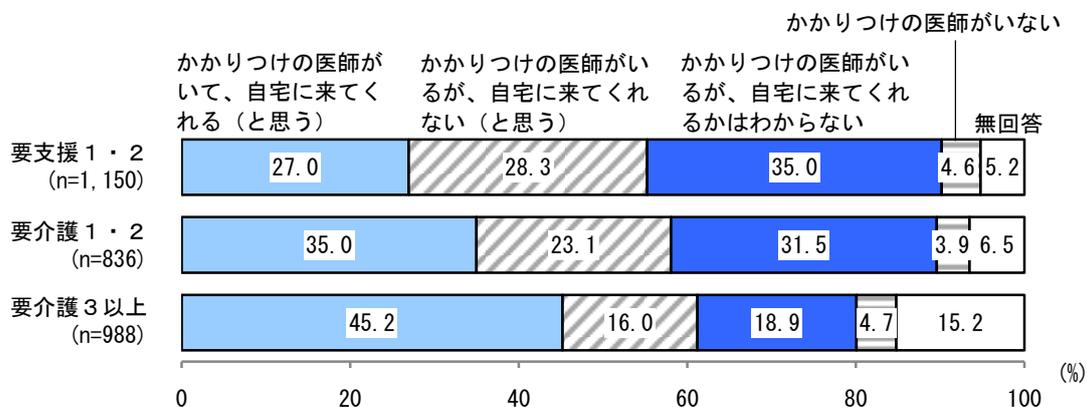
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問27)

【問27 かかりつけの医師の訪問診療の有無(経年比較)】



要介護度別では、「かかりつけの医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなり、要介護3以上では45.2%となっている。(問27-a)

【問27-a かかりつけの医師の訪問診療の有無(要介護度別)】



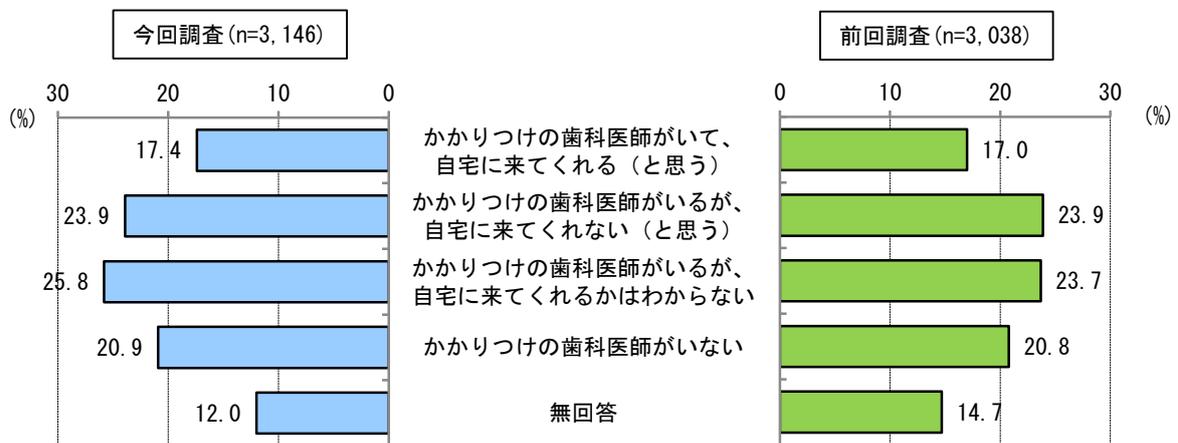
問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無

かかりつけの歯科医師はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。
(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの歯科医師の訪問診療について、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が25.8%で最も高く、次いで「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」が23.9%、「かかりつけの歯科医師がいない」が20.9%となっている。

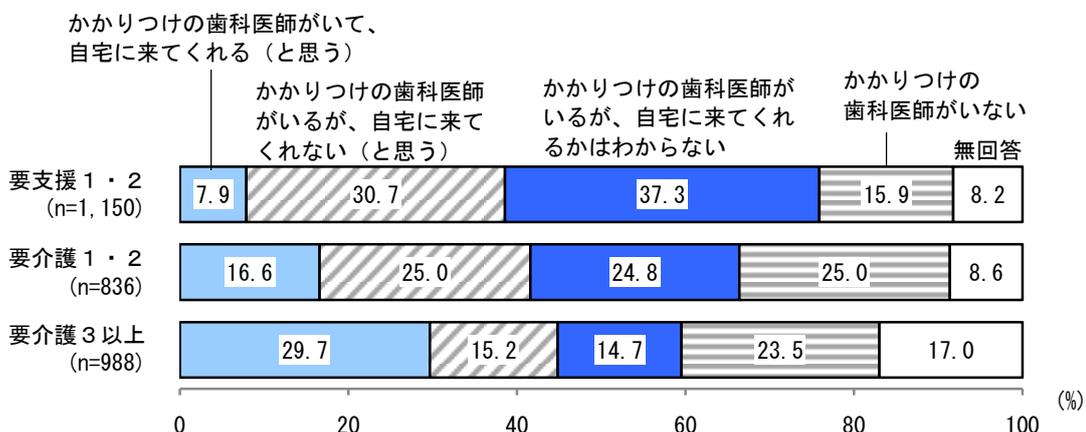
前回調査の結果に比べ、上位項目のうち、「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれない(と思う)」と「かかりつけの歯科医師がいるが、自宅に来てくれるかはわからない」の順位が入れ替わっている。(問28)

【問28 かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無(経年比較)】



要介護度別では、「かかりつけの歯科医師がいて、自宅に来てくれる(と思う)」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなり、要介護3以上では29.7%となっている。(問28-a)

【問28-a かかりつけの歯科医師の訪問診療の有無(要介護度別)】



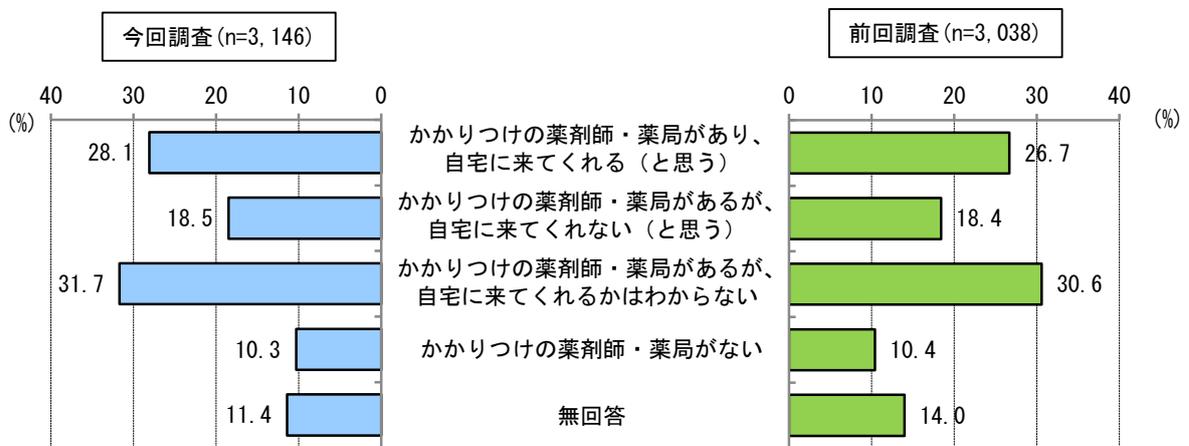
問29 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無

かかりつけの薬剤師・薬局はあなたが通院できなくなった時に自宅に来てくれますか。
(○はひとつ)

通院できなくなった時のかかりつけの薬剤師・薬局の訪問について、「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれるかはわからない」の割合が31.7%で最も高く、次いで「かかりつけの薬剤師・薬局があり、自宅に来てくれる（と思う）」が28.1%、「かかりつけの薬剤師・薬局があるが、自宅に来てくれない（と思う）」が18.5%となっている。

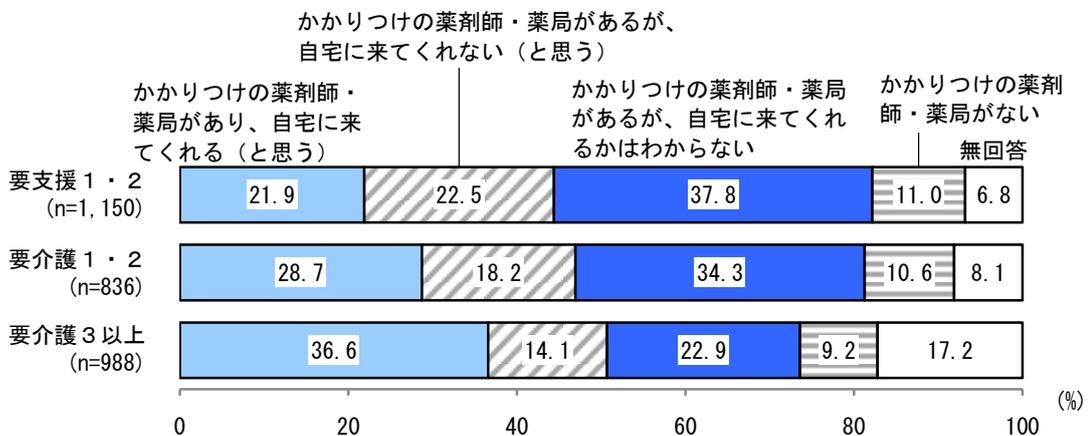
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問29）

【問29 かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無（経年比較）】



要介護度別では、「かかりつけの薬剤師・薬局があり、自宅に来てくれる（と思う）」の割合は、要介護度が重度になるほど高くなり、要介護3以上では36.6%となっている。（問29-a）

【問29-a かかりつけの薬剤師・薬局の訪問の有無（要介護度別）】



(9) 地域活動

問30 地域の会・グループ等への参加頻度

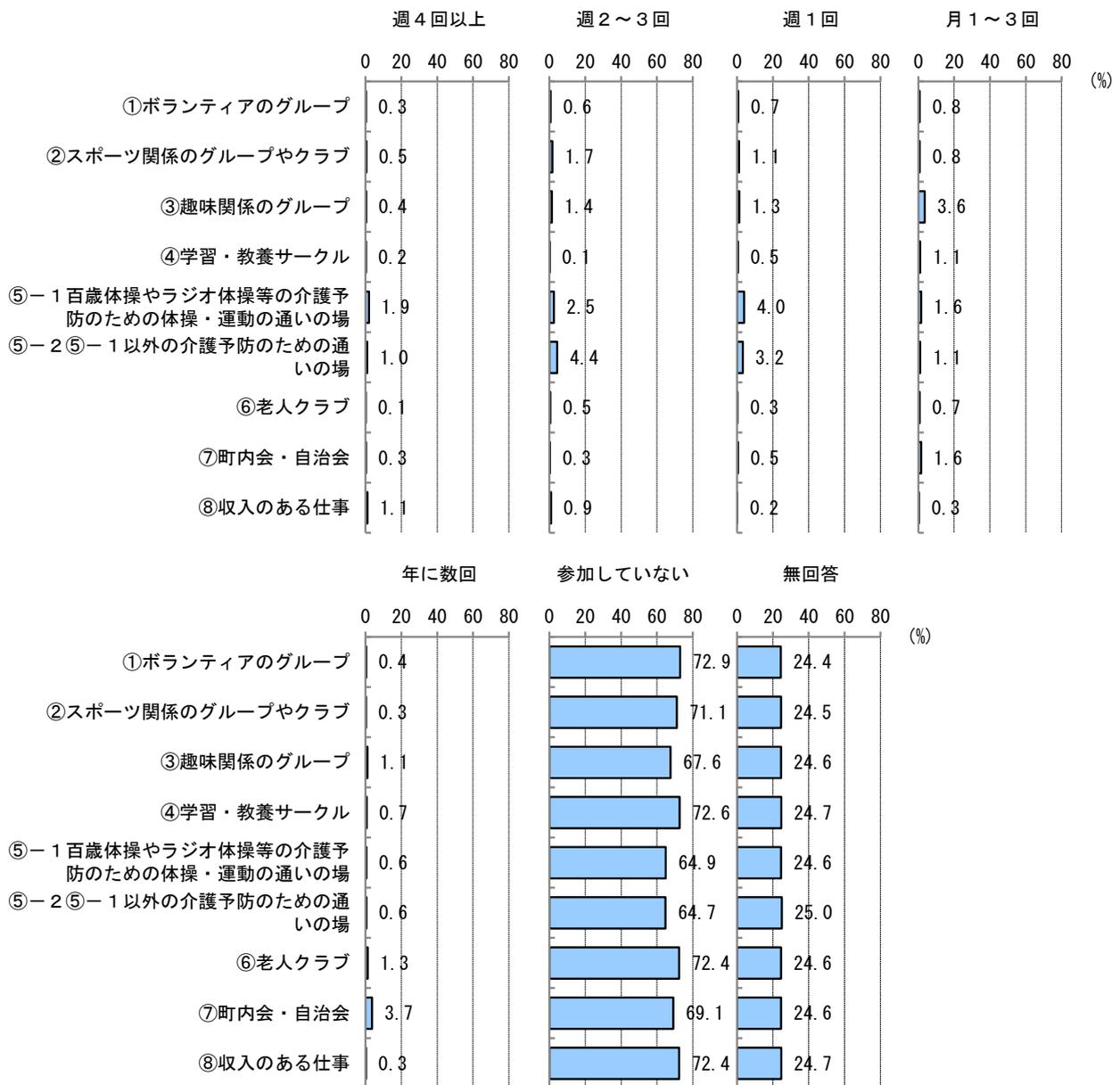
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(○はひとつ)
 ①～⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○はひとつ)

地域の会・グループ等への参加頻度についてたずねた。

いずれの会・グループ等も「参加していない」が過半数を占めている。

参加している会・グループ等では、「週1回」の割合は、“⑤-1 百歳体操やラジオ体操等の介護予防のための体操・運動の通いの場”が4.0%で最も高く、「週2～3回」の割合は、“⑤-2 ⑤-1以外の介護予防のための通いの場”が4.4%で最も高くなっている。(問30)

【問30 地域の会・グループ等への参加頻度】



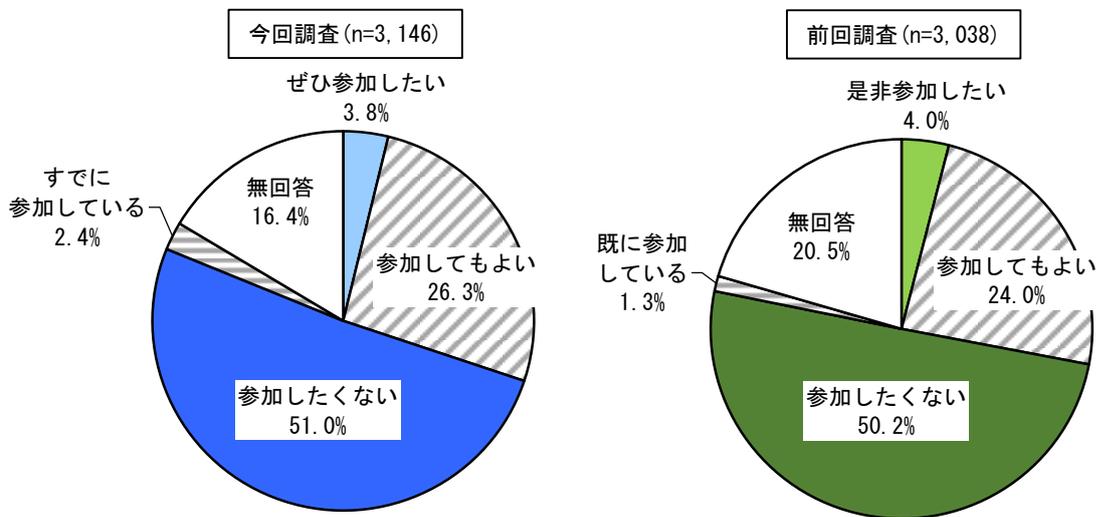
問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

地域づくり活動に参加者としての参加意向について、「参加したくない」の割合が51.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が26.3%、「ぜひ参加したい」が3.8%、「すでに参加している」が2.4%となっている。

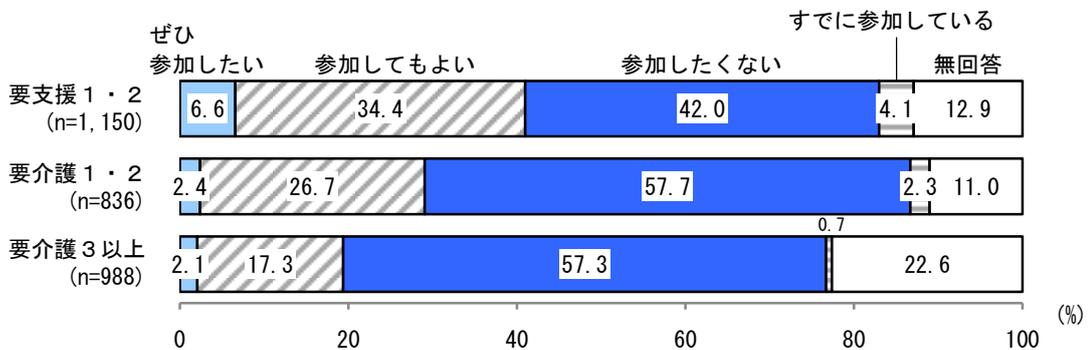
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問30-1)

【問30-1 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (経年比較)】



要介護度別では、「参加したくない」の割合は要介護1・2が57.7%で最も高く、次いで要介護3以上の57.3%となっている。「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「すでに参加している」の各割合は要支援1・2が最も高くなっている。(問30-1-a)

【問30-1-a 地域づくり活動に参加者としての参加意向 (要介護度別)】



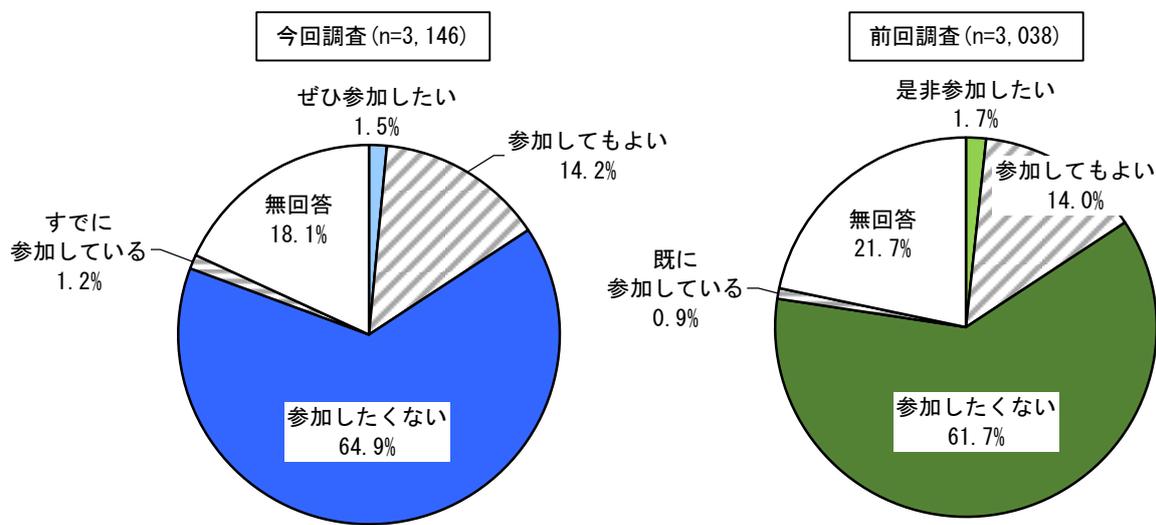
問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向

地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（〇はひとつ）

地域づくり活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向について、「参加したくない」の割合が64.9%で最も高く、次いで「参加してもよい」が14.2%、「ぜひ参加したい」が1.5%となっている。

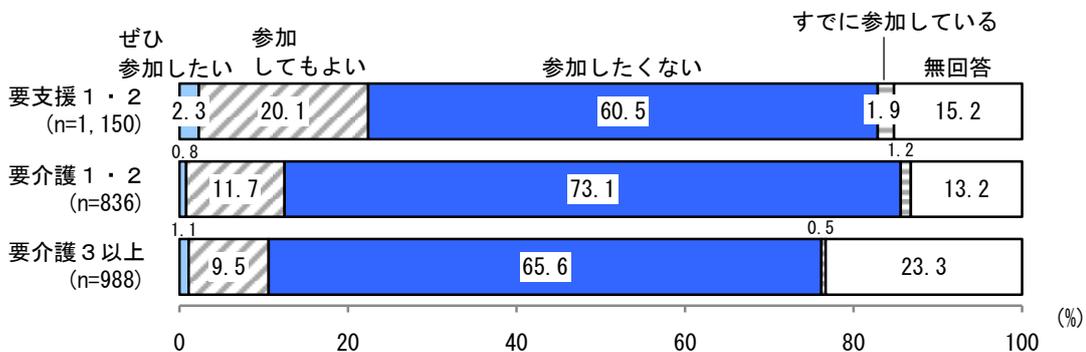
前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問30-2）

【問30-2 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（経年比較）】



要介護度別では、「参加したくない」の割合は、要介護1・2が73.1%で最も高くなっている。「ぜひ参加したい」「参加してもよい」「すでに参加している」はいずれも要支援1・2の割合が最も高くなっている。（問30-2-a）

【問30-2-a 地域づくり活動に企画・運営としての参加意向（要介護度別）】



(10) 認知症

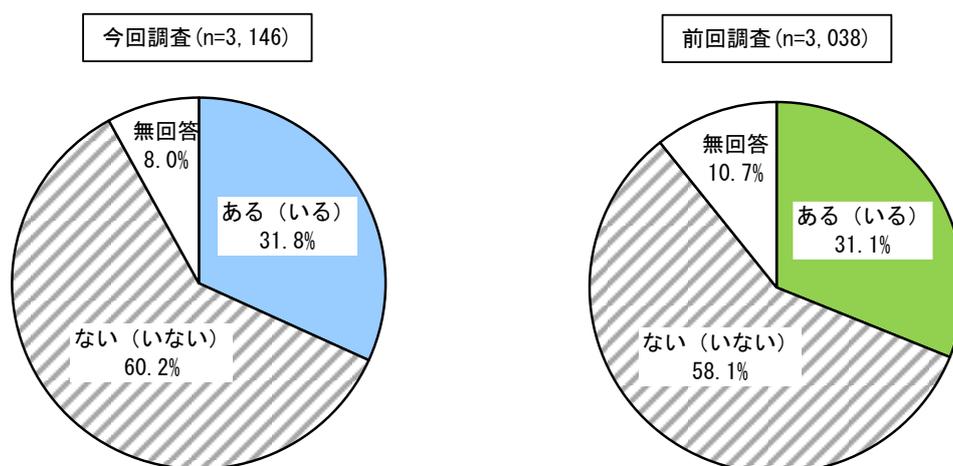
問31 認知症状の有無

認知症の症状（もの忘れの悪化など認知症の疑いも含む）がある、又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（○はひとつ）

認知症の症状がある、又は家族に認知症の症状がある人について、「ある（いる）」が31.8%に対し、「ない（いない）」は60.2%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問31）

【問31 認知症状の有無（経年比較）】

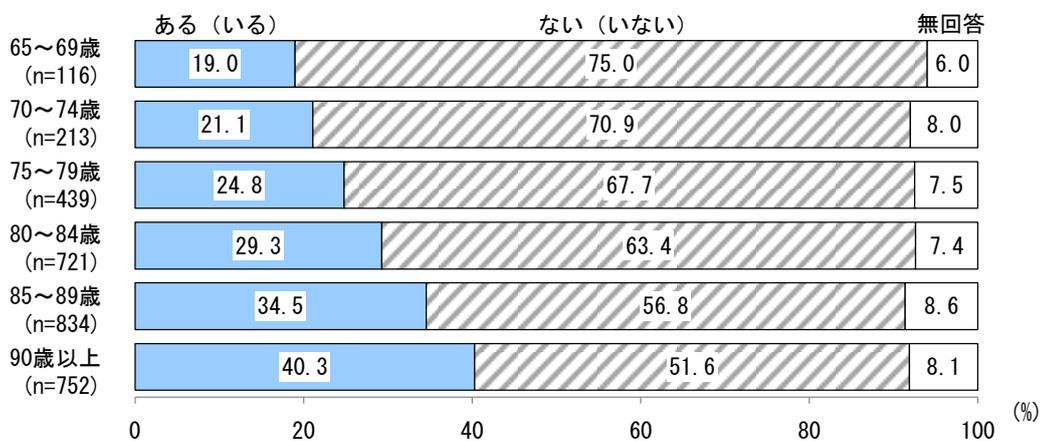


※ 「はい」 → 「ある（いる）」、「いいえ」 → 「ない（いない）」に変更

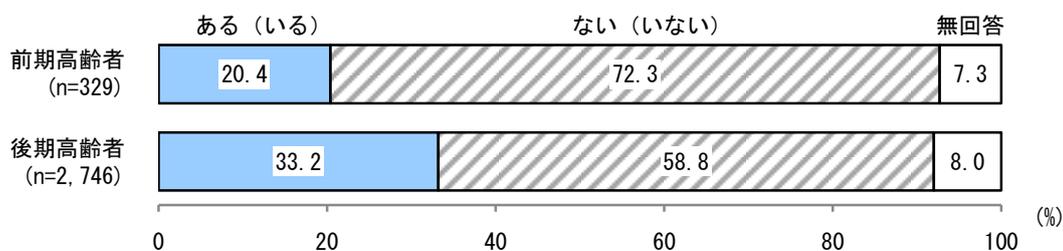
【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別では、「ある（いる）」の割合は高齢になるほど高くなり、90歳以上では40.3%となっている。（問31-a）

【問31-a 認知症状の有無（本人の年齢別）】



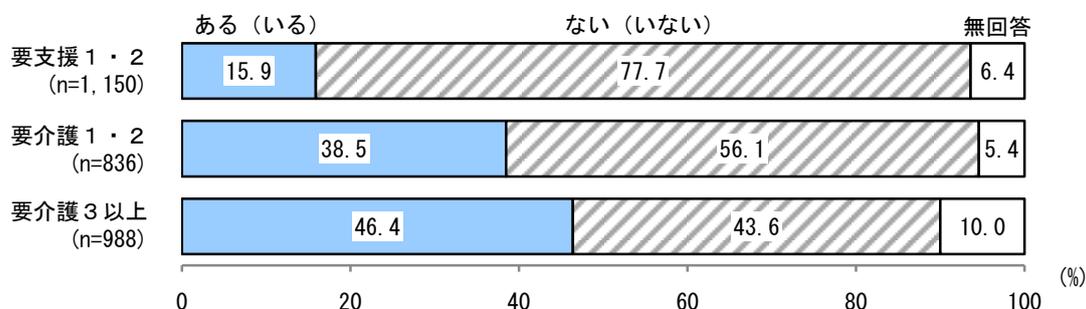
* 前期・後期別



【介護保険サービス利用者調査】

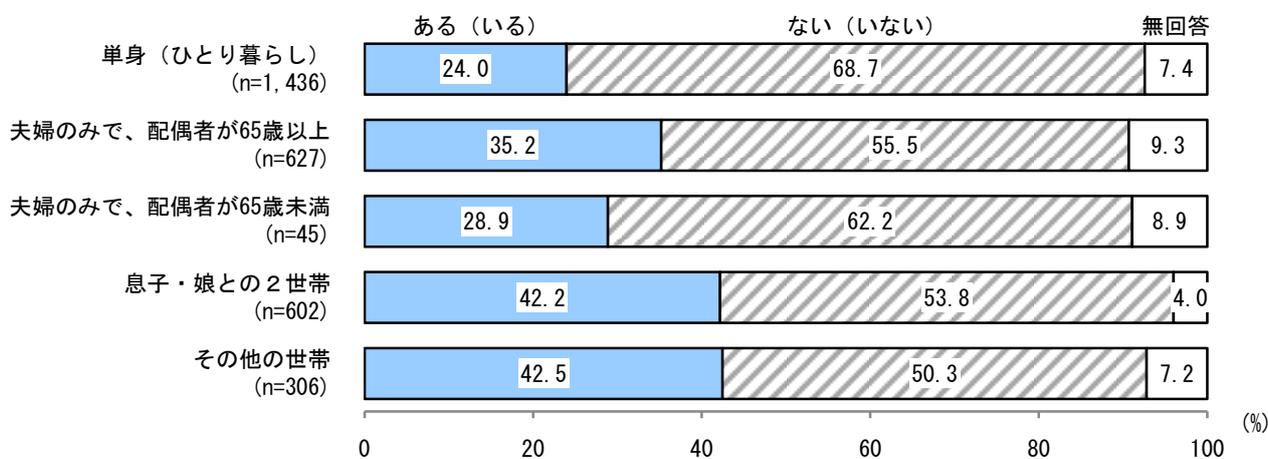
要介護度別では、「ある（いる）」の割合は、重度になるほど高くなり、要介護3以上では46.4%となっている。（問31-b）

【問31-b 認知症状の有無（要介護度別）】



世帯状況別では、「ある（いる）」の割合は、その他の世帯が42.5%で最も高く、次いで息子・娘との2世帯の世帯が42.2%となっている。（問31-c）

【問31-c 認知症状の有無（世帯状況別）】



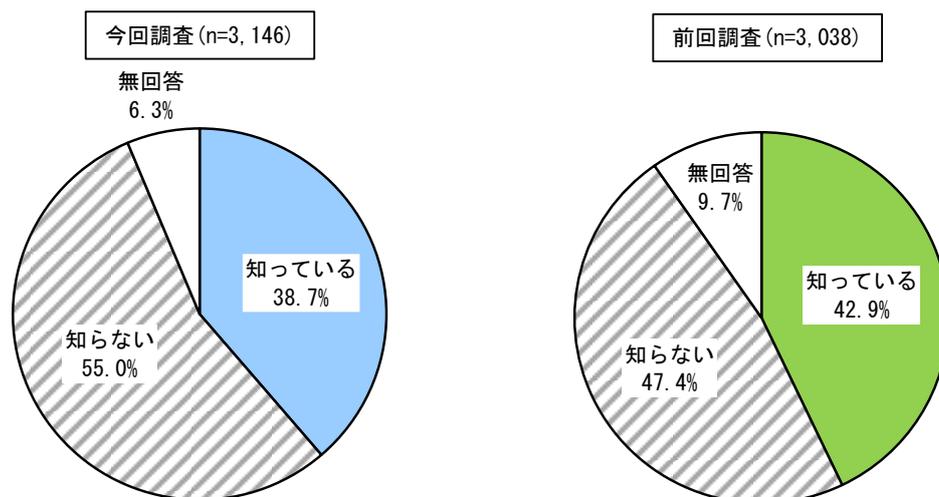
問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度

認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

認知症に関する相談窓口を「知っている」が38.7%に対し、「知らない」は55.0%となっている。

前回調査の結果に比べ、「知っている」の割合は4.2ポイント減少し、「知らない」の割合が7.6ポイント増加している。(問31-1)

【問31-1 認知症に関する相談窓口の認知度（経年比較）】

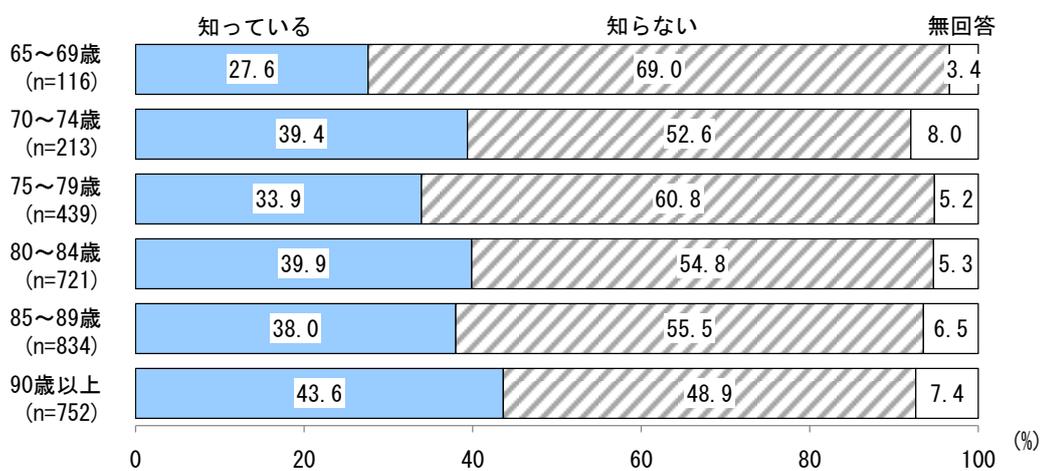


※ 「はい」 → 「知っている」、「いいえ」 → 「知らない」に変更

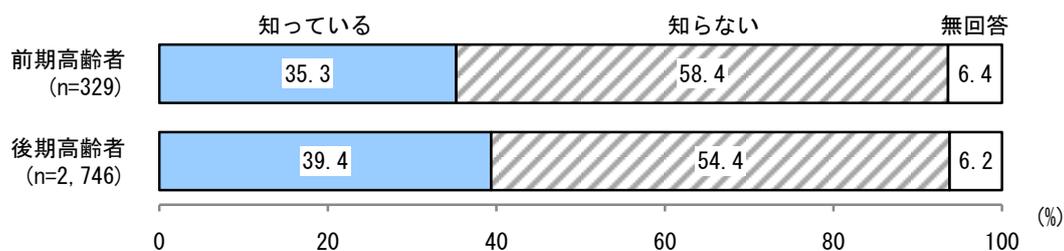
【介護保険サービス利用者調査】

本人の年齢別では、「知っている」の割合は90歳以上が43.6%で最も高いのに対し、65～69歳が27.6%で最も低くなっている。(問31-1-a)

【問31-1-a 認知症に関する相談窓口の認知度（本人の年齢別）】



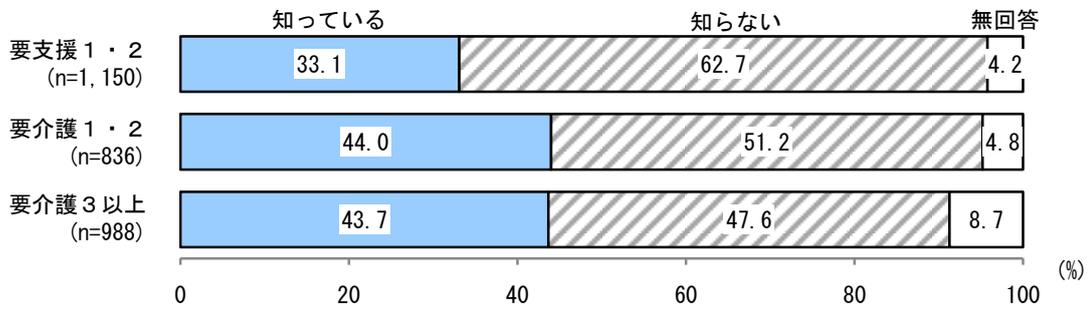
* 前期・後期別



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、「知っている」の割合は要介護1・2が44.0%で最も高く、次いで要介護3以上が43.7%となっている。(問31-1-b)

【問31-1-b 認知症に関する相談窓口の認知度（要介護度別）】



問31-2 知っている認知症に関する相談窓口

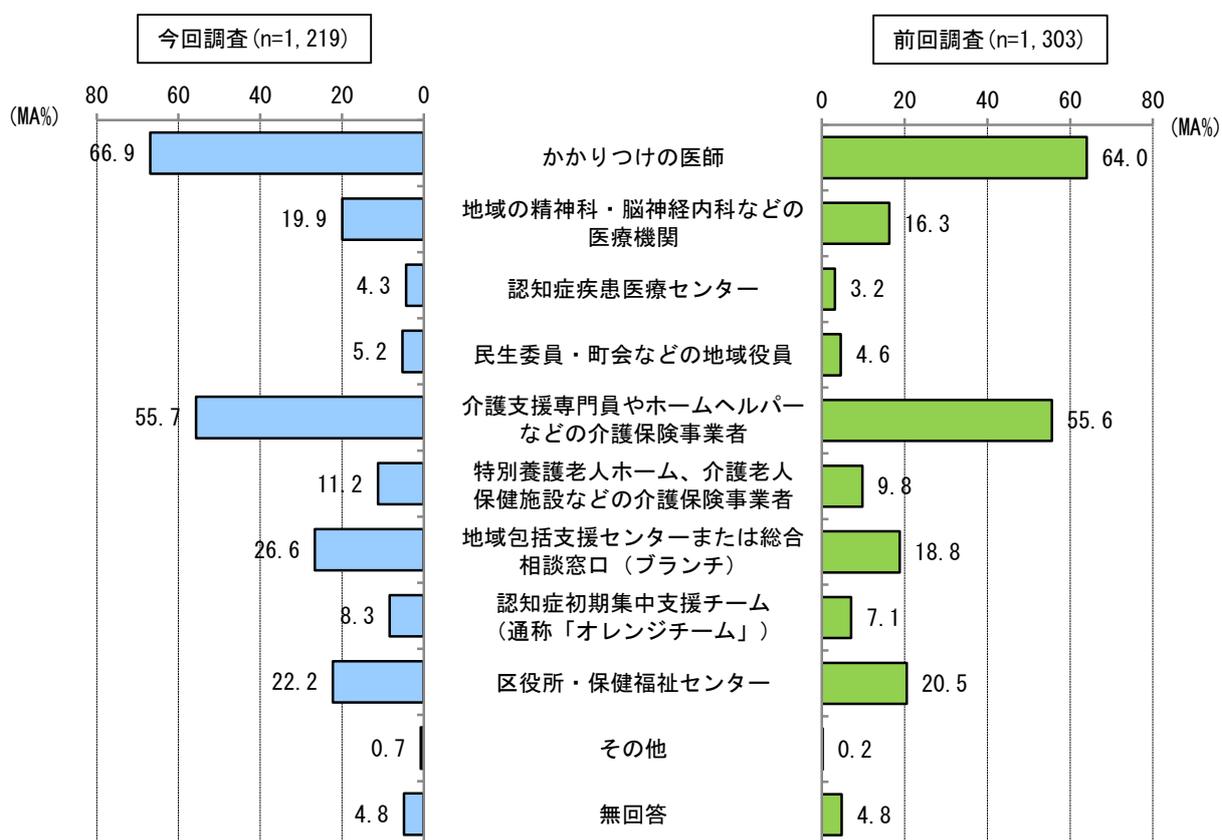
問31-2と問31-3は、問31-1で「1 はい」（認知症に関する相談窓口を知っている）と回答された方におうかがいします。

あなたが認知症に関する相談窓口として知っているところはどこですか。（〇はいくつでも）

認知症に関する相談窓口を知っていると回答した人に、知っている相談窓口についてたずねると、「かかりつけの医師」の割合が66.9%で最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が55.7%、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」が26.6%となっている。

前回調査の結果に比べ、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」の割合が7.8ポイント増加し、また「かかりつけ医師」や「地域の精神科・脳神経内科などの医療機関」の医療機関の割合も増加している。（問31-2）

【問31-2 知っている認知症に関する相談窓口（経年比較）】



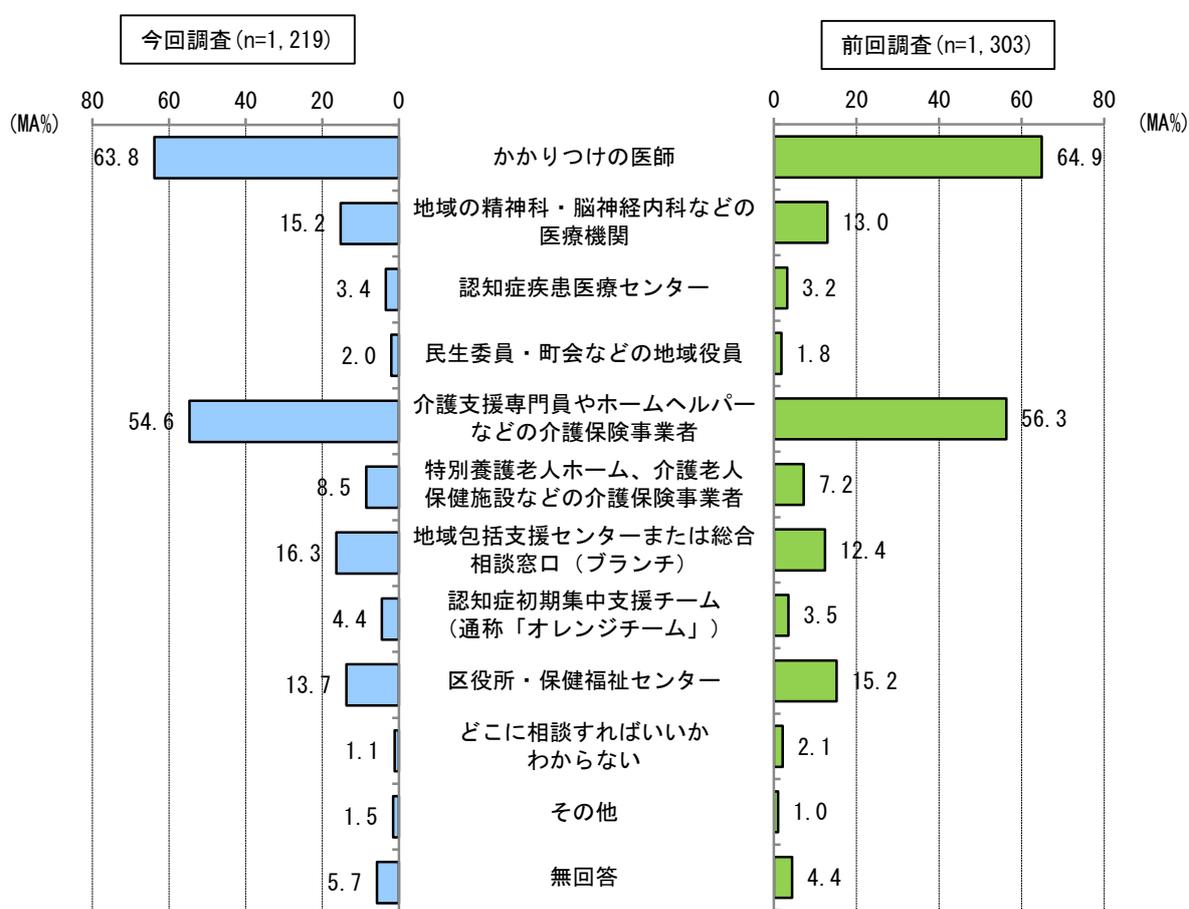
問31-3 認知症についての相談先

あなたは、あなた又はあなたのご家族が認知症について不安を感じるときは、どちらに相談されますか。(〇はいくつでも)

認知症の不安に対する相談先は、「かかりつけの医師」の割合が63.8%で最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」が54.6%、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」が16.3%となっている。

前回調査の結果に比べ、「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」の割合が3.9ポイント増加している。(問31-3)

【問31-3 認知症についての相談先（経年比較）】



(11) 高齢者向けサービス情報、生活の満足度

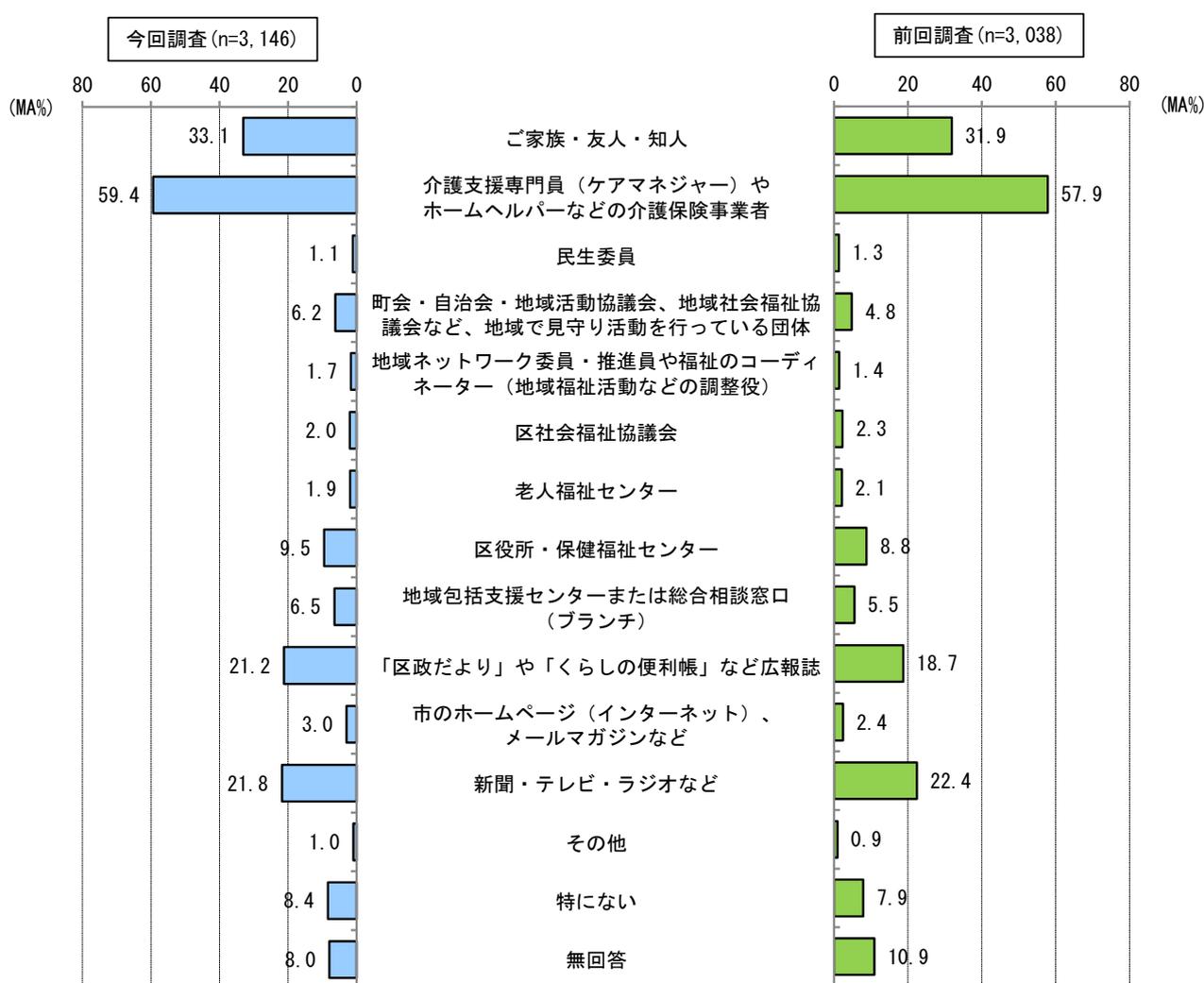
問32 高齢者向けサービスの情報源

あなたは、高齢者向けのお知らせや健康・介護予防に関する情報をどこから得ていますか。
(○はいくつでも)

高齢者向けサービスの情報源は、「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合が59.4%で最も高く、次いで「ご家族・友人・知人」が33.1%、「新聞・テレビ・ラジオなど」が21.8%となっている。

前回調査の結果から大きな変化はみられない。（問32）

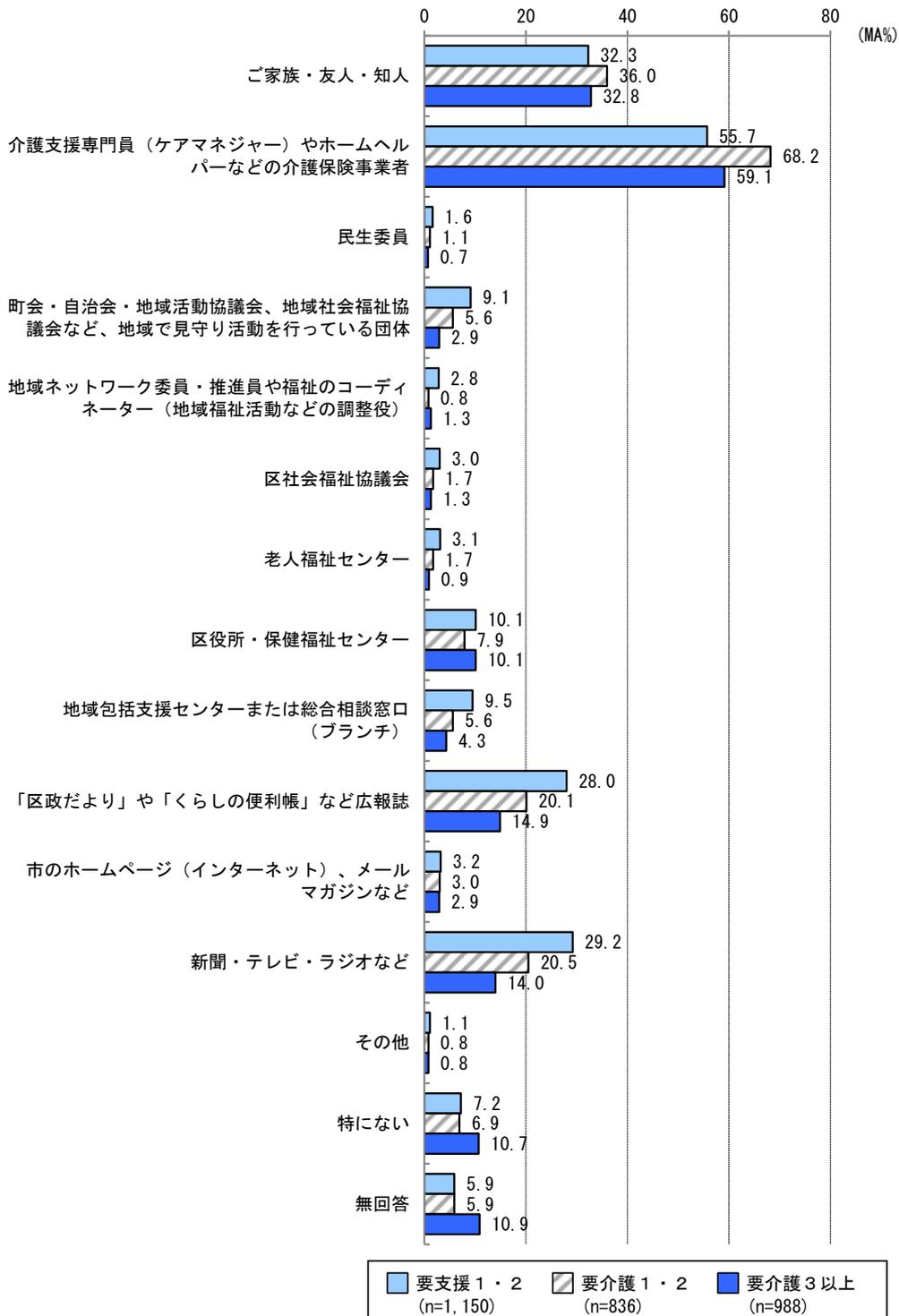
【問32 高齢者向けサービスの情報源（経年比較）】



【介護保険サービス利用者調査】

要介護度別では、要介護度にかかわらず「介護支援専門員（ケアマネジャー）やホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合が最も高くなっている。「民生委員」や「町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体」「区社会福祉協議会」「老人福祉センター」「地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ブランチ）」「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌、「市のホームページ（インターネット）、メールマガジンなど」、「新聞・テレビ・ラジオなど」の割合は重度になるほど低くなる傾向にある。（問32-a）

【問32-a 高齢者向けサービスの情報源（要介護度別）】



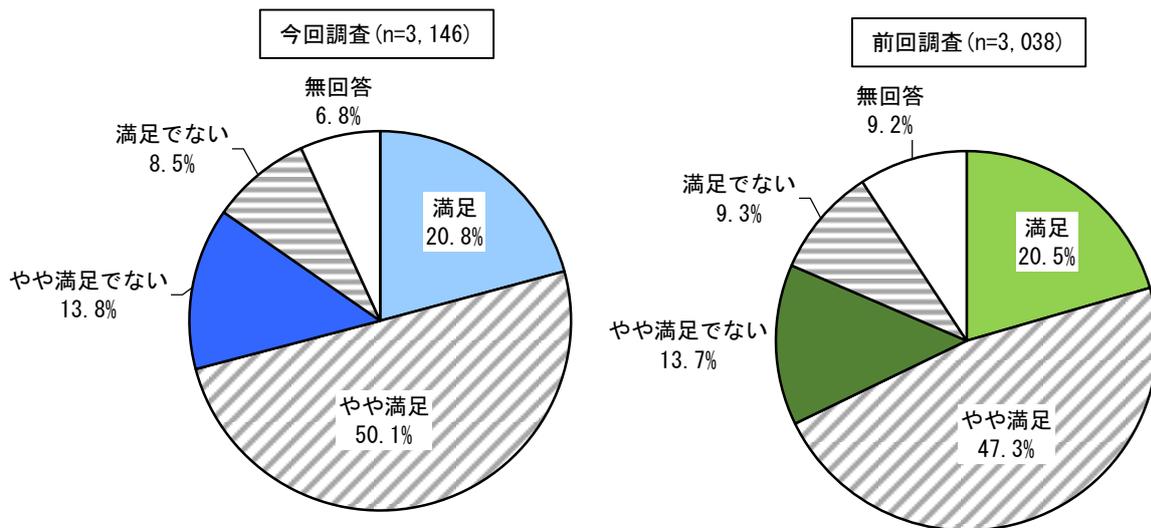
問33 現在の生活の満足度

あなたの現在の生活の満足度は次のどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

現在の生活について、「やや満足」の割合が50.1%で最も高く、次いで「満足」が20.8%となっており、『満足』の割合（「満足」と「やや満足」をあわせた割合）は70.9%となっている。

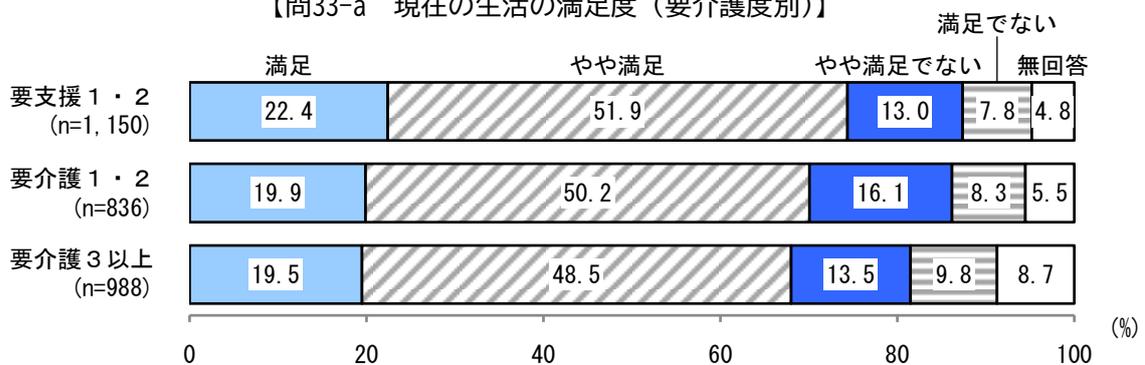
前回調査の結果から大きな変化はみられない。(問33)

【問33 現在の生活の満足度（経年比較）】



要介護度別では、要介護度にかかわらず『満足』の割合が7割前後で、そのうち要支援1・2が74.3%で最も高くなっている。『満足』の割合は、要介護度が重度になるほど低くなっている。(問33-a)

【問33-a 現在の生活の満足度（要介護度別）】



(12) 介護保険制度についての意見・要望等

問34 介護保険制度についての意見・要望等(自由記述)

介護保険制度について、介護保険サービスの利用者として、ご意見・ご要望等がありましたら、次の欄に記入してください。

297人から意見があり、延べ323件の回答が挙がっている。主な意見は次のとおり。

【主な意見】

《介護保険制度に関する意見》(77件)

- ・制度は有難い。感謝している。今のままで良い。
- ・制度の仕組みや利用方法がわかりにくい。もっと説明・周知してほしい。
- ・制度の継続・サービス内容・相談体制の充実を図ってほしい。

《施設サービス、介護サービスの充実に関する意見》(75件)

- ・利用時間やサービス内容など提供されているサービスが不十分、不満である。サービスの充実を図ってほしい。
- ・施設・サービスを利用できて助かっている、満足である。

《介護保険料、介護保険サービス利用料に関する意見》(59件)

- ・介護保険料や利用料が高い。収入(年金)が少なく、希望するサービスが利用できない。
- ・利用料金について納得がいかない。よくわからない。

《訪問介護(ヘルパー)、ケアマネ、介護スタッフについての要望・不満》(44件)

- ・個々の能力・資質に差がある。資質の向上を図ってほしい。
- ・感謝している、安心できる。
- ・待遇改善、人材確保してほしい。

《自身の現状についての意見》(30件)

- ・自分・家族の現状や将来に不安がある、心配がある。
- ・できる限り自力で生活したい。現状に満足している。

《要介護認定に関する意見》(19件)

- ・認定基準に疑問がある。要介護度が低すぎる。
- ・要介護認定は平等に判断してほしい。個々の状況・家族の負担も考慮して判断してほしい。
- ・判定に時間がかかりすぎる。

《その他の意見》(19件)

- ・精神科医の往診してくれないところが多い
- ・周りの人と話が合わない

